

文
書
伝
道

傳文
道書

加藤
士

福音社

COLPORTEUR MINISTRY

by ELLEN G. WHITE

JAPAN PUBLISHING HOUSE

Yokohama, Japan

まえがき

セブンスデー・アドベンチスト教会は、神の任命に従い、安息日と再臨の真理を印刷物によって宣伝する事業を熱心に行なってきた。わが教会の百年以上にわたる伝道活動において、印刷事業は、第三天使の使命を全世界にのべつたえるために力ある働きをしてきた。

長い年月にわたって、わが教会の出版物の出版と配布に関する指導は、エレン・ジー・ホワイトによつて与えられた。これらの勧告によつて、わが教会の真理を満載した書籍、雑誌の販売は、牧師の働きと同様に高貴な仕事であることが示された。書籍を販売する人は、文書伝道者と言われている。

一九〇二年に、ホワイト夫人の書かれた記事のうち、わが文書伝道に関するものが集められて、文書伝道者手帳として発行された。その後のホワイト夫人の文書伝道に関する勧告も追加して、再販が一九二〇年に「文書伝道」という題で発行されて、大いに歓迎された。この小著は、多くの国語に訳されて、広く配布された。

同じ問題に関するくり返しを除外し、種々の勧告を整理して、秩序立てそれにエレン・ジー・ホ

ワイトの著書、雑誌、原稿などからの追加記事を入れたいとの希望に基づいて、本書の編さんが行なわれた。これは、ホワイト夫人没後の著書出版規定に従って行なわれた。各引用文には、必ずその書かれた年、または、初版の年を記した。

小見出しは、読者がさがしている引用文を見つけやすいように、編者がつけ加えた。ゴチック文字の見出しは、引用文の冒頭にかかげ、へゝがこみの見出しは、引用文中の見出しを示している。二、三のくり返しの部分を除いて、再版の「文書伝道」の全文が本書中に記載されている。「文書伝道」もホワイト夫人没後の編さんになるものであるので、本書全文の引用文は、「文書伝道」のページではなくて、もとの出所のページを示している。

願わくはこの「文書伝道」増補版の中に盛られた勧告によって、文書伝道者が指導と靈感を与えられて、主のため、ますます実り豊かなご奉仕をされることを編者とエレン・ジー・ホワイト著書刊行会理事は切望する次第である。

エレン・ジー・ホワイト著書刊行会理事会

※日本語版「文書伝道」は、引用の際の便宜をはかって原本の英語版「文書伝道」と同じページに同じ文章が来るように編集してあります。

目次

第一部 文書伝道

第一章 わが文書とその使命・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

第二章 何物にも劣らない働き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

第三章 文書伝道者への召し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

第四章 文書伝道者の選択・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

第五章 学生と文書伝道・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30

第六章 救霊の働き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36

第二部 資格のある文書伝道者

第七章 神に全くゆだねる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47

第三部 文書伝道者の活動

第八章	完全に準備する	55
第九章	習慣、行儀、服装に模範的であること	61
第一〇章	気持ちのよい声と言葉	70
第十一章	奉仕における勤勉	76
第十二章	祈りに多くの時間を	80

第四部 神と結んで

第十三章	販売の要点	84
第十四章	文書伝道者と経済	92
第十五章	他の働き人との協力	100
第一六章	神の霊に導かれて	104
第一七章	天使に伴われて	110

第一章	あらゆる困難のときの助け	114
-----	--------------	-----

第五部 真理に満ちている私たちの文書

第十九章	使命を伝える書物	120
第二十章	使命を伝える大きい書物	123
第二十一章	衛生 函 書	131
第二十二章	適当なバランスを保って	135
第二十三章	私たちの雑誌の奉仕	145
第二十四章	私たちの出版物の遠大な感化	148

聖句索引	158
索引	160
題 字	加藤 哲 造

第一章 わが文書とその使命

「印刷を始めなさい」——一八四八年十一月、マサチューセッツ州ドーチエスターで開かれた集会で、私は、印するメッセージが宣べ伝えられる光景と、私たちの道を照らしている光を出版する任務が私たちの兄弟に負わされていることが示された。

幻からさめて後、私は夫に、「私はあなたのためにメッセージを受けました。あなたは小冊子の印刷を始めて、それを人々に送らなければなりません。最初は小規模になさい。しかし、人々がそれを読むと、きっと印刷のための資金を送ってくるでしょう。そしてそれは初めから成功します。この小規模な発足から、やがては全世界をおおうほどの光の流れのようになることが私に示されました」と言った。

——ライフ・スケッチズ・一二五ページ（一九一五年）

真理を明瞭に——私たちの出版物は私たちの信仰の霊的基礎を明瞭、平易にする最も神聖な働きができる。人々は、どこにいてもどちらかの側に立つのである。すべての者は真理と義のみ旗の下に立つか、あるいは至上権を得ようと争っている背教勢力の下に加わるかのどちらかである。この

ときにあたって世に対する神のメッセージは、人々が真理に心が引きつけられずにはいられないほど顕著に、しかも権威をもってのべ伝えられなければならない。彼らは、もしできれば、この厳粛な時代に対する神のみ言葉にとって代わろうとして進出してくる種々の誤謬（ごびゅう）より、み言葉のほうかはるかにすぐれていることを悟るようにならなければならない。

この出版物の大きな目的は、神を高め、み言葉の生きた真理に人々の注意をひくことである。神は、私たちが自分の標準でなく、またこの世の標準でもなく、神の真理の標準を高くかかげるようにと求めておられる。——教会へのあかし・第七巻・一五〇、一五一ページ（一九〇二年）

光と真理を出版せよ——一九〇七年三月二日の夜、私は現代の真理をのせた私たちの出版物の価値と、それらを広く配布するために教会の兄弟姉妹があまり努力を払っていないことについているいろいろなことがらを示された。

私たちの印刷所は、光と真理を出版するために絶えず用いていなければならないことを私はくり返し示された。いま、世の教会は霊的暗黒の時代である。神のことについての無知が神と真理を見えないようにかくしている。悪の勢力はその力を増大しつつある。サタンは彼がやがて世を魅惑する働きをするのだと、その仲間たちをうめぼれさせる。教会に部分的な不活動状態が生じている間に、サタンとその部下は熱心に活躍している。名目のみのキリスト教会は、世界を悔い改めに導いていない。それは、教会自身が利己心と誇りによって墮落していて、他の人々をきよく高い標準に導くに先だって、自分たちの中に神の改心の力を感じる必要があるからである。

——教会へのあかし・第九巻・六五ページ（一九〇九年）

使命をすみやかに伝える手段——文書伝道は現代の真理の聖なる光をすみやかに世に伝える手段でなければならない。今日私たちの印刷所から発行される出版物は、神の言葉と聖霊の啓示によって確立された信仰の一つ一つを強めるものでなければならない。

誤った教えを伝える人々が教会にはいつてくるとき神の民は、神がこの終わりの時代に彼らに与えになった真理によって堅く立たなければならない。半世紀以上も敵の攻撃に耐えてきた真理は今日もなお、神の民らの信頼と慰めでなければならない。

私たちには、神のみ言葉という真理がある証拠として、私たちのきびしい自己犠牲の生活を未信者に示すことができよう。私たちは自分の信仰を物笑いの種にしてはならない。神の王子であられたにもかかわらず、父のみ言葉の正しさを証明するために、恥をしのんで無我と犠牲（ぎせい）の生涯を送られた方の模範をつねに目の前に置いていなければならない。私たちのよい働きの光が世に照り輝くように、最善を尽くす決心をしようではないか。

——教会へのあかし・第九巻・六九、七〇ページ（一九〇九年）

神に会うために民を備える——わが印刷所から発行される出版物は、民に、神に会う備えをさせるためのものである。彼らは、バプテスマのヨハネがユダヤ民族のためにしたのと同じ働きを全世界にしなければならない。神の預言者は、驚くべき警告の使命によって、人々を世俗の夢からよびさました。神は彼を通して墮落したイスラエルに悔い改めをうながされた。彼は真理を紹介して一

般の人々の誤謬を指摘した。彼の教えに含まれた真理は、当時の誤った見解と対照的に永遠の確実性をもつものとしてはっきりしていた。「悔い改めよ、天国は近づいた」とは、ヨハネの使命であった（マタイ三ノ二）。この同じ使命を私たちの印刷所の出版物を通して今日世界に与えなければならぬ。

大いなる権威をもって天よりくだり、地をその栄光によって照らしたもうひとりの天使の働きは、大部分私たちの出版所を通してなし遂げられる。

——教会へのあかし・第七卷・一三九、一四〇ページ（一九〇二年）

出版物は至る所に——私たちの出版物はどこにでも行かなければならない。多くの国語で発行しなさい。第三天使の使命はこの手段によって、またいける教師によって宣伝されなければならない。現代に与えられた真理を信じるあなた方は目ざめなさい。真理を理解している人々にそれを宣伝させることができるように、できる限りの資力をささげることが今日あなた方の義務である。出版物を販売して得た金の一部分はめくらの目を開き、心の未開墾の地を耕す文書を発行する設備の増加のために使用されなければならない。——教会へのあかし・第九卷・六二ページ（一九〇九年）

牧師の説教を聞くことはできないが、出版物——人々に必要な聖書の真理に満ちた書籍、雑誌、トラクト——だけなら行ける場所はたくさんある。私たちは文書を至る所に配布しなければならぬ。真理は、すべての水辺に播（ま）かなければならない。どれが栄えどれが栄えないか私たちにわからないからである。自分の誤った判断で、最も快く真理を受け入れるはずの人々に文書を与

えることが賢明でないと考えるかもしれない。私たちは現代の真理が書かれている小冊子をくばることがどんな結果をもたらすかを知らない。

——原稿・第一二七号・一九〇九年

私たちは急速に終わりに近づいている。この時代に対する真理のもられた書籍、雑誌を印刷し、それを配布することが私たちの働きでなければならない。

——教会へのあかし・第八巻・八九ページ（一九〇四年）

すべての国と地方へ——出版物をふやし、秋の木の葉のようにまき散らさなければならない。こうした無言の使者は、すべての国と地方にいる多くの人々の心を照らし、形成しているのである。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一八七八年一月二一日

すべての国語に——彼ら（文書伝道者）は救い主が間もなくこられるというみ約束の書かれている出版物を都市から都市へ、いなかからいなかへ携えて行かなければならない。全世界に福音がのべ伝えられるはずであるから、これらの出版物はすべての国語に翻訳しなければならない。キリストは、すべての働き人に神の力を与えて働きを成功に導くと約束しておられる。

——教会へのあかし・第九巻・三四ページ（一九〇九年）

全世界を照らすために——世界は、私たちの書籍、雑誌に書かれたみ言葉の伝道の働きを通して真理の光に照らされなければならない。——教会へのあかし・第九巻・六一ページ（一九〇九年）
現代の真理について世を照らすために、私たちの書籍、雑誌から輝かしい光が輝き出なければならない。

——教会へのあかし・第八巻・八七ページ（一九〇四年）

第二章 何物にも劣らない働き

力ある救霊の奉仕——文書伝道が正しく行なわれるならば、最高の伝道事業であり、それは現代の重大な真理を世人に伝えるために用いられる伝道法として実にりっぱな、また効果的なものである。直接伝道のたいせつなことは明白であるが、生命のかてに飢えている者のうちには、神にわかされた牧師の説教を聞く機会のない者が多い。このようなわけで私たちは出版物を広く配布する必要がある。こうして牧師の行くことのできない所に使命が伝えられ、この世界歴史の終末の光景に関する重大な事件に多くの人々の注意を向けるのである。

へ神が制定なさった働きへ 神は私たちの書物の中にある光を世人に紹介する方法として文書伝道事業を制定なさった。文書伝道者は、世人の霊的教育と啓発に必要な書籍を、できるだけすみやかに彼らに紹介することの重要性を痛感しなければならない。この働きこそ、現代、主がご自分の民にさせようと望んでおられる働きなのである。文書伝道者として神に献身して働く者はみな最後の警告の使命を世界に伝える助けをしているのである。私たちはこの働きをどれほど高く評価しても、評価し過ぎることはない。文書伝道者の働きがなければ、多くの人々は警告を聞かないことである。

——教会へのあかし・第六巻・三一三ページ（一九〇〇年）

最も重要な働き——もしどの働きよりもたいせつな働きがあるとすれば、それは私たちの出版物を人々に紹介し、聖書を学ぶように彼らを導く働きである。家庭に出版物を紹介し、彼らと共に語り、祈る伝道の働きはりっぱな働きであり、牧界の働きに携わるように人々を教育する働きである。

——教会へのあかし・第四巻・三九〇ページ（一八八〇年）

教会の信徒が文書配布の重要性を認識するときこの働きにもつと多くの時間をささげるようになる。書籍、雑誌、トラクトなどは人々の家庭に配布され、それぞれの立場から福音を伝えるである。……教会は文書伝道にもつと注意を払わなければならない。この働きは教会が世の光を輝かす方法の一つである。そのとき、教会は「月のように美しく、太陽のように輝き、恐るべき事、旗を立てた軍勢のよう」に前進するのである。

——原稿・第一一三号・一九〇一年

再び興味を起こせとの召し——文書伝道の重要なことがつねに私に示された。最近の働きには、以前、文書伝道を専門にしていた人々が持っていたような活気がなくなった。文書伝道者たちは伝道の働きをやめて他の仕事に携わるように招かれていった。しかし、これではいけない。私たちの文書伝道者の多くが真に悔い改めて献身していれば現代の真理を人々に伝えるためにこの分野において、他のどんな働きをするよりも多くの事を成しとげられるのである。

私たちは世の終わりの近いことを示す神のみ言葉を持っている。世界は警告を聞かなければならない。そしていままで以上に、キリストと共に働かなければならない。警告の働きが私たちにゆだねられている。私たちは世に光を伝達する者となり、大いなる光を掲げる者であられる主から、受

ける光を他に分け与えなければならぬ。すべての人の言葉と働きは、ためされる。今、私たちは後退してはならない。世界を警告するためにしなければならぬことは、ためらわずしなければならぬ。文書伝道の働きを衰微するままにほっておいてはならない。現代の真理の光を紹介する書籍をできるだけ多くの人に手渡そう。

——教会へのあかし・第六巻・三二九ページ（一九〇〇年）

重要性においては牧師と同等——文書伝道者は津々浦々にまで出て行かなければならぬ。この働きの重要性は牧師の働きと全く同じである。私たちの前にある大いなる働きを完成するためには、生きた説教者と無言の使者の二つが必要である。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一八八〇年四月一日

出版物を人々に勧める働きは伝道事業の重要な、最も有利なものである。出版物は伝道集会の開催できない場所に行くことができる。こうした所では、忠実な文書伝道者は生きた説教者の代わりをつとめる。文書伝道の働きによって、他の方法では、聞くことのない多くの人々に真理を紹介するのである。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇二年一〇月七日

私たちは一刻でもぐずぐずしていることはできない。目の前には重要な働きがある。私たちがもし怠惰なしもべであれば、必ず天の報酬を失うであろう。しかし出版物を賢明に配布することに深い関心をもって個人的な努力をすればどんなに人々に接することができるかについて、広い見解を持っている者は少ない。生きた説教者から示される真理には耳を傾けようとしぬ多くの人々が、一片のトラクトや小冊子を受け取って目を通す。それを読んでいろいろのことながら彼らの考えと

一致しているのに気づき、彼らはその中に含まれていることを興味をもって全部読むのである。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一八七八年一月九日

責任を知ること——營利主義になりあまりにも世的な商売に夢中になって、きよく、力のある神のみ言葉の真理が生活に取り入れられない危険がある。人々はますます商売と利益を愛するようになってきた。兄弟方よ、心から改心しなさい。私たち各自の責任を理解すべきときがあるとすれば、それは今である。眞実は広場に倒れ、正直は、はいることができない。サタンは、滅びる者のうちにあらゆる不義の惑わしを行なうために、大いなる力をもって降りてきた。そしてふるうことができるものはことごとくふるわれ、ふるうことのできないものが残されるのである。主はもうすぐおいでになり私たちは大いなる苦難に会うのである。悪魔の手下は、目には見えないが、人間の生命を破壊しようとして働いている。しかし、自分の生命が、キリストとともに神のうちに隠されているならば、主の恵みと救いを見ることができ。キリストはこの地上に主の王国を建設するためにおいでになる。私たちは言葉をきよめて、主のみ栄えのために用いよう。これまでに働いたことがなかったほど、働こう。「時が良くて悪くてもそれを励む」ようにすすめられている（テモテ第二・四ノ二）。私たちは眞理を紹介する道を開かなければならない。魂をキリストに導くすべての機会を活用しなければならぬ。

私たちは一つの民として、新たに悔い改め、生活が清められて、イエスのうちにあるがままの眞理を伝えなければならない。出版物配布の働きをするとき、救い主の愛を暖かい心で語ることができ。罪を許す能力は、神だけが持つておられるものであるからまだ悔い改めていない人々にこの

使命を語らなければ、私たちの怠慢のために彼らは滅びてしまうであろう。……主は滅び行く魂を救うようにとみんなに求めておられる。サタンは選ばれた者さえだまそうと働いている。今こそ目ざめて働くべきときである。私たちの書籍や雑誌に人々の注意を引くようにしなければならぬ。今すぐ現代の真理の福音を町々に伝えなければならない。私たちは、自分たちの義務に目ざめようではないか。

——教会へのあかし・第九卷・六二、六三ページ（一九〇九年）

神の働き——文書伝道者はすべての水のほとりに種を播く機会のあることを忘れてはならない。真理の知識を与える書籍を文書伝道者が売るとき、それは神の働きをしているのであって、すべての才能は、神のみ名の栄光のために用いなければならないことを記憶しなければならない。神は、人々に真理をはっきり示すことができるように、真理を理解しようと努力するすべての者と共におられるのである。神は、明瞭にこう語っておられる。「御霊も花嫁も共に言った、『きたりませ。』また、聞く者も『きたりませ』と言いなさい」（黙示録二二ノ一七）。教える必要としている人々にイエスのうちにあるがままの真理と知識を紹介できるよう、教えることを手間どってはならない。

——教会へのあかし・第六卷・三一四、三一五ページ（一九〇〇年）

見張りの者と使者たち——文書伝道者が大いなる働きをしなければならないときがきた。世界は眠っている。彼らは見張りの者として、眠っている者にその危険を告げるため、警鐘を鳴らさなければならぬ。諸教会は、彼らの災難の日を知らない。彼らはしばしば文書伝道者たちの働きによって真理を最もよく学ぶのである。主のみ名によって出て行く者は、神の律法に従い、キリストに

よる救いの喜ばしいおとずれを、暗黒と誤謬のうちにある群衆に伝える神の使者となる。

——教会へのあかし・第六巻三一五ページ（一九〇〇年）

魂が悔い改めるのを見て——文書伝道者は、神のいましめに服従し、他の人々にも服従するように教えるとき、魂が悔い改めるのを見て報われること、また真に悔い改めたひとりの魂は他の人をキリストに導くことをおぼえ神のみ言葉を携えて行くべきである。こうして働きは新しい地域に進展してゆく。

——教会へのあかし・第六巻・三一五ページ（一九〇〇年）

恩恵期間の続く限り——恩恵期の続く限り、文書伝道者の働く機会はある。新教の団体が神の民を迫害するために法王権と結合するとき、宗教の自由のあるところが文書伝道者によって開かれるであろう。ある場所で迫害が激しくなるならば、働き人はキリストが指示しておられたようにしなければならぬ。「一つの町で迫害されたなら、他の町へ逃げなさい。」それでも迫害されるときにはさらに他の場所に行きなさい。神はご自分の民をお導きになり至るところで彼らを祝福なさる。迫害がなければ彼らは真理を宣伝するのに、これほど広範囲に散らされはしないであろう。キリストは、「あなたがたがイスラエルの町々を回り終らないうちに、人の子は来るであろう」と仰せになつてゐる（マタイ一〇ノ二三）。「すべてが終つた」という言葉を天において聞くまでは、つねに働く場所があり、使命を受けいれる心がある。

——教会へのあかし・第六巻・四七八ページ（一九〇〇年）

大いなる働きをしなければならぬ。そして罪のゆるしを与える救い主としてのキリスト、また

罪を負うキリスト、輝く明けの明星としてのキリストを現わすために、できる限りの努力を払わなければならない。主は私たちの働きが完結するまで世の人の前で私たちを支持される。

——教会へのあかし・第六巻・二〇、二一ページ（一九〇〇年）

これよりも高尚な働きはない——文書伝道者の働きよりも高尚な働きは他にない。この働きには最高の道徳的義務の遂行が伴うからである。この働きに携わる人々は、つねに聖霊の導きのもとに必要がある。自己を称揚することがあってはならない。私たちは、キリストからいただかないといえる物を持っているだろうか。互いに助け合うことによって愛を現わし、兄弟として愛さなければならぬ。情深く親切でなければならぬ。また、力を合わせて協力しなければならぬ。キリストの祈りを生活にあらわし、それを実生活に実践するものだけが、全世界に臨む試練に耐えることができる。自己を称揚する者は、自分をサタンの勢力圏内におき、彼の欺瞞（ぎまん）を受け入れる備えをしている。主がその民らに言われるみ言葉とは、私たちの標準をできるだけ高めるようにということである。神のみ声にきき従うならば、神は共に働かれて、私たちの努力に報いてくださり、成功を与えてくださる。私たちは、各自の働きにおいて、天より豊かな祝福を受け、宝を神のみ座のそばに積むのである。

私たちは、前途に何がまっているかを知っているならば、主のみ働きにぐずぐずしてはいないであろう。

へしなかった働きに対して責任がある。私たちは、ふるいとき、すなわち、ふるわれるものは、すべてふるわれる時代に生存している。主は、真理を知っていながら、それを言葉と行為にあらわ

して戒めに従わない者をおゆるしにならない。私たちは魂をキリストに導くために働かなければ、自分の霊的怠慢のためにできたはずの働きができなかった責任を問われるだろう。主の王国に属している者は、救霊のために熱心に働かなければならない。あかしを一つにまとめて、教えを弟子たちのうちに封じておくために自分の分を尽くさなければならぬ。

へだれが行くべきか」主は聖書にお与えになった光が明瞭に輝き、赫々たる光を放つようと計画しておられる。このご計画を達成させるために力強い協力的な努力をすることは文書伝道者の義務である。重大な働きが私たちの前にある。魂の敵はそれを知って、文書伝道者をなんとかして、他の働きに従事させようとたくらみ、あらゆる方法を講じている。だからこのよゝな事態を一掃しなければならぬ。神は文書伝道者を元の働きに呼びもどされる。神は、知恵も力もいっさいをみ業にささげ、機会があれば、どんな所ででも助力を惜しまない志願者を求めておられる。主は、私たちだけが才能に依じて各自に与えられている働きをするように求めておられる。だれがこの召しに応じるだろうか。だれがキリストの知恵と恵みと愛をもって、遠近に住む者のために出て行き働くだろうか。だれが、安逸と快樂とを犠牲にして誤謬と迷信と暗黒の地に出て行き、うまずたゆまず熱心に働き、真理を平易に語り、信仰をもって祈りつつ戸ごとに伝道をするだろうか。この時代に、だれが営外に出て、聖霊の能力に満たされ、キリストのために屈辱を忍びつつ人々の前に聖書を開き、彼らに悔い改めを促そうと出て行くだろうか。

神はいつの時代にも働き人をもっておられる。人が来さえすれば、その時の召しに答えられる。「わたしはだれをつかわそうか。だれがわれわれのために行くだろうか」と神が言われるとき「こ

ここにわたしがおります。わたしをおつかわしてください」と答えるのである（イザヤ書六ノ八）。文書伝道の分野で有能な働きをしている者はみな、現代の真理を知らない魂に仕えて主の働きをしていることを確信しよう。彼らは間もなくこの世界に突然起こる主の大いなる日のために一つの民を備えようと、あらゆる階級の人々に警鐘を打ち鳴らしている。私たちはぐずぐずしている暇がない。この働きを促進しなければならない。今、だが、私たちの出版物を携えて出て行くだろうか。

主は、神の力と協力するすべての男女に、働きに対する適性を授けられる。すべての必要な才能、勇気、忍耐、信仰、および気転は、彼らが武装するときと与えられる。この世に大いなる働きがなされるはずであり、働き人は必ず答えて、その必要に応じるのである。世界はこの警告を聞かなければならない。「わたしはだれをつかわそうか。だれがわれわれのために行くだろうか」との召しがあったとき「ここにわたしがおります、わたしをおつかわしてください」とはつきり答えよう。

——教会へのあかし・第六巻・三三一—三三三ページ（一九〇〇年）

心ない者の批評——不注意な傍観者はあなたの働きを尊重せず、その重要性を悟らないかもしれない。彼らはそれを利益のない、人から喜ばれない、自己犠牲の働きだと思うかもしれない。しかしイエスのしもべは十字架から輝く光に照らしてそれを見る。彼は自分の犠牲が祝福された主の犠牲に比べてささやかなものであることを知り、喜んで主のみ足の跡に従う。そして彼は働きの成功によって、真の喜びを味わい、忍耐強い骨折りの生涯に対して豊かな報酬を受ける。

——教会へのあかし・第六巻・三四〇ページ（一九〇〇年）

浪費する時間はない——文書伝道は、それに携わる男女にとって重要な意味をもち、責任の重い

働きである。私たちは大いなる働きをしなければならぬ時代に生存している。キリストが備えておられる晩餐（ばんさん）に集まるようにと、人々を招待することにまさるよい機会がほかにあるだろうか。このときに熱心に献身して文書伝道に携わる者は大いに祝福される。いまは、ぐずぐずしているときではない。あなたはこの働きを喜んで無我の精神でするように献身なさい。それからこの働きが、その性質上、伝道的なものであることと、今日、非常に必要とされている警告を与えるのに役立つこととを覚えていていただきたい。

——原稿・第一一三号・一九〇一年

第三章 文書伝道者への召し

新しい働き人の召し——私は每晚人々の前に立ち、非常に明確なあかしを立て、彼らに十分目ざめて、文書配布に行く働きに携わるようにと訴えた。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇五年四月二〇日

文書伝道の分野は新しい働き人を必要としている。この働きに主の精神で携わるものは、真理を求めている人々の家庭に導かれる。こうした人々に、彼らは十字架の物語をやさしく語ることができ。そして神は、彼らが他の人々を光に導くとき、彼らを強め、祝福なさるのである。キリストの義は彼らの前にあり、神の栄光は彼らのうしろにある。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇三年七月一六日

立って光を輝かせ——文書伝道の働きをこれ以上なおざりにしてはならない。私はしばしば文書伝道の働きに、もっと多くの人々が興味をもたなければならないことを示された。印刷物の配布は、主が全世界に宣伝させようと、ご自分の教会に委託しておられる光を人々に紹介する最も重要な方法の一つである。文書伝道者の販売した書籍は多くの人々の心にキリストの測りしれない富を紹介する。

神の奉仕には、多くのなすべき働きがある。昔、神殿の奉仕にもたき木を割る者がいれば、階級の異なった祭司もいて、種々異なった責任を負っていた。私たちの教会信徒は立ち上がり、光を輝かさなければならぬ。なぜなら、光はすでにあらわれ、主の栄光が彼らの上にのぼったからである。真理を知っているものは眠りからさめ、人々のいる所で、彼らに接することができるようにつとめなければならぬ。私たちは、主の働きをこれ以上なおざりにし、俗事の次に回してはならない。怠けたり、失望しているときはないのである。福音を全世界に宣べ伝えなければならない。現代の真理について書かれた出版物を至る所に出さなければならない。

なぜ私たちはもっと目ざめないのだろうか。今こそ働き人のだれもが自分の特殊な働きを理解し、それにあらたに携わる力を受けるときである。神の限らない栄光が明瞭にその独特の方法で広がっていくとき種々異なったささげ物がイエスのみ足もとにささげられる。救い主の愛の新しい現われの一つ一つがある魂をこちらに向けるか、あるいは向こうに向けるかする。すべての物の終わりは近づいている。世の人々は滅亡へと突進している。彼らの計画、仲間が多い。神の教えを無効にするために、絶えず新しい工夫が考案される。人々は金銀の宝を山と積んでも終わりに火で焼くつくされてしまうのである。

—— レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇三年七月二日

主は多くの者を召される——新しい年を迎えるにあたり、私たちは主のご奉仕のために熱心にしんぼう強く計画を立てなければならぬ。神のみ働きを進展させるためになすべきことがたくさんある。私は文書伝道の働きが復興し、どんどんうまく進展しなければならぬことを示された。こ

れは主のみ働きであり、この働きに誠実に勤勉に携わる者は神の祝福を受ける。

——レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇三年一月二〇日

主は、もっと多くの人々が文書伝道の働きに携わるように求めておいでになる：：兄弟方よ、どうぞ人々に現代の真理の尊い光を伝えるためにこの新しい年を十分用いていただきたい。契約の天使は、そのしもべたちに全世界に真理を伝える機能を与えておられる。主はみ使いたちに恵みの使命を託され、それを伝えさせるためにおつかわしになったが、彼らが主の切なる愛の心を満足させるほどにその働きを急いでいないようなので、主はこの使命宣伝の責任を信者ひとりびとりに負わせておられる。「聞く者も『きたりませ』と言いなさい。」教会の全信徒は、かわいた者に生命の水を飲むようにと招いて自分の忠誠を示すのである。生きた証人は次々に出てゆき、全世界にこの招声を伝えなければならない。あなたもこの大いなる働きに自分の分を果たしてください。さうするか。へ男女がともに。イエスは、神に献身し、神の奉仕のために進んで働き、また用いていただく男女をたくさん伝道者として求めておられる。私たちは、ここに働くべき世界があることを認識しないでいられようか。神の助け手として用いていただき、一步一步前進しようではないか。自分を奉仕の祭壇の上に置こうではないか。そのとき、キリストの愛は私たちに触れ、私たちを造りかえ、主のため喜んでどんなことでもする者としてくださるのである。

——レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇三年一月二七日

多くの男女は、実際の敬虔（けいけん）について、率直、単純な教えの書かれた書籍を販売することによってりっぱな働きができる。

——原稿・第八一号・一九〇〇年

青年に対する召し——主は、青年たちが文書伝道者あるいは伝道者としてまだ真理の伝えられていない所に行き、戸ごと訪問による働きをなすようにと召しておられる。「あなたがたは、もはや自分自身のものではないのである。あなたがたは代価を払って買いとられたのだ。それだから、自分のからだをもって、神の栄光をあらわしなさい」と主は青年に語っておられる。神の導きのもとに働きに出て行く者は大いなる祝福を受ける。この世において自分の最善を尽くす者は、将来の不死の生活に対する適性を得るであろう。——レビュー・アンド・ヘラルド・一九一二年五月一六日

私たちにはしなくてはならない働きがある。青年たちを十分教育してみ言葉をのべ伝える働きに献身させなさい。青年たちを教育して、主が聖霊を通して人々を感動させお書かせになった書籍を販売する文書伝道者にさせなさい。この読み物はこうして真理を伝えられなければ聞く機会のない多くの人々に与えられるのである。これは伝道者の働きである。

——書簡・第一三五号・一九〇〇年

キリストは真理を世に伝えるために献身する青年を求めておられる。霊的忍耐力のある人、自分で働きを求め、身近なところで働きを発見できる人が必要なのである。教会は、人々にエネルギーを与えるような新しい人々、その時代の悪弊に対抗できる人々、キリストの愛で心が暖められ、主の働きに力を尽くそうとする熱意のある人々を主は必要としておられる。

——マニユアル・フォア・キャンバサー・二二ページ（一九〇二年）

多くの者が出て行く——青年たちが大勢文書伝道者として伝道地に出て行くように、主がどうか

導かれるように。文書伝道によって他の方法では真理を聞くことのない人々に真理を伝えるのである。私たちの働く時は短い。……

多くの信者が聖霊にみたまされ、「主も彼らと共に働き、御言に伴うしをもって、その確かなことをお示しになった」という真理をのべ伝えに出て行くことができるように、なぜ、もっと熱心に主に求めないのだろうか。私たちの任務は印刷所から四方八方に光を輝かせることである。光は文書によって、生ける説教者の説教を聞く機会のない山間僻地の人々に達することができる。これは最も祝福された伝道の働きである。文書伝道者は真理のために門戸を開いて主の助け手となることができる。

私たちは文書伝道者の熱意と誠実さをよびまし、地の暗いところにまで光を携えて行くように奨励しなければならない。才能や能力のある人々はだれもこの働きを免除されない。彼らは主の器となり、主イエスと協力して罪に満ちた暗い世に天来の光を輝かすことを要求されている。

——書簡・第二一号・一九〇二年

働き人はすべての教会から——主はわが団体のすべての教会から文書伝道者として主の奉仕に携わる働き人を求めておられる。神はその教会を愛しておられる。もし信徒が神のみ心を行ない、暗黒の中にいる人々に光を伝えようと努力するならば、神はその信徒の働きを豊かに祝福なさるのである。神は教会を世の光であると仰せになった。教会の忠実な奉仕によって、だれも教えることのできない大群衆が神の子供となり、永遠のよろこびを受けるにふさわしい者となるのである。神の

統治なさるところはどこでも神の栄光に満たされなければならない。それでいながら教会は、世の人々を照らし、地の至る所から神への賛美と祈りと感謝の声が上がるようにどんな努力をしているのだろうか。

——書簡・第一二四号・一九〇二年

すべての信者が手伝わなければならない——すべての信者に、この時代に対する使命の盛られている書籍、冊子、トラクト等を配布させなさい。印刷物を至る所に配布するために出て行く文書伝道者が必要である。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇三年一月一二日

一般の人々の中から働き人を——福音を伝え終わるこの働きは、広範囲にわたらなければならない。畑い。そしてこれまでより以上に一般の人々の中からこの働きの助け手を募らなければならない。畑からどう園から工場から、老いも若きも召されて救い主の使命をのべ伝えるためにつかわされなければならない。これらの大部分は教育をうける機会を持ったことのない人々であるが、キリストは彼らがキリストの目的を果たす資格をそなえていることをごらんになる。彼らがこの働きに心をそそぎ、学びつづけるときに、キリストは彼らをキリストのために働くのにふさわしい者としてくださるのである。

——教育・三三五ページ（一九〇三年）

神の祝福が約束されている——トラクトや雑誌の配布、いろいろな私たちの印刷物の販売という伝道の働きが私たちに与えられている。この仕事は重荷で、時間もかかれれば頭もつかわなければならないと思っただけではない。時間がかかるなら、その時間を喜んでささげなさい。そうすれば神は祝福してくださる。今日ほど多くの働き人が必要な時代はない。自ら訓練をうけてこの働きに携わ

らなければならぬ兄弟姉妹が私たちの教会にいる。私たちのどの教会でも、真理を宣伝するために何かしなければならぬ。信仰のいろいろ異なった点を学び、自分たちのうちにある望みの理由を、柔和とおそれをもって答えられるようになることは、すべての者の義務である。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一八八〇年四月一日

キリストは語るべきことをお教えになる——悲しみ落胆して信仰と信頼に弱くなっている人々がたくさんいる。そういう人々は何かをして自分たちよりもっと乏しい人々を助けよう。そうすれば自分たちも神の力によって強められるのである。彼らは文書販売に携わるようにしよう。こうして他の人々を助ければその経験によって、自分たちが神の助け手であるという確信を持つようになる。彼らが主にみ助けを求めるとき、神は光を求めている人々のところへ導いてくださる。キリストは彼らのそばにおられて、彼らの語るべきことを行なうべきことを教えてくださる。彼らは他の人々を慰め励ますことによって、自分自身も慰め励まされるのである。

へ天使は共に行き、道を備える。私はあなた方クリスチャンの働き人が、全世界にまきちらすようにと主が言っておられる書籍を配布するために、できるだけのことをしてくださるようお願いしたい。できるだけ多くの家庭に文書を配るよう最善を尽くしなさい。大勢の信者が、これらの書籍を配布し、主が人々に伝えなければならぬと仰せになった光を人々に与える働きに協力するならば、どんなに大きい働きが行なわれるかを考えていただきたい。神の導きのもとにこの働きをおしすすめ、主のみ助けに頼りなさい。聖霊は必ずあなたと共においでになり、天使たちも共に行き、道を備えてくれるのである。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇三年一月七日

神のお求めになる献身—— 私たちには、聖霊を受け、神の性質にあずかる文書伝道者、福音伝道者、牧師が必要である。神と共に語り、それから人々と語ることのできる人が必要である。人々を伝道の働きから引きはなして、神の働きをさまたげる障害が多く起こるのを見るとき、私は憂慮に耐えない。……文書伝道の働きに携わり、どこでも非常に必要とされている書籍を配布しなければならぬ。……文書伝道者に警告する。神がお召しになった働きから離れないよう注意していただきたい。神が福音を伝えるために召された人々は、複雑な商業にかかりあってはならない。彼らは自分の霊性を保つのにふさわしい状態にしておかなければならない。……神は現代の真理を信ずるという働き人がみな出て行って、滅びゆく魂を救うための働きに身も魂も心も献身することを望んでおられる。

—— 原稿・第四四号・一九〇三年

都市で働く文書伝道者が必要—— 現代の真理の尊い光が盛られている書籍は、私たちの出版所のたなで眠っている。これを配布しなければならぬ。これらの書籍を携えて大都市にはいつて行く文書伝道者が必要である。彼らは戸ごとを訪問するとき、生命のパンにうえている魂を見つけて、おりにかなった言葉をかけることができるであろう。魂に対する重荷を感じている文書伝道者が必要である。あなたは、「私は牧師ではないから、人々に説教することはできない」と言うかもしれない。あなたは説教することはできないかもしれないが、しかし奉仕することができる。あなたは伝道者となることができる。あなたは、キリストにつかわされた弟子たちのように働いて神の助け手となることができる。青年男女方よ、主はあなた方を主の働きに携わらせようと、召しておられ

る。地は純粋な福音にうえている。

——原稿・第一一三号・一九〇一年

あらゆる場所に行くように召されている——この世の事物は間もなく滅びて行く。多くの人々、神のみ業に歩調を合わせていない人々は悟っていない。献身した男女は、あらゆる場所に出かけ、行き警鐘を鳴らさなければならぬ。私は私たちの兄弟姉妹がキリストの福音を伝えるさまたげとなる働きに携わらないようにとすすめたい。あなたは神の代弁者である。あなたは愛をもって滅びゆく魂に真理を語らなければならない。「道やかきねのあたりに出て行って、この家がいつぱいになるように、人々を無理やりにひっぱってきなさい」とキリストは言われる。これらの言葉は文書伝道者の働きを明確に説明していかないだろうか。彼は心にキリストを宿して人生のあらゆる階層に出て行って婚宴への招待を出さなければならない。財産のある人や社会の有力な人々も招かれれば来るであろう。ある者はことわるかもしれないが、ありがたいことにみんながことわるのではない。私たちの教会のもっと多くの人々が私たちの生存している時代のことや、戸ごと訪問による奉仕によってなしとげなければならぬ働きのことを認識すればどんなにいいかと思う。真理を知らない人々は非常に多い。彼らはキリストのもとにきなさいという召しを聞かなければならない。悲しい人々は元気づけられ、弱い人々は強められ、嘆き悲しい人々は慰められなければならない。貧しい人々は、彼らのために与えられている福音に接しなければならない。

主は、ご自分の働き人が主のぶどう園のどんな場所で働いていようとよくご存じであり、彼らを見守っておられる。主は、ご自分の教会が立ち上がり、事態を認識するようにと望んでおられる。

主はまた、私たちの伝道機関にいる人々が目ざめて、神のみ国の来ることを早めるような感化力を働かせるようにと望んでおられる。伝道機関に働く人々は、そこから働き人を送り出し、同情と発展の機会を与えられないために、これらの働き人の興味が薄らぐことのないようにしなさい。

——レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇三年六月二日

書籍を秋の木の葉のようにまき散らせよ——これはぜひともしなければならぬ働きである。終わりは近い。これらの書籍の配布されていなければならなかった多くの時間がすでにむだに過ぎてしまった。遠く近く至る所で書籍を売り、秋の木の葉のように散らしなさい。この働きをだれにもさまたげられることなく続けなければならない。魂はキリストを知らずに滅びようとしている。キリストが天の雲にのって間もなくこられることをこの人々に伝えよう。

——レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇八年八月一三日

一人いるところに百人——神のおりから迷い出た羊は、あちこちに散らばっている。彼らのためにしなければならぬ働きがあるそかにされている。現在一人しか文書伝道者のいない所に、百人の文書伝道者がいなければならないことを、私は、私に与えられた光によって知った。

——教会へのあかし・第六巻・三一五ページ（一九〇〇年）

成功が保証されている——文書伝道によって大いなる、しかもよい働きができる。主は人々に機知と才能をお与えになった。これらのゆだねられた才能を、神のみ栄えのために聖書の原則と織りまぜながら用いる人々は成功するであろう。私たちは、絶対に失敗のない神に信頼をおき、祈って働くべきである。

——教会へのあかし・第六巻・三四〇ページ（一九〇〇年）

第四章 文書伝道者の選択

奉仕の責任を感じている人々——文書の販売は伝道の働きであるから、伝道の立場から行なわなければならない。文書伝道者として選ばれた者は、奉仕の責任を感じ、利益を得るためでなく、光を人々に伝達する目的を持った男女でなければならない。私たちの奉仕はすべて神の栄光のためであり、暗黒のうちにいる人々に真理の光を与えるためでなければならない。利己主義、利益や威厳、地位等に対する愛は私たちのうちで□にしてはならないことである。

——教会へのあかし・第六巻・三一七ページ（一九〇〇年）

働き人の選択における注意——文書伝道は多くの者が考えているよりもはるかに重要な働きであり、働き人を選択するには、牧師職につく人々の人選の場合と同様の注意を払わなければならない。青年たちを訓練すれば多くの者がうけたよりも少ない給料で、今までになされたよりもはるかによい働きをすることができ。標準を高く掲げ、自己を否定し、自己を犠牲にし、神と人を愛する人を働き人の群れに加えなさい。彼らは、安逸を期待せず、反対や困難に出会っても、くじけず勇敢に働こうと決心して来なければならない。私たちの出版物の真価を自分で認めた上で、それらの人々にすすめることができるような人々に参加させなさい。

——教会へのあかし・第五巻・四〇五、四〇六ページ（一八八五年）

兄弟たち（指導者）は、真理が誤解されたり、誤り伝えられることのないようにと思うならば、文書伝道者を選ぶのに慎重な態度を示さなければならぬ。働き人にはみんなに十分な給料を支給しなければならぬが、給料の額を上げて文書伝道者を引き寄せることをしてはならない。この方法は彼らに害になるからである。それは彼らを金づかいの荒い者にする。真の伝道精神と必ず成功を得るに必要な資格を、彼らに深く印象づけるように努めなさい。文書伝道者は、心のうちにあるイエスの愛に導かれて光をまきちらすために働くことを特権であると感じるようになる。彼はこのことのために研究し、計画し、祈るであろう。——教会へのあかし・第五卷・四〇三ページ（一八八五年）

ある者は他の者よりも適している——ある仕事をするには、ある人々は他の人々よりも適している。だからみんなが文書伝道者になれると考えるのは正しいことではない。ある人々には、この働きに必要な特別の適応性はないが、このために彼らを不信仰だとか、自発性がないなどと思ったりしてはならない。主は不合理な要求をなさない。教会は、それぞれ異なった特色をもったいろいろな花の集められた花園のようなものである。すべての者は、いろいろの点で異なっているかもしれないが、それぞれには固有の価値があるのである。

神は、めいめい違った気質をもつ自分の民がそれぞれどんな働きでもできるようにとは期待しておられない。いろいろ違った責任があることをみんなが知っていないかもしれない。他の人が自分なりの義務に対する確信を持っているのに、さし出がましいさしずをすることはだれにも許されていない。助言を与えたり、計画を示唆することはよいが、神のご指導を求める自由がみんなに与えられなければならない。人はみな神のものであり、神に仕えるものである。

——教会へのあかし・第六卷・三三三、三三四ページ（一九〇〇年）

牧師職や婦人伝道師の働き、また、文書伝道に携わらなければならないはずの青年男女が、手仕事にしばられてはならない。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九一二年五月一六日

応対ぶりがよく、機知に富み、先見の明がある人——伝道者はどこでも必要である。伝道地のあらゆる場所から文書伝道者を選ばなければならない。それは職がなくてぶらぶらしている人々の中からでなく、また何の役にも立たない人や、何をしてもうまく行かない男女たちからでなく、応対ぶりがよく、機知に富み、先見の明をもった、才能のある人々の中から選ばなければならない。このような人々が必要なのであり、文書伝道者として成功する人々なのである。この働きに適した人々はこれに携わるが、ある思慮のない牧師は、その人々の才能を単に文書伝道の働きにでなくて、講壇に向かう働きに用いなければならないと言って、その人々をうめぼれさせるかもしれない。こうしてこの働きは軽視されてしまう。彼ら（文書伝道者）は牧師としての証認状を受けるように勧められる。こうして、戸ごとに人々を訪問して人々と語り、共に祈る良い伝道者となる訓練を受けられるはずのその人々が、つまらない牧師になってしまふのである。そして多くの働きを必要としている場所、神のご用のためにいろいろのよい事がなされるはずの場所はなおざりにされている。有能な文書伝道者は、自分の働きを忠実に果たすならば、その働きに対して充分な報酬を与えられ、すべてのことが牧師と同様でなければならない。

——教会へのあかし・第四巻・三八九、三九〇ページ（一八八〇年）

最もすぐれた才能のある人々——だれもかれもがこの働きに適しているわけではない。最もすぐれた才能と実力のある人、仕事に理解があり組織的に携わり、不屈の精神をもって前進する人が選

ばれなければならない。最もよく組織された計画を立てて、これを忠実に遂行しなければならない。どの教会でも、トラクトの配布や伝道の働きに深い興味を感じなければならない。

——教会へのあかし・第四巻・三九〇ページ（一八八〇年）

宗教経験の必要——クリスチャンの青年を選んで現代の真理をのせた書籍を配布させよう。宗教経験のない青年を文書伝道者にしてはならない。人々に伝えなければならぬ尊い真理を正しく説明することができないからである。このような青年を文書伝道の分野におくり出すことは、そのような青年たちにとっても、主のみ働きに対しても妥当ではないのである。これは神聖な働きであり、この働きに携わる者は、キリストのためにあかしをたてることのできる者でなければならない。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇二年一〇月七日

文書伝道の働きは経験を積むのに最もよい方法である。これらの人々は、どの方面で働くようにと勧められるにしても、その前にまず完全に悔い改めていることが必要である。そして後、彼らが働きにたずさわれば、神は彼らとともに働いてくださるのである。

——原稿・第一二六号・一八九九年

神聖な働き——文書伝道を神聖な働きとして重んじなければならない。きよくない手や心の持ち主にこの働きに携わるようにすすめてはならない。神のみ使いたちは、献身しない者と共に人々の家庭に行くことはできない。だから悔い改めない者や、まちがった思想を抱いている者、また、触れるすべてのものにその不完全な汚点を残す者は、神の真理を伝える働きを避けなければならない。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一八九〇年五月二〇日

第五章 学生と文書伝道

学生に対する神のご計画——神は、私たちの学校の多くの学生が、将来成功するために必要な実
際の教訓を学ぶことができるような計画を制定なさった。神はわが教育事業、病院事業を進展させ
るための尊い書籍を配布する特権を私たちにお与えになった。青年たちは、これらの書籍を販売す
るときに、遠方の地で彼らを待ちうけている問題を、どう扱ったらよいかを教えるさまざまな経験
に遭遇するであろう。学生時代に、これらの書籍を販売するとき、多くの学生は、礼儀正しく人々
に接する方法や、現代の真理に関する種々の点についてじょうずに人々と話し合う方法を学ぶので
ある。経済的にも成功を収めるようになれば、彼らのなかには、節約と経済についての教訓を学ぶ
ものもある。それは、彼らがやがて宣教師として派遣されるときに大いに役立つのである。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇八年六月四日

学校は文書伝道者を養成する——私たちの学校は主によって設立されたものであるから、もし学
校が神の御目的に一致して経営されるならば、学校にはいつて来る青年たちはすぐさま伝道のいろ
いろの部の働きに携わる準備教育を受けるであろう。ある者は看護婦として、ある者は文書伝道者

として、ある者は伝道者、教師、牧師として訓練を受けるであろう。

——レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇三年一〇月一五日

学生文書伝道者のための機会——学校が休みになれば、文書伝道者として働き場に出て行く機会が多くの人に与えられる。忠実な文書伝道者には道が開かれて多くの家庭を訪問し、この時代に対する真理の書かれている尊い読み物を渡すことができる。

——レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇三年八月二七日

キリストの学校で学べ——学生として、あなた方は、つねにキリストの学校で学び、委託されている肉体的、知的精力の資本をあなたの働きに用いなければならない。神は二心ある者をお受け入れにならない。文書伝道者として、あるいは婦人伝道者としての働きのために、教育を受けなければならない男女がある。そういう人々はきよくない思想や行為をことごとくすて、真理によってきよめられなければならない。世の欲のために滅びることなく神のご性質にあずかる者とならなければならない。神の力以外に何物も、あなたを正しくし、また正しく保つことはできない。神に自分の最善のものをささげなければならない。そして、自分が学んだことを実行に移しながら常によりよい働きをしなければならない。——レビユー・アンド・ヘラルド・一八九〇年五月二〇日

教育の一方法——私は文書伝道の働きに関して特別の光を与えられ、その受けた感銘と責任を忘

れることができない。この働きは教育の一方法である。この働きは牧界にはいる準備をしている人のための最もすぐれた学校である。この働きに正しく携わる者は、キリストに学び、その模範に従う立場に立たなければならない。ほんとうに謙遜（けんそん）な心でこの働きに携わる者のために天使がつかわされて彼らと共に出て行く。

——原稿・第二六号・一九〇一年

青年たちは文書伝道に携わり、家から家へと働くことによって最もよい教育を受けることができる。この働きをしているときに青年たちは生命の言葉を語る機会を見つけて、真理の種を播くのである。青年たちは神から責任が自分たちに負わされていることを人々に示そう。彼らが神のうちに堅く立ちうることを証明する唯一の方法は、神の武具をまとい、神が彼らにさせようとして与えられた働きを忠実に遂行することである。

——原稿・第七五号・一九〇〇年

真の「高等教育」——私たちは兄弟たちを失望させ、その手を弱めて神が彼らによってしようとして望んでおられる働きをやめさせてはならない。伝道の働きのために人々を訓練することにより多くの時日を費やしてはならない。教育は必要であるが、キリストが大教師であられて、すべての真の知恵の源泉であられることを、みんなが覚えていよう。老いも若きもすべてが神に献身し、働きに取りかかり、聖霊の指導の下に謙遜に働きながら前進しよう。学校で学んだ者は、働き場に出て行き、修得した知識を実際に応用しなさい。文書伝道は、神から与えられた能力を用い、神から助言を求め、書籍を販売する働きと人々に対する個人的働きとをかねてこのことをするならば、彼らの才能は働かすことによって増し加わり、学校では学ぶことのできなかつたいろいろの実際的教訓

を学ぶのである。この実際的な方法によって得た教育こそ、当然、高等教育と呼ばれるものである。

——教会へのあかし・第六巻・三三〇、三三一ページ（一九〇〇年）

評価できない経験——真の奉仕の機会を望む者、神に自分を全くささげる者はみな、文書伝道の働きのうちに、将来の永遠の命に関する様々のことを語る機会を見つけるであろう。こうして得た経験は、牧界のために準備しているものにとって、最大の価値がある。聖霊が共にいて神の群れを牧する牧師となるよう男女の働き人をお備えになる。彼らは、キリストが彼らの同伴者であられることを考え、困難な経験や試練の最中にも、聖なる恐れと喜びを感じることが出来る。彼らは、働きのながら、どのように祈るかを学び、また、忍耐、親切、ていねい、有用性についての教育を受けるであろう。彼らは、同伴者であられるキリストが鋭い、不親切な言葉や感情をお認めにならないということを中心に留めて真のクリスチャン礼儀を実行するであろう。彼らの言葉はきよめられ、言葉の力は高尚な聖なる働きのために、彼らに貸し与えられた尊い才能となる。人間は自分が交わっている聖なる同伴者の代表者となる方法を学ぶであろう。彼はその見えない聖なるお方を尊敬し、あがめるであろう。それは、そのお方のくびきを負い、そのお方の純潔で聖なる道を学んでいるからである。この聖なる同伴者を信じる信仰を持つ者は発達成長する。彼らは真理の使命に聖なる美を着せるために能力の賜物を受けるのである。

——教会へのあかし・第六巻・三二二ページ（一九〇〇年）

牧師職のための準備——神が牧師職のために召しておられた人々の中には文書伝道者として働きについて人々もいる。もし彼らの目的が光をひろめ、神のみ言葉の真理を直接家庭の人々に伝えることであれば、この事がりっぱな準備となることを私は示された。対談しているうちに、聖書の宗教について語る道がしばしば開かれる。もしなすべき通りに正しく働きに着手するならば、家庭を訪問して、働き人はクリスチャンらしい柔和と人々に対する愛を表わし、よい結果を得るようになるであろう。これは牧師職を志望している者にとつては最もよい経験となるのである。

牧界のために準備している者は、文書伝道以外の仕事に携わっても文書伝道で与えられるほどの大きい経験を得ることはできない。——教会へのあかし・第六卷・三三四ページ（一九〇〇年）

この働きには他の部門の働きよりも多くの困難が伴う。しかし、学んだ教訓、修得した機知と訓練によつて、その他、多方面の有用な仕事につくにふさわしい者となり、そのような方面で人々に奉仕できるようになる。教訓をよく学ばず、人々に接触するときには不注意だったり、不法法だったりする者は、たとえ牧界にはいつても、人々の精神を扱う機転やわざに同じような欠陥を表わしてしまうのである。……

青年たちは牧界の働きをする準備として学校で多くの年月を費やすより、文書伝道をするに
よつてもつとよい準備をすることができ。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・四一、四二ページ（一九〇二年）

欠くことのできない知識——神の働きをもつとよくする方法を学ぶために学校に通っている方々

に私は申し上げたい。救霊者になるには、日々、神に献身すること以外にはないということを知っていたきたいのである。貧しいために学校に行けなかった人々がいた。しかしその人々が神のゐすこゝ娘となったときに、自分たちの周囲の人々のために働き、自分のいるところで働きに従事した。学校で学んだ知識は乏しかったが、彼らが献身したことによって、神は彼らを通して働かれた。キリストに従って来るようにと漁師の仕事から召された弟子たちのように、彼らは救い主から尊い教訓を学んだ。彼らは大教師とつながっていたので、聖書から学んだ知識によって他の人々にキリストについて語る資格をもつことができた。こうして彼らは、自分を賢い者とせず、天からの教えを受け入れたので真に賢い者となった。聖霊の更新する力によって彼らは実際の救いの力を与えられた。

もしキリストの学校で学んだのでなければ、どんなに博学な人の知識も、魂をキリストに導くことに関する限り、愚かなものである。「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。わたしのくびきは負いやしく、わたしの荷は軽いからである」(マタイーノ二八―三〇)。

神はこの招声を受け入れる者とだけ、いっしょに働かれるのである。

——教会へのあかし・第六巻・三一八ページ(一九〇〇年)

第六章 救霊の働き

魂をキリストに導く方法—— 私たちは、危険のうちにある人々を見つけ出して、キリストに導くために有効な方法の一つとして文書伝道の重要性を認めなければならない。文書伝道者はキリストの愛を語ったり、主のための奉仕における体験を話すことを禁じられてはならない。彼らは信仰に目ざめた人々と共に自由に語ったり、祈ったりしなければならぬ。人類に対するキリストの愛の単純な物語は彼らのために門戸を開き、不信者の家庭へはいる門戸さえも開くのである。

—— 教会へのあかし・第六卷・三三四ページ（一九〇〇年）

文書伝道に正しく携わる者は、教育家であり、また学生でなければならない。彼は他の人々を教える一方、伝道者としての働きをするために自分も学ばなければならない。文書伝道者は謙遜な心で、熱心に働く熱意に満たされて伝道地に出て行くとき、失望のために今にも死にかかっている魂に、おりにかなった言葉を語るいろいろの機会を見いだすであろう。彼らはこのように困っている人々のために働いてこそ、「あなたがたは、以前はやみであつたが、今は主にあつて光となっている」と言うことができる（エペソ五ノ八）。また彼らは、他人の罪深い行為を見ると「あなたがたの中には、以前はそんな人もいた。しかし、あなたがたは、主イエス・キリストの名によって、また、私たちの神の霊によって、洗われ、きよめられ、義とされたのである」ということができる（コリント第一・六ノ一）。

—— 教会へのあかし・第六卷・三三五ページ（一九〇〇年）

わが愛する兄弟方、あなたがたはいつか全地の主のみ前に立ち、自分の行為の説明をしなければならないことを覚えていただきたい。そのとき、あなたがたの働きはそのまま現われる。ぶどう園は大きく、主は働き人を求めておられる。どんな事のためにも救霊の働きがさまたげられてはならない。文書伝道の働きは最も成功率のある救霊の手段である。この働きをためしてごらんになりませんか。

キリストを表わす文書伝道者——キリストの利益は第一であり、どんな利益より一番高いものである。主はこの世界に一つの所有物をもっておられ、それを獲得し、永遠のみ国のために救おうとしておられる。主の使者たちが、み名によって出て行くことは、父なる神とキリストご自身の栄えである。なぜなら、彼らとキリストは一つだからである。彼らはキリストを世にあらわすべきである。キリストの利益は彼らの利益である。彼らがキリストの共労者になるならば、神の世継ぎとなりキリストと共に永遠の嗣業を継ぐ者となる。

真理の言葉を語る——文書伝道の働きは大きな責任のある働きである。それは文書伝道に携わる者たちだけでなく、彼らの働く対象となっている人々にも深い意味がある。文書伝道者は、自分の働きが伝道的性質を持ったものであり、接する人々が救われるようにと神が望んでおられることを覚えていなければならない。文書伝道者はつねに自分の心を聖霊の感化の下に置き聖書を身近に置いて参照し、真理の言葉を語る機会が与えられたらいつでも賢く語って、彼の言葉を聞く者にとつて、それが生命から生命に至るかおりとなるようにと、恵みを祈り求めなければならない。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇三年六月一六日

魂を求めて、すなどるために——魂を求めて、すなどるために文書伝道が必要である。今日文書伝道の働きに熱心に疑うことなく携わらなければならない。柔和で謙遜な心をもった文書伝道者は、多くよい事をなしとげることができる。文書伝道者は一人ずつ出て行って、天幕集会では接するこのできない階級の人々に接することができる。彼らは家庭から家庭へと真理の使命を伝える。こうして彼らは人々に接し、救い主について語る機会を多く発見する。文書伝道者は伝えなければならない真理に興味を持ちはじめた人々と共に歌ったり、祈ったりしなければならぬ。また、家族の人々にキリストのみ言葉を語らなければならない。「わたしは世の終りまで、いつもあなたと共にいる」というみ約束は彼らのものであるから、彼らは成功を期待してよいのである。キリストの精神をもって出て行く文書伝道者には神のみ使いたちが同伴する。

私は神の働きに責任を負っている方々にその救霊の働きを営利的な企業で妨げられないようにお願いしたい。主の再臨のために人々を備えさせる働きに携わらなければならない働き人の時間や才能が、他の商売に奪われてはならない。真理は、燃える火のように前進しなければならぬ。時は迫っている。敵は、私たちに、あまり重要でないことを重要であるかのように思わせ、最も必要な働きを軽視させようとあらゆる手をつくす。

——レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇三年六月二日

あらゆる階級の人々に接する——あらゆる階級の人々に接するためには、われわれは彼らのいるところで彼らに会わなければならない。彼らの方からわれわれを求めてやってくることはめつたにない。講壇からだけでは人々の心は天来の真理に動かされない。もう一つの働きの領分がある。そ

れは目立たないかもしれないが、大いに有望である。それは身分のいやしい人々の家庭に、身分の高い人々の邸宅に、……みいだされる。

——各時代の希望・第一巻・一七七、一七八ページ（一八九八年）

大路にいる人々——現代の特殊使命について考えたこともない実業家や福音牧師のところへ文書を携えて行きなさい。使命は、「大路で」——世界的働きに活動している人や、教師や、指導者たちに伝えなければならぬ。最も簡単な控え目な方法で幾千人の人々に接することができる。世界的に最も才能のある男女として尊敬されている最も知的な人々でも、神を愛し、その愛をあたかも世的な人々が自分に一番興味のあることを話すようにごく自然にその愛について、語るこのことができる人々の単純な言葉に元気づけられることがよくある。申し分なく準備され、研究された言葉でもあまり効果のない場合がしばしばある。しかし神のおすこ、娘らが自然に単純に語る誠実で正直な言葉は、キリストとその愛に対して長く閉ざされていた心の戸を開く力をもっている。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇三年一月二〇日

文書は他の方法では接することのできない、人里遠く離れた所に住んでいる人々にまで運ばれる。私はこれらの人々をわき道にいる聴衆と呼ぶ。文書伝道者は、このような人々に救いの使命が盛られている書籍を持って行くのである。

文書伝道者は、辺ぴな所の家々を訪問し、会う人々に聖書を開いて働く神の伝道者となるのである。彼らは聖書から喜んで熱心に学ぼうとする人々を発見するであろう……。

私は、大通りやわき道にいる人々に接するために自分のおよぶ限りの力を尽くしたいと熱望している。

——書簡・第一五五号・一九〇三年

交通のはげしい大通りにおいて——健康や娯楽を求める多くの人々が集まる世界的に有名な保養地や観光客が往来する中心地に、群衆の注意を引くことのできる牧師、文書伝道者を配置しなければならぬ。こうした働き人に現代の使命を伝える機会をうかがわせ、機会のあるごとに集会を開かせよう。また、人々に語る機会を機敏にとらえさせよう。彼らは聖霊の力に伴われ、「悔い改めよ、天国は近づいた」とのバプテスマのヨハネが宣べ伝えた使命をもって人々に接しよう。神の言葉は、聞く耳をもつ者が真理を聞くことができるように、明瞭に力強く伝えなければならない。このようにして、現代の真理の福音は、それを知らない人々の道に置かれ、少なからぬ人々に受け入れられて、地上いたるところにある彼らの家庭に持ち運ばれるのである。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇三年一月二五日

不節制な者を助けよ——あなたは、働きにおいて食欲と戦っている人々に出会うであろう。そういう人々を強め、励ます言葉を語りなさい。彼らの心の中にある希望の最後のひらめきをサタンに消させてはならない。キリストは、誤りにおちいり、恐れ、悪と戦っている人に、「わたしのところに」来るがよいと言われ、み手を置いて彼を立ち上げられる。あなたはあちらこちらへ出かけて行くときに、キリストの伝道者として、主のなさった同じ働きをすることができ。人々が神のがわに立つことができるようにと、ご自分の生命を与えられたキリストのもとに魂を導くことを期待して、信仰をもって働きなさい。飲酒家や愛煙家を、彼らを滅びゆく獣よりも劣るものにする悪習慣から救い出すように神とともに導きなさい。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇三年一月七日

病人や落胆している者のために祈る——キリストはどこにおられても真理の種をお播きになった。だからあなた方はキリストに従う者として、家庭で最も尊い働きをして主のためにあかしを立てることが出来る。このように人々に近づくことによって、しばしば病人や気落ちしている人々を見つめるのである。キリストのみそば近くに立つてそのくびきを負っていれば、平和と慰めの使命を失望落胆し悲嘆にくれている人々に、どのように伝えるかを日ごとにキリストから学ぶことができる。あなた方は、落胆している者に神のみ言葉を示し、祈りによって病人を主のもとに連れて行くことができる。あなた方は祈るとき、信頼し愛している友人に語るように、キリストに語りなさい。神の子供として、美しい、自然な、そして気持ちのよい威厳を保ちなさい。これは必ず認められるであろう。

——教会へのあかし・第六巻・三二三、三二四ページ（一九〇〇年）

くちびるに祈りをもつて——神のご要求を常に念頭に置かなければならない。私たちは、自分の行なったあらゆる行為の決算をしなければならないことを決して忘れてはならない。文書伝道者がこの責任を感じて魂を待ち受け、助けを必要としている者に、おりにかなった言葉を語る知恵を神に求める祈りがその偽りのないくちびるから出てくるであろう。このような働き人は、絶えず真理の富に従って魂をきよめ向上していく。彼らは、魂の価値について正しい観念を持ち、キリストの恵みを語るあらゆる機会を最もよく利用する。文書伝道者はまず「主よ、わたしに何をさせようとしていらっしゃるのですか」という祈りをしてから出て行くべきである。彼は、神とみ使いたちの前にいるような気持ちで働かなければならない。彼は自分が行なうすべてのことが、神に受けいれ

られるようにとの願いを持たなければならない。そのとき、彼の働きは実を結ぶであろう。

私たちに必要なものは、論議ではなく、もつとキリストを伝えることである。私たちの贖い主（あがないぬし）は私たちの信仰と希望の中心である。キリストの比類ない愛を人々に示し、自分の最もきよい愛をキリストにささげようと感動している働き人は、偉大で神聖な働きをしているのである。文書伝道者は、勤勉に文書を販売し、忠実にカルバリーの十字架を人々に示すことによってその有用性を何倍にもすることができると。このような働きの方法をすすめたいが、それぞれの事情によつておのずから方法が異なり、臨機応変の措置をとらなければならない。……

へキリストの愛を語りなさい。しばしば教理的な問題が伝えられても見ろべき効果がないことがある。それは人はだれでも自分の信じている教理を他人に勧めるのが当然のことだと思つていてにすぎないからである。しかし真心をこめてキリストの比類ない愛を説くときに、キリストの恵みは人々の心に深い印象を与える。世には救われるために何をなすべきかを知らずに、真心から光を求めている人々がたくさんいる。ああ、このような人々に神の愛と滅びていく者を救おうとしてカルバリーの十字架上にささげられた犠牲とを語りなさい。彼らの意志を神の意志に従わせるように語りなさい。「神のみこころを行なおうと思う者であれば、だれでも、わたしの語っているこの教えが神からのものか、それとも、わたし自身から出たものか、わかるであろう」（ヨハネ七ノ一七）。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・三六―三八ページ（一九〇二年）

論争点は避けなさい——文書伝道に携わっているある者は、神のみ言葉の知識に基づかない熱心を持つている。彼らは、知恵にかけ、また牧師や神学者をまねようとする傾向があるために、文書

伝道者にある制限を加えることが必要だと思われるほどになった。「わたしはだれをつかわそうか、だれがわれわれのために行くだろうか」との主の招声があるとき、神の霊は人々の心に「ここにわたしがあります、わたしをおつかわしてください」との応答をお与えになる（イザヤ書六ノ八）。しかし、まず祭壇からの火でくちびるがきよめられなければならないことを忘れてはならない。そのとき、何を語り、何を語るべきでないかを判断する知恵が与えられる。そうすれば、あなたは自分に神学者のようなりこうさがあることを現わそうとはしないであろうし、また論争をまき起こすような教理を紹介して偏見や争いの精神を起こさないように思慮深くなる。あなたは、反対を呼び起こさずに、かえって、神のみ言葉の深い知識を求めるように心を開くことがらについて語ることができる。

へ答えのできる準備をへ 主は、あなたがたが救霊者となることを望んでおられる。だから、人々に教理的な点を強制してはならないが「汝らのうちにある望みの理由を問う人には、柔和と畏懼をもつてつねに弁明すべき準備をなし」ていなければならない（ペテロ前書三ノ一五・文語訳）。何をおそれるのだろうか。それは自分の言葉にはうぬぼれをにおわせるところがないか、不注意な言葉を語ってはいないか、また言葉や態度にはキリストに似ていないところがないか、などの点を恐れるべきである。キリストと堅く結びつき、キリストにあるがままの真理を伝えなさい。

——教会へのあかし・第六巻・三二四、三二五ページ（一九〇〇年）

キリストを高く掲げなさい——パウロが働いたように働きなさい。彼は、しかめっつらをしてい

るパリサイ人やローマの権威の前であろうとキリストを、罪を憎んで罪びとを愛されるおかたとして、また私たちにご自分の義を与えるために、私たちの罪を負ってくださいたお方として高く掲げた。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・三四ページ（一九〇二年）

牧師は文書伝道者として—— 知能があり、神を敬いおそれ、真理を愛する文書伝道者は当然尊敬されなければならない。それは、彼らが牧師と同等の地位を占めているからである。若い牧師や牧界に立とうと準備している者の多くは、彼らが真に悔い改めているならば、文書伝道の分野で働くことによって多くのよい働きをすることができる。彼らは、人々に接し、教会の文書を紹介することによって説教するだけではとうてい得られない経験をもつことができる。彼らは、キリストのいのちのかがりを携えて、戸ごとを訪問して人々と語り合うことができる。彼らは、このように他の人々を祝福しようと努めて、自分自身も祝福されるのである。彼らは、信仰の経験をもち、聖書の知識を増し、そして魂をキリストに導く方法を絶えず学ぶことができるのである。

すべての教役者は、何の遠慮もなく文書を携えて出て行くべきである。牧師はどこへ行っても、自分がいった家に本を売るか、それとも贈与するかして帰ることができる。このような働きは、再臨運動の初期においてよく行なわれた。牧師は文書伝道者のように働き、それによって得た収入は助けを要する場所の働きの進展のために用いられた。このような牧師は、この働きの方法に関して話し合うとき、理解がある。それは彼らがこの方面の働きを自分で実際に経験しているからである。真理を伝える手段として、牧師が文書伝道に携わることは、牧師を軽んじることだとだれも考えてはならない。牧師は、この働きに携わることによって、使徒パウロがしたのと同じ方法で働いて

いるのである。彼は、「そして、彼のところに寄り集まってきた時、彼らに言った。『わたしは、アジヤの地に足を踏み入れた最初の日以来、いつもあなたがたとどんなふうにも過ごしてきたか、よくご存じである。すなわち、謙遜の限りをつくし、涙を流し、ユダヤ人の陰謀によってわたしの身に及んだ数々の試練の中であって、主に仕えてきた。また、あなたがたの益になることは、公衆の前でも、また家々でも、すべてあますところなく話して聞かせ、また教え、ユダヤ人にもギリシヤ人にも、神に対する悔改めと、わたしたちの主イエスに対する信仰とを、強く勧めてきたのである』」（使徒行伝二〇ノ一八―二一）。この雄弁なパウロ——神が驚くべき方法で自分を彼に現わされた——は心を卑くして、涙とともに多くの試みに会いながら、家から家へと訪問した。

——教会へのあかし・第六卷・三二一、三二二ページ（一九〇〇年）

文書伝道は説教に劣らず重要——文書伝道の働きに携わっている教役者は、安息日ごとに会衆の前でする説教に決して劣ることのない奉仕をしているのである。神は、忠実な牧師を尊ばれるのと同じように忠実な文書伝道者を尊ばれるのである。この二人とも光をもっており、二人ともおのの活動範囲で光を輝かすべきなのである。神は、すべての者が偉大ないやし主に協力し、至るところに出て行くように求めておられる。各自がその奉仕の分野において、神のために果たす働きをもっている。このような働き人は、悔い改めているなら真の伝道者である。

——書簡・第一八六号・一九〇三年

ある人は、文書伝道の働きに適し、説教するよりもこの方面の働きによつて、より多くの事を成しとげることができる。キリストの霊が彼らの心に宿っているなら、彼らは他の人々に言葉を語

り、人々の心を現代の特別な真理へと導く機会が与えられる。

——教会へのあかし・第六巻・三二三ページ（一九〇〇年）

奉仕における喜び——助けを必要としている者を助け、失われた者を捜し求め、滅びつつある者を救い、失望している者を励まし、病をいやし、なげき悲しむ者に同情と慰めの言葉を語ることが、キリストの喜びであった。私たちはキリストの霊を受ければ受けるほど、周囲の人々のためにもっと熱心に働くようになる。そして他の人々のために働けば働くほど、働きを愛するようになり、主に従う喜びが大きくなる。私たちの心は神の愛に満たされ、熱心と説得力とをもって十字架につかれた救い主について語るようになる。

私は真理の光を受けている方々にお尋ねしたい。あなたがたは、いま始まろうとしている新年に何をしようとしているだろうか。お互いの間の争いや、ほかの人に対してその人の信仰を破壊したりするようなことをやめるよう決心しているだろうか。まさに死のうとしている残りのものを強めるために、あなたの時間をささげるだろうか。教会信徒が主のために熱心に働くならば、不平や不満がなくなるであろう。そして、多くの者が彼らの身心を破壊している落胆の淵から救い上げられる。彼らがもし、他人のために働くならば、神を礼拝するために集まるとき、多くの助けになることを語ることができる。彼らの語るあかしは、暗い、陰うつなものではなく、喜びと勇氣とに満たされたものとなる。兄弟姉妹の過失や自分の受けている試みなどを考えたり、語ったりする代わりに、彼らは、キリストの愛を考え、語り、主のためにもっと有能な働き人となるように努力する。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇三年一月七日

第七章 神に全くゆだねる

第一に重要なもの——文伝道に携わる者は、まず自分を全く、無条件に神にささげなければならぬ。キリストは彼らを「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたの魂に休みが与えられるであらう。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである」と言って招いておられる。

——原稿・第二六号・一九〇一年

時を償いなさい——もしあなたが、種まきのときに怠り、神がお与えになった機会を利用しないで過ぎさせ、また自分の満足に没頭していたのなら、いま悔い改めて取り返しがつかなくなってしまうに時を償うようお願いしたい。あなたの才能を主のご奉仕のために用いる責任が重くあなたに負わされている。主のみもとにきて、いっさいのものを主にささげなさい。あなたは一日でも失うことができない。いままで果たさないで怠っていた働きに携わりなさい。つぶやき、不信、ねたみ、悪い思いなどは捨てて、単純な信仰をもって働きなさい。また長い間、献身しなかったことの許しのために熱心に祈りなさい。主の助けを求めなさい。一つ心で熱心に求めるならば、主をみいだし、主はあなたを強め祝福される。——レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇三年一月七日

謙遜で、すなおでありなさい——神はご自分の働きのために男女をお選びになるにあたり、この人は教育があるか、雄弁であるかまたは富を持っているか、などを問題となさらない。神は「彼らは私が道を教えることができるように謙遜に歩むか、彼らは私の言葉を託すに足るものであるうか、彼らは私をよく代表するだろうか」などとお問いになる。

神は、人々の心の宮に聖霊をお与えになるその程度に応じて、どの人でもお用いになることができる。神の喜ばれる働きは神のみかたちを反映することである。神のしもべたちは、世に対しての信任状として、神の不変の原則という消すことのできない特質を身につけている者とならなければならぬ。

——教会へのあかし・第七巻・一四四ページ（一九〇二年）

なぜ多くの者が失敗したか——文書伝道者は、彼らの言行動作がいのちよりのちに至るかありとなるように、また救いの感化を及ぼすことができるように、日ごと神に向かつて悔い改める必要がある。文書伝道において多くの者が失敗した理由は、彼らが真のクリスチャンでなかったからである。彼らは悔い改めの精神を知らなかった。彼らは、この働きをどうしなければならぬかを知っていたが、神に信頼していなかった。

へながめることによつて変化する。文書伝道者のあなたがたは、その取り扱っている書物によつて、バビロンの酒を満たした杯すなわち地上の王たちが飲んだ誤った教義ではなく、贖罪（しよくざい）の尊い真理に満たされている杯を紹介しているのだということを覚えなさい。あなたがたは、まず自分でそれを飲むことができるだろうか。そうすればあなたがたの意志はキリストの意志に従うようになり、キリストは、ご自分の肩書を皆さんの上におかれる。ながめることによつてあなたがたは、栄光が増し加わり、いよいよ高潔な品性にと変えられていくのである。神はあなたがたが

神のお与えになることばを語り、おおしく活動の第一線に出るよう望んでおられる。また神が救い主の尊い血によって贖われた人類を尊重していることをあなたがたが示すようにと望んでおられる。あなたがたは、磐（キリスト）の上に落ちて砕けたとき、キリストの力を経験し、人々はあなたがたの心に働く真理の力を認めるのである。

——教会へのあかし・第六巻・三一七、三一八ページ（一九〇〇年）

キリストを着なさい——神に絶対に服従する決心がつくまではだれも成功する救霊者になることはできない。私たち一人一人にとって主は知恵となり、義となり、きよめまた贖いとならなければならぬ。私たちの信仰がキリストを自分の救い主として受け入れるとき、私たちは他の人々に主を新しい光のうちに示すことができる。そして人々があらまのキリストをながめるとき、彼らは教理に関して言い争うことをせず、許しと、きよめと、永遠のいのちを求めて主のみもとにのがれてくるのである。

最も恐れなければならぬ障害物は、このような求めている魂に面会する文書伝道者自身が改心していないことと、キリストの測り知ることのできない愛を彼自身が経験によって知っていないことである。文書伝道者自身がこの経験をもっていないければ、どうして、他の人々にこの尊い古い創世記からの話を聞かせることができようか。人々は真の信仰の本質を知りキリストを受け入れ、自分の救い主として主に信頼する方法とを教えられる必要がある。彼らは、キリストの行かれる所には、どんな所にもそのみ跡に従って行くことを教えられる必要がある。働き人の足は、一步一步とイエスのみ足跡に従いつつ天に向かって進み、その他のいかなる道をも作ってはならない。

へ人々を贖い主に導きなさい。クリスチャンであると自称している多くの者が偉大な中心キリストから離れ、自分自身を中心に行っている。しかし、彼らが他の人々を救い主に導くことに成功した

いと思うなら、自分自身がまず主に立ち帰り、自分が全く主の恵みにすがっていることを認めなければならぬ。サタンは、人を神に結びつける鎖を断ち切ろうと全力をつくしている。彼は人々の魂を自分の車に結びつけ、彼に仕える奴隷にしようと望んでいる。しかし私たちは彼に對抗して働き、人々を贖い主に導かなければならぬ。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・三八、三九ページ（一九〇二年）

イエスのみもとに導かれた魂は安全に保護される——この個人的な働きによって魂がキリストのみもとに導かれたとき、その服従し、謙遜になった心を神のみ手にゆだねなさい。そして神がその人に最も適していると思われる働きをお勧めになる。神は、神のみもとに来るすべての者に十分な恵みがそそがれると約束された。イエスに自分自身をゆだねる者、心の戸を開いてイエスを招き入れる者は安全に保護される。イエスは「わたしは道であり、真理であり、命である」といわれた（ヨハネ一四ノ六）。彼らは、イエスをもつことによって真理をもち、主にあって完全なものとされるのである。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・三八、三九ページ（一九〇二年）

絶対に正直であること——もし文書伝道者が誤った行動を取り、虚言を言ったり、欺瞞を行ったりすれば、彼は必ず自尊心を失ってしまう。彼は、神が彼を見ておられて、いっさいの取り引きの様子を知っておられることや、聖天使が彼の動機をはかり、彼の言葉に耳を傾けていることを自覚せず、その行為にしたがって報いがくるということを考えないでいるかもしれない。かりに彼の悪い行ないを神と人の前にかくすことができたとしても、自分自身が知っているという事実はすでに彼の心と品性とを墮落させるのである。もっとも一つぐらいの行動をもって品性全体を決めるわけにはいかないが、一つの行動によって防備が破られ、次の誘惑がはいりやすくなり、ついには、言い抜けや仕事上の不正直が習慣となって人から信用されないようになる。

明白な矛盾を軽視する者が家庭や教会にあまりにも多くいる。また見かけと実際との違っている青年がいる。彼らは正直であり、誠実であるかのように見えるけれども、実際は白く塗った墓のようであって、外見は見よいが、心の奥底まで腐敗している。彼らの心は罪のしみで汚れている。天の法廷の記録にはそのようなものとして記載されている。ある種の心理作用が心の中で継続し、ついに心は固く、無感覚になってしまったのである。しかし、もし彼らの品性が神の重大な日に天の聖所のはかりにかけられ、その重さの足りないことを宣言されたならば、それは彼らがいま理解することのできない悲惨事である。真理——尊い汚れない真理は品性的一部分となっていないなければならない。

へ純潔な生活へ どんな道を選んでも、人生の道には危険がつきまといっている。神の働きのどの部門において働く人でも自己の永遠の利益に対して軽率、無関心になるならば、彼らは大きな損失を招くのである。サタンはそのような人々に近寄り、その足もとに網を張り、不確かな道へと彼らを導いて行く。心の中にきよい原則を守り、ダビデのように「わたしの歩みはあなたの道に堅く立ち、わたしの足はすべることがなかったのです」と祈る者だけが安全である。心の腐敗に対して間断のない戦いを続けなければならない。往々にして悪人がその道で栄えるように見えても、神を忘れている人々が一分一秒でも危険でない道に立っていられるということはあり得ない。彼らはその危険を自覚しないかもしれないが、知らないうちに習慣が鉄の鎖のように彼らのかかわりあっていた悪に彼らをしっかりと縛りつけてしまうのである。神が彼らの行為を見さげられるので彼らには決して祝福が伴うことがない。

へ罪をもてあそぶな」 私は神との関係をもたないで、この文書伝道に携わる青年たちを見た。彼らは自分の勇気をあらわすために自らを誘惑の道ににおいている。彼らは他人の愚かさをあざ笑う。彼らは自分が正しい道を知っており、いかに行動すべきかを知っているつもりでいる。だから誘惑をたやすく退けることができ、自分が墮落するなどは思いもよらぬことであると思いこんでいる。しかし彼らは神をその防壁としていない。サタンは彼らのために陰険なわなをかけており、彼らは自ら愚かなえじきとなるのである。

私たちの大敵は、ししがそのえじきをあさるように、たえず魂を滅ぼす機会をうかがうまわし者をもっている。青年よ彼らを避けなさい。彼らはあなたの友人のように見えるけれども、彼らは必ずひそかに悪い行ないや習慣へと導いて行くのである。彼らは口先であなたに甘言を語り、あなたを助け、指導すると言ってくるが、その足は地獄に向かっている。あなたが彼らの勧めに耳を傾けるならば、それはあなたの生涯における転機となるかも知れない。良心から一つの防壁を取り去り、ただ一つの悪習慣にふけり、ただ一度でも神が命じられた本分を怠るようなことをしても、それは虚偽の生活の初めとなり、あなたは神の働きを愛しているといいながらも、サタンに仕えている者の部類に加わるのである。不注意な一瞬間、ただ一度のあやまちでも、ことによるとあなたの生涯の全行程を悪の方向に転じるかもしれない。そしてあなたは「不法を働く者どもよ、行ってしまえ」との宣告を聞くまでは、何があなたを墮落させたかを知らないでいるのである。

「へ悪友を避けなさい」 ある青年たちは、今まで私が言ったことは彼らの行ないを真実に描写していることをよく知っている。彼らの行ないは親友や両親でさえ知らないであろうが、主はすべてを

ご存じである。私には、彼らのある者がいつかその偽善とあざむきの行為をやめるという望みは持っていない。しかしあやまちを犯したある者は、自分を回復しようと努力している。願わくは主イエスが、彼らが正しいことをしようとする決心を弱めようとする者のいっさいの虚偽と甘言、また真理に対する彼らの信仰をぐらつかせようとして、疑惑と無宗教的思想をほのめかす者の言葉に対して断固として動かないように彼らをお助けくださるように。青年の皆さん、あなたがたを神の神聖で純潔な働きに適さない者にしようとする人々の間でひとときでも過ごさないようにしなさい。あなたがたは両親の前でしないようなこと、またキリストと聖天使の前では恥じるようなことを、見知らぬ人の前でしないようになさい。

ある方々は、これらの注意は安息日を守る者には不必要であると思うかもしれないが、これらのことが自分にあてはまる者は私が何を言っているかをよく知っていると思う。私は、青年たちに、気をつけなさいと申し上げたい。それはあなたがたが行なうすべてのことからは、神および天使の目に触れないではないからである。あなたがたが悪いことをして、他人に影響を及ぼさないというようなことはあり得ない。あなたがたの行為はあなたがたの品性の実際がいかなるものであるかを示すとともに、それはまた他人に対する力強い影響力をもっている。あなたがたは神のものである、価値をもって贖われたものであり、同時にまた神がお与えになったすべての才能の言い開きをしなればならないことを忘れてはならない。その手が罪に汚れ、その心が神と正しい関係にない者はだれも文書伝道の働きに携わってはならない。そのような人は必ず真理の働きの名を汚すからである。伝道地で働いている人々は神の導きを受ける必要がある。彼らは、働きを正しく始めること

に留意し、静かにしかも確実に正しい道を歩まなければならない。サタンは彼らを倒そうと決意し根気強く働いているから、彼らはしっかりと決心がゆるがないように努めなければならない。

——教会へのあかし・第五卷・三九六―三九九ページ（一八八五年）

たえず神により頼む——その働きにおいて、試練や誘惑に出会う者は神に徹底してより頼むことを学び、これらの経験を通して益をうけなければならない。彼らはあらゆるときに、自分の無力を感じ、神により頼まなければならない。

不平を心に抱いたり、口に出したりしてはならない。自分が成功したときもその成功は神のみ使いが心のうちに働かれた結果であるから、その栄えを自分のものにしてはいけない。文書伝道者は、勇氣にみちているときも落胆しているときも同様にいつも天来の使者とともにいることを覚えていなければならない。主は常に恵み深くあられることを認め、元氣よく主を賛美しなければならない。

キリストはご自分の栄光をお捨てになり、罪びとに代わって苦しむためにこの世にこられた。私たちは自分の働き場で困難に直面するとき、私たちの信仰の導き手でありその完成者なる主をなぐめよう。そうすれば、私たちは失敗すること、落胆することもない。私たちは主のよい兵卒として困難を忍ぶことができるのである。キリストがすべての真の信者について言われた「わたしたちは神の同労者である。あなたがたは神の畑であり、神の建物である」とのみ言葉をおぼえていよう（コリント第一・三ノ九）。——教会へのあかし・第六卷・三三四、三三五ページ（一九〇〇年）

世界最大の必要——世界で最も欠乏しているものは人物である。それは、売買されない人、魂の奥底から真実で、正直な人、罪を罪とよぶのに恐れない人、磁石の針が南北を指示して変わらないように、良心が義務に忠実な人、天が落ちかかろうとも正しいことのために立つ人、——そういう人である。

——教育・六八ページ（一九〇三年）

第八章 完全に準備する

完全な準備——文書伝道の分野において、今日までなされてきたよりも、もっと効果的な働きをすることが出来る。文書伝道者はたえず進歩改善するために努力し現状に甘んじていてはならない。彼は完全な準備をしなければならない。といっても、型にはまった言葉で満足してはならない。彼は主とともに働いていただき、自分の心に印象を与えていただかなければならない。彼の心に宿るイエスの愛は、彼に人々の家庭に近づく手段を考える力を与える。

——教会へのあかし・第五卷・三九六ページ（一八八五年）
文書伝道者の組を組織し、完全な訓練と練習とによって、印刷所からくる出版物を扱わせるべきである。
——書簡・第六六号・一九〇一年

神のみ言葉の知識——すべての者の心が神のみ言葉の真理の知識で満たされていなければならない。それはいつでも必要なときに、この知識の蔵から、新しいものと古いものを人々に提供する備えをするためである。
——教会へのあかし・第四卷・四一五ページ（一八八〇年）

あなたの取り扱う書物に関する知識——文書伝道者は販売している書物を自分で十分知っていないければならない。そして重要な章に人々の注意を促す備えをしておくことが大切である。

——教会へのあかし・第六卷・三三八ページ（一九〇〇年）

知力と心の啓発——このような青年が求められている——すなわち理解のある人、神がお与えになった知的能力の真価を認め、それを最上に用い、思慮深く人々を啓発する人が必要である。これらの才能は働かせることによって増大する。もし、心の啓発を怠らなければ、品性がよく均斉のつれたものとなる。改善、啓発する手段はすべてのものの手の届くところにある。主が実を求めておいでになるとき、葉しかなく、主を失望させないようにしよう。キリストの恵みによってきよめられた確固とした意志は驚くべきことをする。

——教会へのあかし・第五巻・四〇三ページ（一八八五年）

文書伝道者は、どうしたらその働きを成功あるものにできるかを学ぶ忠実な研究者でなければならない。そのように働きながら、彼らは目と耳、また理解力を神の知恵を受けるために開き、キリストの知恵を持っていないために滅びつつある人々を、どうして助けるかを学ばなければならない。すべての働き人はその精力を集中して、自分の能力を、あらゆる奉仕のうちで最高の奉仕のために用いるべきである。それは人々をサタンのわなから取り返し神に結びつけ、イエス・キリストによって、信頼のくさを約束のじに囲まれているみ座に固く結びつけるためである。

——教会へのあかし・第六巻・三三九、三四〇ページ（一九〇〇年）

文書伝道者を訓練する者の責任——文書伝道の働きを指導する教師は、重大な責任を負っている。この働きを正しく理解する者は、個人的な責任を感じて、彼らの指導下にある文書伝道者を指導、訓練する。そして彼らは、文書伝道者がその働きに忠実であるように鼓舞する。彼らは、祈りを多くし、彼らの言行動作は容易に消すことのできない不滅の印象を与えていることを理解するのである。

う。彼らは、だれもあとで彼らの誤ちを正したり、彼らの欠陥を補ったりできないことを認める。だから重要なことは教師の話題、態度、精神などは神がお受け入れになるもの、神の指示にかなったものでなければならぬということである。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一八九〇年五月二〇日

教育し、訓練しなければならない——私たち年会の総理および責任者は、この点において果たすべき義務を負わされている。私たちの伝道事業の各部の働きに対して一様に注意を払わなければならない。世の人々に必要な現代の真理に関する書物を販売する働きをするために、文書伝道者を教育し、養成しなければならない。この働きに携わるには、深いクリスチャン的経験のある人、円満な人、また強くて充分に教育された人が必要である。主は、他の人々を教育する興味を起こさせ、さらに彼らをしてこの働きに従事させて、成功ある働きができるよう指導することのできる人々がこの文書伝道の働きに携わることを望んでおられる。ある者は、文書伝道のために青年男女を教育し得る才能、教育および経験を備えているので、活用すれば今よりもっと多くのことをすることができる。

へ経験者を無経験者とともに、この働きにおいて経験のある人々は、初心者に教える特別な義務がある。主が聖霊によつてそのしもべたちを用いて著わされた書物を販売するために、青年男女に教育と訓練を重ねなさい。神は真理を受け入れた者が、正しい信仰と、理解をもつて、主の方法にならつて働くことができるよう忠実に教育することを教師たちに望んでおられる。未経験者は、働

く方法を学ぶため経験者とともに働かせるべきである。彼らは熱心に神を求めなければならない。彼らは、もし「自分のことと教のこととに気をつけ」とのみ言葉に従うならば、文書伝道においてよい働きをすることができ（テモテ第一・四ノ一六）。真に悔い改めた証拠を示し、文書伝道に携わる者は、この働きが他の部門の伝道の働きのために最もよい準備であることを悟るであろう。真理を知ってそれを実生活に実行する者はだれも、人々に面接する方法を考えだすことができるであろう。キリスト教会の初期において、信者が散らされ、エルサレムから世界の至るところにつかわされたのは、神のみ摂理によるものであった。キリストの弟子たちは、エルサレムやその近隣の町村にとどまっていなくて、国境へと出て行った。そして失われた者を神に連れかえす働きを続けた。神は今日、この働きが至るところにおいてなされることを望んでおられる。私たちは働きをわすかな場所に限ってはならない。

——教会へのあかし・第六巻・三三九、三三〇ページ（一九〇〇年）

二人ずつ——文書伝道者は二人ずつ組になって働くといふ。未経験者は、自分を助けてくれる経験者とともにつかかわるべきである。彼らはともに語り合い、いのちのみ言葉をともに研究し、またともに祈ることができる。このようにして、若いクリスチャンも年長者とともに神の祝福を受けるのである。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・一七ページ（一九〇二年）

神のご奉仕に——文書伝道者は、この働きが神の彼らに望んでおられる働きであることをさとらなければならない。彼らは神に奉仕しているのだということを自覚しなければならない。

骨身を惜しまない努力が要求される。彼らを教えなければならぬ。働き人に働き的重要性をつねに示さなければならない。すべての者は、贖い主のご生涯に示された自己否定と犠牲の精神をもたなければならない。

ヘイザヤ書第六章　文書伝道者は、イザヤ書第六章を読み、その教訓を心に銘記すべきである。

「その時わたしは言った、『わざわいなるかな、わたしは滅びるばかりだ。わたしは汚れたくちびるの者で、汚れたくちびるの民の中に住む者であるのに、わたしの目が万軍の主なる王を見たのだから。』この時セラピムの一人がひばしをもって、祭壇の上から取った燃えている炭を手携え、わたしのところに飛んできて、わたしの口に触れて言った、『見よ、これがあなたのくちびるに触れたので、あなたの悪は除かれ、あなたの罪はゆるされた。』わたしはまた主の言われる声を聞いた、『わたしはだれをつかわそうか。だれがわれわれのために行くだろうか。』その時わたしは言った、『ここにわたしがあります。わたしをおつかわして下さい。』」（イザヤ書六ノ五―八）。

この幻は今後繰り返されるであろう。神は、献身した人、その心の謙遜な人、必要なときにはどんな方面の働きにも心から喜んで奉仕する多くの人々が、この重要な働きに携わることを望まれる。

――マヌアル・フォア・キャンバサー・一八、一九ページ（一九〇二年）

たえず改善しなさい――イエスに従う者は、態度や習慣、精神と働きをたえず改善するために努力を惜しんではならない。この事は単なる表面的な成果に目を留めるのではなく、イエスに目をとめることによって改善される。心と品性と精神に一つの改変が起るのである。クリスチャンは、

柔和と謙遜をもってキリストの霊の恵みを心に受けるためにキリストの学校で教育される。彼は天使たちと交わるためにふさわしい者とされるのである。

——福音宣伝者・英文・二八三ページ（一九一五年）

神はわたしたちがあらゆる機会を利用し、神のご用の準備をし、その完成に力を集中し、任務の神聖さと重大な責任を絶えずはつきりと認識するように希望しておられ、また、期待をかけておられる。

——ミニストリー・オブ・ヒーリング・四八四ページ（一九〇五年）

第九章 習慣行儀、服装に模範的であること

高尚な働き——文書伝道の働きは、これ以外の方法では真理を伝えることのできない多くの人々に使命を伝える神の手段である。この働きはよいものであり、その目的は高尚であるからその働きぶりにもそれにふさわしい威厳がなければならぬ。文書伝道者はいろいろさまざまな気持ちの人に接触する。彼は金もうけ以外は何も興味をもたず、教育のない下品な人々にも出会う。彼は罵倒されることもある。しかし文書伝道者は、それを気にしてはならない。また顔色を変えたりしてはならない。彼はいつも困難な面ばかり見ないで、希望的なよい面をもっと見るようにしなければならない。彼はまた愛する者と死別した者や魂が傷ついて落胆している者にも会うであろう。彼はこのような人々に、親切な言葉、勇氣と希望と信仰に満ちた言葉を語る機会が与えられるのである。もし彼が望むならば、他の人々を慰める泉となることができる。しかしこれをするためには、まず彼自身が生きた真理の泉からいのちの水をくまなければならぬ。

——教会へのあかし・第五卷・四〇五ページ（一八八五年）

不注意な働きの危険——ねがわくはすべての人がこの働きにおける各自の責任を痛感し、どうしても人々の注意を引くことができるかを考えていたきたい。それは彼の真理を伝える態度や方法によって魂の運命をどちらかに決定するからである。もし彼が好ましい印象を与えるならば、彼

の感化力はその魂にいのちよりのちに至るかおりとなる。そして一人の人が真理について光を受けるならば、彼は他の人々にも光を与えることであろう。だから人の心を扱う働きを不注意にすることは実に危険なことである。

——教会へのあかし・第五巻・四〇五ページ（一八八五年）

精力と熱心の必要——現代の真理を信じると告白する者のうちにはその信仰に伴う伝道精神が欠けている者が多い。品性における純金の輪が欠けているのである。クリスチャンの生涯は彼らの考えている以上のものである。それは単に優しいとか、忍耐とか、柔和とか、親切とかいうことばかりにとどまらない。もっともこれらの徳は必要なものであるが、さらに勇気、活力、精力および堅固な精神が必要である。文書伝道に携わる者は、弱く無気力で、意気消沈してたやすく失望落胆する。彼らは奮発心が欠けている。彼らは、人間に何かする力を与える積極的な特質、すなわち熱心を燃え立たす意気と精力を持っていない。文書伝道者は実に名誉ある働きに携わっている。だから文書伝道に携わることを恥であるかのように行動してはならない。もし文書伝道において、自分の努力が成功することを望むならば、彼は勇気と希望とに満たされていなければならない。

へ積極的な美德を養いなさい。消極的な美德と同じように、積極的な美德を養わなければならない。クリスチャンは、怒りをとどめる柔和な答えができるようにつねに備えていなければならない。彼が、彼はまた、悪を退けるために英雄のような勇気を持つていなければならない。すべての事を忍ぶ愛を持つとともに、彼はその感化を良いことのために積極的な力とする強い人格の持ち主でなければならない。それだけでなく、信仰が彼の人格にとけ込んでいなければならない。彼の主義は固く、他人から疑われることのない高尚な精神の人でなければならない。文書伝道者は高慢であって

はならない。彼が人々と接するときには高慢な態度で自分のことを語り、目立つようなことをしてはならない。そのようなことによって彼は知識階級、分別のある人々を失うからである。彼は欲深い習慣や、その態度に尊大なところがあつてはならない。

へ気転をきかせなさい」世には書店で販売されている書物一万冊のうち、一冊さえも読む時間がないと決めている人が非常に多い。そして文書伝道者がその用向きを話すと心の戸を固く閉ざしてしまう場合が多い。だから、彼らは充分注意して気転をきかし、謙遜な祈りの精神で働く必要がある。彼は神のみ言葉によく精通していて、尊い真理を説明するときに思うままにみ言葉を用い、彼が携えているきよい読み物がどんなに尊いものであるかを示さなければならぬ。

——教会へのあかし・第五巻・四〇四、四〇五ページ（一八八五年）

正直と潔白——神の働きのことをよく知っている働き人は最高の給料を要求しない。彼は、ある青年たちが訴えるようにしやれた服装をして、高級ホテルに泊まらなければ売ることができないなどとは言わない。文書伝道に必要なものはりっぱな服装とか、しやれ男や道化師のようなものではなくて、顔に反映する品性の正直さときよさなのである。親切や優しい心はその顔に表われる。だから熟練した目なら彼には何のあざむきや高慢な態度がないということを知ることができるのである。

プレミアム（賞）をつけて売らなければ成功しない多くの者が文書伝道者として働きに携わった。彼らには働き人としての真の価値はない。彼らは実際の宗教の経験をもっていない。彼らは信者

になる前と同じ欠点や趣味を持ち、わがままである。彼らについて言えることは、神が彼らの思いの中におられず、神は彼らの心の中に宿っておられないということである。彼らの品性と行為の中には、自分の思いのまま、自分の欲するところに従って歩んでいるということを証明する卑劣で肉欲的なものがある。彼らは克己しようとせず、かえって愉快的生活をしようと決心している。天の宝は彼らにとって興味がなく、彼らの趣味はみな下品で高尚なものがない。彼らには悪を遠ざけて、善を選ぼうとする心がないために、友人も親身の者もこのような人々を向上させることができない。

——教会へのあかし・第五巻・四〇二ページ（一八八五年）

貞節と柔和と節制——文書伝道者には教養と洗練された態度、すなわち世の不自然で表面的な態度ではなく、親切でキリストの模範にならおうとする願いから生まれた結果である好ましい態度が必要である。思慮深く注意深い習慣——慎重で勤勉な習慣——を養い、自分になりうる最上の者となって神に栄えを帰すことを努めなければならない。イエスは彼らが神と同胞に対して正しい関係をもつために無限の犠牲をお払いになった。そして人間の努力に力をそえる神の助けが彼らをすぐれた高い標準に到達させるのである。文書伝道者は、ヨセフのように貞節で、モーセのように柔和で、ダニエルのように節制家でなければならない。そうなれば、彼らはどこに行っても力があるのである。

——教会へのあかし・第五巻・三九六ページ（一八八五年）

気持ちのよい服装と作法——現在私たちは真理を宣伝する大きな設備をもっている。しかし、教会の信徒たちは彼らに与えられている特権にふさわしくない。どの教会においても、彼らはその才

能を救霊のために用いる必要を認めず、また感じていない。彼らは、私たちの月刊雑誌——衛生雑誌をも含む——の購読者を募集し、書物や小冊子を紹介することが彼らの義務であることを認めていない。個人や家庭に接近する最も良い方法を進んで学ぼうとする者が、働きに携わっていない。彼らの服装は清潔でなければならないが、虚飾に流れてはいけない。また彼らの態度は人々にいやな気持ちを起こさせてはならない。私たちは民として真の礼儀に欠けている。これは伝道に従事するすべての者が養わなければならない点である。

——教会へのあかし・第四卷・三九一、三九二ページ（一八八〇年）

きちんとしていない服装は、私たちが信じると公言する真理に対して非難を招くものである。あなたは主イエス・キリストの代表者であることを考えなければならない。私たちの生活すべてを聖書の真理に調和させよう。……これは決して小さなことではない。なぜなら、それは他の人々に対するあなたの感化力に一時的に、あるいは永久に影響をおよぼすものであるからである。あなたの態度や服装が人々から尊敬を得られないなら、主があなたの救霊の働きを完全に成功させてくださると期待することはできない。真理は清潔な服装のよい印象からだけでも拡大されるのである。

——書簡・第三三六号・一九〇八年

粗野な態度の人はこの働きに適していない。応対ぶりがよく、機知に富み、先見の明があり、識別力があり、魂の真価を知っている男女こそはこの働きに成功する人々である。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・一五ページ（一九〇二年）

キリスト者の礼儀と助けとなる奉仕——文書伝道者は彼のできる範囲でよい働きをして、真理の

光を輝かすために最善を尽くすべきである。彼はその義務を果たすときにあたって、人々を助ける奉仕の機会を捕えて、周囲にクリスチャンの礼儀のかおりをあらわさなければならぬ。彼はまた、明瞭で、印象的な話ができるように自分を訓練しなければならない。彼は大教師イエスの学校において日ごとに学ばなければならない。キリストは、彼に信頼し、力を求めてみもとにくる者をお助けになる。

——レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇三年六月一六日

行ないに注意なさい——教役者ならびに真理を信じると公言するすべての者は、ある人々にしばしば見受けられることばや行ないの低俗さに対して、断固たる態度をとらなければならない。このようなことは多くの場合、私たちの信じる神聖な真理とどうしても一致するものでない。多くの者は真に悔い改めていないのに文書伝道者となることができると思っている。彼らは全然キリストの改変する恵みを体験してはいない。彼らの心はきよくない。彼らは毎日、不注意な罪の生活を送っている。彼らの行ないはきよい天使たちがその顔をおおいかくすほどのものである。私たちは高い標準に達しなければならない。さもなければ、私たちは、神の働きに非難を招き、罪びとにはつまずきの石となるであろう。

——書簡・第二六号d・一八八七年

衛生改革の模範——皆さんが未信者と交際する場合に正しい原則から離れないようになさい。もし皆さんが彼らに招かれて彼らの食卓にすわるとき、ただ頭脳の働きを害さない食物だけを適当に食して、不節制をさけなさい。皆さんは、知力や体力を弱めて霊的なことからの理解力を失うようになってはならない。神がみ言葉の尊い真理で、あなたの頭脳に深い印象をお与えになるような状態に自分を置きなさい。

このようにして皆さんは他の人々に感化をおよぼすことができるのである。多くの人は他の人の生活を見てその悪習慣を責めることによって改善しようとする。彼らは誤っていると思う人のもとに行って、その欠陥を指摘はするが、その人々を正しい原則に導くために熱心に手ぎわよく努力しようとはしない。このような方法ではほとんどその望む目的を達することはできない。私たちは、他人を矯正（きょうせい）しようとして、しばしば彼らに反抗心を起こさせたり、彼らのためを思つて、他の人の行動を見張ったりしがちだがそれはいけない。模範を示して教えなさい。正しい主義に従っている実例として皆さんの自制心と食欲に対する勝利を示しなさい。皆さんの生活によって、真理が人間の品性を高尚にするのにどんなに力があるかをあかししなさい。

——教会へのあかし・第六巻・三三二六、三三七ページ（一九〇〇年）

聖霊の徳——神は大いなる愛をもって、わたしたちのうちに聖霊による尊い徳を育成しようとしておられる。神が私たちに障害や迫害や困難のくるのをお許しになるのは、のろいとしてでなく、私たちの生涯の最高の祝福としてである。うち勝ったあらゆる試み、勇敢に耐えたすべての試練は、私たちに新しい経験を与え、私たちの品性建設の働きを押し進める。神のみ力によって試みに抵抗した人は、世界と全天にキリストの恵みの力をあらわすのである。

——祝福の山・一四七ページ（一八九六年）

個人的「雰囲気」——すべての魂は自分の雰囲気を持っている。しかしその雰囲気は、信仰、勇氣、希望などのいのちを与える力で満たされ、愛のかおりある快いものにされるだろう。もしかすると不平、不満と利己主義の陰うつさで重苦しく、冷淡なもの、恐ろしい罪の汚れに染まっている

かもしれない。私たちを包んでいる雰囲気によって、私たちが接触するすべての者はしるとしらずを問わず影響されるのである。

——自然と宗教・英文・三三九ページ（一九〇〇年）

品性は力である——品性は力である。真の生活、無我の生活、敬虔な生活による無言のあかしは反発することのできない影響力をもっている。私たちはその生活にキリストのような品性を現わすことによって救霊の働きにおいてキリストに協力するのである。私たちがキリストに協力できるのは、ただ私たちの生活にキリストのご品性を現わすことによるしかない。私たちの感化の範囲が広ければ広いほど、それだけよいことをなし得るのである。

——自然と宗教・英文・三四〇ページ（一九〇〇年）

磁針のように忠実に——主がすべての者をお助けになり、ゆだねられた才能を最大限に活用させてくださるように、この働きに携わっている者は、彼らがなさなければならぬほどに聖書を研究していない。彼らがもつと聖書を研究すれば、その実際の教訓は彼らの生活に積極的な影響を与えるであろう。兄弟姉妹がた、あなたがたの働きがどんな働きであつても、主のために働くつもりで最善を尽くしなさい。現在の好機を見過ごし、神があなたがたを召しておられない働きに安逸と成功を夢みる代わりにあなたがたの最も身近な働きに携わりなさい。しかし私があなたがたにお願いしたいことは、困難に直面し、自己犠牲を払わなければならないときでも不平、不満を言わないことである。フルデンセスを思い起こしなさい。暗黒にさ迷っている人々を福音の光で照らすために彼らがどんな方法を考え出したかを考えなさい。私たちは、この世において報酬を受けようとして

働くのではなく、信仰の道を終わったときに与えられるほうびに自分の目をつねに注いで働かなければならない。今日磁針が両極をさすようにその義務に忠実な男女が必要とされている。すなわち、その行く道が容易でなく、障害物が除かれなくても働く男女が求められている。

へあなたが信仰に生きるとき、私は文書伝道者がどんなものであるかを説明した。主が彼らの心の目をひらき、この問題の長さ、深さを悟らせ、彼らが忍耐と勇気、きよい品性によってキリストのご品性をあらわす義務があることを悟らせてくださるように祈る。彼らはいいかげんの、優柔不断な性質によって主をいなおことになることを知っていなければならない。青年たちよ、あなたがたがこれらの原則を忘れないで文書伝道の場所に行くならば、あなたがたは尊敬される。そして多くの人はあなたがたが唱える真理を信じるようになる。それはあなたがたが信仰にいき、日ごの生活が家の中のすべてのものを照らすあかりのように輝くからである。あなた方の敵でさえも、彼らがあなたがたの教えに反対しながらあなたがたを尊敬するであろう。あなたがたはここまで勝利するとき、あなたがたの単純な言葉は力をもち、人を信服させるのである。

——教会へのあかし・第五卷・四〇六、四〇七ページ（一八八五年）

第一〇章 気持ちのよい声と言葉

言葉の賜物——神が人間にお与えになったすべての賜物のうちで、言葉ほど価値のあるものはない。聖霊によってきよめられるならば、それは善のために力のあるものである。人を心服させ、説得するのは言葉であり、言葉で神を讃美し、祈りをささげるのである。また言葉によって贖い主の愛の尊い豊かな思想が語り伝えられるのである。文書伝道者は言葉の賜物を正しく用いることによって、多くの人の心に真理の尊い種をまくことができる。

——教会へのあかし・第六巻・三三七ページ（一九〇〇年）

音声の訓練のため、もっと多くの注意が払われるべきである。私たちが知識をもっている、音声を正しく用いることができれば、私たちの働きは失敗である。自分たちの思想を適切に言葉で表現できなければならぬ。もしさもないと教育の効果を見ることができない。言葉の賜物を洗練しないならば、知識は私たちにとって少しも益がない。しかしそれを適当な助けとなるよい言葉で語り、人の注意をひくような方法で語る能力を身につけると、驚くべき力を発揮する。

——教会へのあかし・第六巻・三八〇ページ（一九〇〇年）

若い男子と若い女子の方々よ、神さまはあなたがたの心のうちに、神さまに奉仕しようとする願いをおいれになったであろうか。もしそうであれば、ぜひ尊い真理を他の人々に明らかに伝えるこ

とができるように、全力をあげて、あなたの声の修練をしてください。

——教会へのあかし・第六巻・三八三ページ（一九〇〇年）

明瞭に語りなさい——話すとき、すべての言葉がよく聞こえるように、すべての文が最後の言葉まではつきり聞き取れるように話そう。多くの人は、文の終わりのほうになると声の調子をさげ、思想の力が弱められるほど不明瞭に話す。語る価値のある言葉は力を入れ調子をつけ、はつきりした声で語るべきである。そうかといってあなたが博学であるというような印象を与える言葉を搜したりしてはならない。あなたの言葉は単純であればあるほど、よく理解されるのである。

——教会へのあかし・第六巻・三八三ページ（一九〇〇年）

欠くことのできない資格——自分が紹介している書物の価値について明晰（めいせき）に話せる文書伝道者は、そのことが販売に非常な助けとなることに気がつく。彼はある文章を読む機会があれば、気持ちのよい声で、言葉に力を入れて、聞く者があたかも実際のものを目のあたりに見ているかのように、光景を描写することができると。

明瞭にもれなく流暢（りゅうちよう）な音声で語る能力はどんな働きにも非常に貴重なものである。この資格は、牧師、伝道師、文書伝道者を志す者には欠くことのできないものである。このような働きに従事しようと考えている者は、彼らが真理を語るとき深い印象を与えることができるように、音声の用いかたを学ばなければならない。真理は不完全な声で伝えられて傷つけられてはならない。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・二三、二四ページ（一九〇〇年）

人々に単純に話さない——世の人々は誤謬（ごびゅう）の中でさまよっている。彼らは何が真理であるかを知りたいと求めている。いたずらに言葉を飾ることなく、神の子供らとしての単純さをもって彼らに話さない。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・三九、四〇ページ（一九〇二年）

精選された言葉——未信者の中にいるからといって、あなたの言葉に不注意にならないようになさい。彼らはあなたの人物を見ているのである。アロンのおすこ、ナダブとアビウに与えられた教えを学びなさい。彼らは「異火を主の前にささげた。これは主の命令に反することであつた」異火を火ざらに入れたのである。「主の前から火が出て彼らを焼きほろぼし、彼らは主の前に死んだ」「その時モーセはアロンにいった、『主は、こう仰せられた。すなわち「わたしは、わたしに近づく者のうちに、わたしの聖なることを示し、すべての民の前に栄光を現すであろう」』」と（レビ記一〇ノ一―三）。文書伝道者は、魂の救いのために主とともに働いているのだということと、彼は神の聖なる奉仕の中に世俗の安価なものを入れてはならないということとを覚えなければならぬ。自分の心がきよい聖なる思想に満たされ、また言葉を精選するように心がけよう。軽薄で不注意な言葉を語ってあなたの働きの成功を妨げるようなことのないように心しよう。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・二四ページ（一九〇二年）

心を引きつける言葉、物静かな礼儀ある態度——キリストのために働く者は、正直で信頼できる者、主義に対してはいわおのように堅く、それと同時に親切、礼儀がなければならない。礼儀は聖霊の徳の一つである。人間の心の交渉は、人に与えられた働きのうちで最も大きなものである。人

の心にはいる道を求める者は「あわれみ深くあり、謙虚でありなさい」との教えに従わなければならない。愛は議論では不可能なことを達成する。反対に、ちよつとした短気、一回の荒々しい答え、あることならにけるクリスチャンらしくない礼儀のなさのために友人と感化力を失う結果になる。クリスチャンの働き人は、キリストが地上であらわされたようになるよう努めるべきである。キリストは、きよさにおいて模範を示されたばかりでなく、忍耐、物静かさ、魅力のある気質においてもそうであつた。彼のご生涯は真の礼儀の実例である。彼は貧しく、しえたげられた者に常に親切なまなざしと慰めの言葉とをかけられた。彼のご臨在はその家庭にきよい雰囲気をもたらした。彼の生活はパン種のように、社会のさまざまな人々に対して働いた。イエスは、不注意な人々、粗野な礼儀を知らない人々、不正な税吏、罪深いサマリヤ人、異邦の軍人、粗野な農夫、種々雑多な群集の中をきよくお過ごしになつた。

イエスの宗教は、荒々しい頑固な性質を柔らげ、激しい態度を穏やかなものにする。また言葉を上品にし、人を引きつけるような態度にする。キリストから、どのようにして純潔と正直と高い感覚と快活な気質とを結びつけるかを学びとろう。親切な礼儀正しいクリスチャンは、キリスト教の力強い主張者となるべきである。

親切な言葉は魂にとって露または雨のようなものである。聖書はキリストについて、彼は「疲れた者を言葉をもって助けることを知らせ」そのために恵みが彼のくちびるにおかれたと言っている。そして主は私たちに「やさしい言葉を使いなさい」「聞いている者の益になるようにしなさい」と命じておられる。

あなたがたの接触するある人々が粗暴で不親切であるからといって、あなたがたも不親切であつてはならない。自分の自尊心を保持したいと思う者は、他の人の自尊心をいたわずらに傷つけないように注意しなければならない。これはどんなに愚鈍で、すべてに失敗ばかりする者に対しても、神聖な主義として守らなければならない。

——福音宣伝者・英文・一二一、一二二ページ（一九一五年）

救い主のみ声——救い主のみ声は、学者やパリサイ人の単調で気力のない話を聞きなれている者の耳には音楽のように聞こえた。彼はゆっくりと印象的に語られ、聞く者に特に注意を引きたいと思う言葉には力をお入れになった。：：力のある言葉には大きな価値がある。私たちは接する人々に祝福となるよう自分の言葉を洗練しなければならない。

——両親、教師、学生に対する勧告・二四〇ページ（一九一三年）

主のみ言葉は人々の心を引きつけた——私たちは、キリストを知らない人々にキリストのことを語らなければならない。私たちはキリストがなさったようにすべきである。彼は、会堂や道ばたにいても、岸べを離れた小舟の中でも、またはパリサイ人の宴会や税吏の食卓においても場所はどこであつても、高尚な生活に関する事についてお語りになった。自然の物、日常のできごとなどが真理の言葉と結びつけられた。聞いた者はみな彼に引きつけられた。それは彼が人々の病をいやし、悲しんでいる者を慰め、彼らの子供を抱き上げて祝福されたからであつた。彼が口をお開きになると人々の注意は彼に注がれた。彼の語られたすべてのみ言葉は、ある魂にはいのちよりのちに至るかありであつた。

私たちもそうでなければならぬ。どんな場合においても、他の人々に救い主について語る機会をとらえなければならぬ。私たちは善をなすことにおいてキリストの模範に従うならば、人々の心がキリストに対して開かれたように、私たちに対しても開かれるであろう。だしぬけではなく、神の愛から生まれた機知をもって、彼らに「万人にぬきんで」「彼はことごとく麗しい」（雅歌五ノ一〇、一六）かたについて語ることができる。これは人が言葉の才能を用いることの中で最高の働きである。言葉の才能は、私たちがキリストを罪をお許しになる救い主として、人々に示すために与えられたものである。

——自然と宗教・英文・三三八、三三九ページ（一九〇〇年）

第一章 奉仕における勤勉

精力と自発性——成功は才能よりもむしろ精力と自発性による。私たちに神のみ旨にかなう奉仕をさせるものは、すばらしい才能ではなく、むしろ、日ごとの務めを良心的になし、満足した精神を持ち、他人に尽くそうとする偽りのない真心からの関心によるものである。最も卑しい境遇の中でも真の美質を見いだすことができる。最もありふれた働きでも、愛情をこめ忠実に行なえば神の御目には美しいものである。

——預言者と王たち・二一九ページ（一九一六年）

怠け者には働き場所がない——だれも、手をこまねいて何もしないでいてもそれは自分の勝手であるなどと考えてはならない。怠惰と不活動であって人が救われることはあり得ないのである。キリストが地上でのご生涯でなさったいろいろのことを考えなさい。彼は、いかに熱心にたゆまぬ努力をお払いになったか。何物も、彼に与えられた働きから彼を離すことができなかった。私たちは彼のみ足跡に従って歩んでいるであろうか。彼は罪を犯した人類のための神の恵みの計画を成就するため、彼は死に至るまで——十字架の死に至るまで神にお従いになった。彼は罪と何のかかわりなく、罪をお知りにならなかったが、この世界に來られ、罪びとの罪を代わっておとりになった。それは、罪びとが神のみ前に義とされて立つことができるためであった。彼は誘惑と戦い、私たち

のために勝利された。純潔で汚れない神のみ子は罪の価を負い、死のむしろを受けて、人類のために救いをもたらされた。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇三年一月二〇日

真心のこもった働き——神のしもべたちは「熱心で、うむことなく、霊に燃え、常に祈りなさい」といわれている。ものうげな様子、非能率的な態度は信心深い行為ではない。私たちが神のために働いていることを自覚するとき、霊的奉仕の神聖さに関してこれまでなかったほど高尚な考えをもつようになるであらう。この自覚は私たちに、義務遂行のために全生、全霊を打ちこませるのである。きよく汚れない宗教は、実に実際的なものである。救霊の働きには熱心で真心のこもった働き以外は何も役に立たない。私たちは日ごとの務めを献身的なものとすべきである。永遠の光に照らしてその働きをながめることによって、常に自分たちの有用性を増し加えるべきである。

——書簡・第四三号・一九〇二年

規則正しく、敏速に——神はその働きに怠け者をお用いにならない。神は思慮深く、親切で、愛情のある、熱心な働き人を必要としておられる。勤勉で時間を節約する習慣をつけていない人は、規則正しく、敏速に働くようにする一定の規則を設けるべきである。

——教会へのあかし・第四卷・四一—ページ（一八八〇年）

早起し勤勉に働く——文書伝道の働きは人を高尚にする働きであり、文書伝道者が正直で、熱心に忍耐強く携わっている働きを押し進めるならば、必ず成功するはずである。彼の心はその働きに集中されていなければならない。朝早く起き、神がお与えになった才能を正しく用いて勤勉に働

かなければならない。困難には直面しなければならぬが、たゆまない堅固な精神をもってそれにあたるべき、必ず勝利する。働き人は絶えず均斉のとれた品性を築きあげて行くことができる。優れた品性は、小さい行為と努力とによって築かれるのである。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・一八ページ（一九〇二年）

義務に忠実でありなさい——文書伝道に携わっている者には、その働きをきちんとする必要を感じないおそれがある。彼らは外面的な成功に甘んじ、自分の態度に不注意になり、知的に怠け者となる危険がある。文書伝道は神聖な働きであるから、その働きにおいて忠実に義務を遂行しなければならぬ。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一八九〇年五月二〇日

正確と精励——どんな地位に立とうと、奉仕の中に心の動機をあらわし、品性を発育させていることを覚え、その働きがなんであっても、正確と精励をもって行ない、やさしい仕事を求めようとする傾向にうち勝つがよい。——ミニストリー・オブ・ヒーリング・四八五ページ（一九〇五年）

私たちが同胞の救いのために精励に働くとき、神は私たちのすべての努力を榮えさせてくださる。

——教会へのあかし・第九巻・八六ページ（一九〇九年）

文書伝道はその働きを始めるとき、他の何物にも氣をとられることなく、精魂をこめて働き、肝心なところから離れないようにしなければならない。しかし、彼は働いている間といえども、光を求めている者、聖書の慰めを要しているものを助ける機会に不注意であってはならない。文書伝道者は、神とともに歩み、その働きにおいて、ただ善だけを行なおうと天来の知恵を祈り求めるなら

ば、彼はす早く機会をとらえ、接する魂の必要を認めることができる。彼は魂をキリストに導くためにすべての機会を最上に利用する。彼はキリストの精神をもって、疲れている者に語る備えができるであろう。

——教会へのあかし・第六巻・三三九ページ（一九〇〇年）

励ましとなる経験を報告なさい——主のために働いて経験を得た者は、他の人々を励ますためその経験談を教会の機関誌に報告すべきである。文書伝道者は、伝道者として奉仕したときうけた喜びと祝福を他人に語るべきである。このような報告は大きな感化力をもっている。だからそれを教会の機関誌に掲載すべきである。それは教会においてかおり高いもの、いのちよりのちに至るかおりである。このようにして神は彼と協力する者とともに働かれるということがわかる。

——教会へのあかし・第六巻・三三六ページ（一九〇〇年）

第一章 祈りに多くの時間を

もっと深い経験を得るために祈りなさい——私は、私たち文書伝道者、神に協力するために才能をゆだねられているすべての者に対して、祈りなさい、もっと深い経験を得るために祈りなさいと申しあげたい。神がこの時代のために私たちにお与えになった尊い真理の研究によって、心に柔らげられ征服されて、働き場に出て行きなさい。救いの水を充分飲みなさい。それはあなたの心の中でいのちの泉となり流れ出て、まさに滅びようとする魂をうるおすためである。そのとき、神はあなたが正しくそれを与えることができるように知恵をお与えになる。神はあなたが神の祝福を伝える通路となさる。神はあなたが与えられた知恵や理解力を他の人々に与え、神のご性質を現わすようあなたをお助けになる。

私は、あなたがこの問題の長さ、広さ、深さを理解し、またあなたが忍耐と勇氣、確固とした潔白さによってキリストのご品性を代表する責任を感じるよう神にお祈りする。「そうすれば、人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安が、あなたがたの心と思いとを、キリスト・イエスにあって守るであろう」(ピリピ四ノ七)。

——教会へのあかし・第六巻・三二〇ページ(一九〇〇年)

謙遜に、熱心に祈りなさい——謙遜で熱心な祈りはこの文書配布のために、世の高価な装飾より

もはるかに大きなことをする。働き人は彼らの注意を真実な生きたものに向け、そのために祈り信じ、聖霊により頼むならば、聖霊の力が力強い神よりくだり彼らの上に注がれ、人々の心に正しい消えない印象を与える。だから祈ってから働き、働いたあとでもまた祈りなさい。主はあなたとともに働かれる。

——教会へのあかし・第六巻・三一九ページ（一九〇〇年）

サタンはあなたの跡をつけている。彼は悪賢い敵である。あなたが働くとき直面する悪意のある人々は、彼に動かされた者たちである。サタンに支配される人々は彼の言葉をまねる。もしそういう人々の目からおおいが取りさられるならば、彼らはサタンが自分たちを真理から離そうとして奸策を用いて熱心に働いているさまを見るであろう。彼の奸策から魂を救い出すには、祈りのない多くの言葉よりも、キリストのような謙遜な祈りがはるかに多くのことを達成する。

へ絶えず祈りなさい。働き人はその魂を祈りつつ神のみに絶えず高めて行かなければならない。彼らは一人ではない。神を信じ、聖書の諸問題に関する光を人々に伝える働きが自分にくだねられていることを自覚すれば、彼らは絶えずキリストとの交わりを楽しみようになる。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・四〇ページ（一九〇二年）

熱心に求める祈りのうちにある力——ヤコブが勝利したのは、彼が忍耐強く堅く決意していたからであった。彼の経験は熱心に求める祈りの力あることを証明している。今は力ある祈りと屈しない信仰の教訓を学ばなければならないときである。キリストの教会や個々のクリスチャンの最大の勝利は、才能や教育、富や人の好意によって得られるものではなく、神との謁見室において激しい苦しみのうちに信仰の力により、力強いみ腕をつかむとき得られるものである。

すべての罪を捨てようとしないう者、熱心に神の祝福を求めない者はそれを得ることができない。しかし、ヤコブのように神の祝福をつかみ、彼のように熱心に忍耐強く、しっかりとした者は、すべて彼が勝利したように勝利する。

——創世時代と父祖の生活・英文・二〇三ページ（一八九〇年）

すべての困難は祈りへの呼びかけ——真心と誠実の道は障害物のない道ではない。しかしわれわれは、あらゆる困難の中に祈りへの呼びかけをみとめるのである。

——各時代の希望・第三巻・一四九ページ（一八九八年）

祈りと聖書研究とは欠くことのできないもの——サタンは、祈りと聖書研究とを怠るように導けば、すべての者が彼の攻撃によって敗北することをよく知っている。だから彼は人々の心を夢中にさせ得るあらゆる手段を発明する。——各時代の大争闘・英文・五一九ページ（一八八八年）

神の全き武具をまとして、一日のうちのいくらかのときをめい想と祈りと聖書研究のためにささげる者は、天と結び合わされ、彼らの回りにいる人々に救いと改変の力をあよぼす。

——教会へのあかし・第五巻・一二一ページ（一八八二年）

人々と共に祈る——偏見にわざわざいされているため、彼らの家庭に真理がもたらされなければ、それを知ることのない人々が多くいる。文書伝道者はこのような魂を見いだし、彼のために働くこ

とができる。文書伝道者が戸ごと訪問をすれば、他の方法よりもっと多くのことを達成することができる。彼は人々と親しくなり、彼らの真の必要を理解し、彼らとともに祈り、彼らに世の罪を除く神の小羊をさし示すことができる。このようにして、この時代に対する特別の使命が彼らの心にはいるのに道が開かれるのである。

——教会へのあかし・第六卷・三一四ページ（一九〇〇年）

祈りと歌とによって——聖霊に満たされている文書伝道者の働きには、善のための実に驚くべき可能性がある。愛と単純さをもつて、家々に真理を紹介することは、キリストがその弟子たちを第一伝道旅行に遣わされたとき、お与えになった教えと一致している。賛美の歌と謙遜な真心からの祈りによって、多くの人々に接することができる。キリストは、人々の心に罪を認めさせるためにもにおられる。「わたしは、いつもあなたがたと共にいるのである」と主は約束なさった。常にこのような助け主がともにおられるという確信をい দিয়ে、私たちは信仰と希望と勇気をもつて働くことができる。

——教会へのあかし・第九卷・三四ページ（一九〇九年）

神が成功をお与えになる——私たちの出版物の製作と配布のどちらにせよ、それに成功をもたすのは、ただ神だけである。私たちが信仰をもつて、神の原則を持続すれば、神は、私たちと力を合わせ、人々の手を書物におかせ、彼らがそれによって利益を受けるようにしてくださる。私たちは、聖霊を祈り求め、信頼し、信じなければならぬ。心くだけた熱烈な祈りは、世界のすべての高価な装飾品よりも、私たちの書籍の配布に、より大きな力をそえるのである。

——教会へのあかし・第七卷・一五八、一五九ページ（一九〇二年）

第三部 文書伝道者の活動

第一三章 販売の要点

私たちの教会の書物の紹介——他の出版者はあまり重要でない書物を市場に紹介するにも整った組織をもっている。「この世の子らはその時代に対しては、光の子らよりも利口である。」真理の無言の使命者が家庭や個人に紹介される絶好の機会は毎日のように生じる。しかし、怠惰で不注意な人々はこうした機会を捕えようとはしない。生きた説教者の数は少ない。百人いるべきところに一人しかいない。多くの者は、同胞の魂を救う働きにその才能を用いないで大きな誤りをしている。私たちの都市、村々に光をもたらず働きに多くの人が携わらなければならない。一般の人々の間に大きな興味が起こらなければならない。神は、光を至るところに輝かせとおおせになる。神は、人が光の通路となり、暗黒の中にいる者に光をもたらずようにご計画になった。

——教会へのあかし・第四巻・三八九ページ（一八八〇年）

世の人々がまさに起ころうとしていることから関して知らされるよう、私たちの書物を販売する文書伝道の働きが組織されなければならない。

——レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇三年六月二日

配布が需要を増す——私たちの出版所は目に見えて繁栄していかねばならない。教会信徒がこの出版物の販売に徹底した興味を示すならば、出版所を維持することができる。……私たちの出版物が配布され、かすが多くなればなるほど、聖書の真理を説明する書物に対する需要がふえる。多くの人々は、一般教会の矛盾、誤謬、背教、また教会の目的のために資金を集めようとするいろいろな手段、方法、推進会などにあきあきしている。暗黒の中で光を求めている者が多くいる。もし、真理を聖書の明瞭な言葉で説明する私たちの書物、雑誌、トラクトなどが広く配布されるならば、多くの人々は自分たちが求めていたものを見いだすことができるであろう。しかし、私たちの多くは、だれかが彼らのところに行くか、出版所に来て文書を手にするべきだというように行動している。多くの人々はそうした機関の存在すら知らずにいるのである。

へ本の価値を高めよ　神は、神の民が、怠惰、無精、冷淡ではなくて、活気ある人々のように行動することを求めておられる。出版物を人々のところに持って行って、金銭以上の尊い利益を受けることができることを示して、購入するように勧めなければならぬ。販売している本の価値を高めなさい。どんなに高く評価しても、高く評価しすぎることはない。

——教会へのあかし・第四巻・三九二ページ（一八八〇年）

私たちの出版物の価格——これまで私たちの出版所において、真剣に考慮しなければならないこ

とがらに当然払われるべき注意が払われていなかった。責任のある立場にいる人々は、出版物をひなしくたなざらしにすることなく、これを配布する計画を立てなければならぬはずであった。とにかく、私たちの団体の人々は時勢に遅れており、神の開かれた摂理の道に従っていない。

私たちの出版物は、出版所を運営させ事業を継続して行くのに十分な利益が得られないほど非常に安価で販売されていた。そして働きの各部に直接重荷を感じていない人々は、み事業に必要なものおよびそれを継続するために必要な資金に関して知ろうとはしない。彼らはこのような印刷所が損をしがちであることや、毎日の経費などについての知識をもっていない。彼らはすべてのことが大した注意もいらず、資本をかけなくても順調に行くかのように思っている。彼らは出版物に最低の価格をつけることを力説し、ほとんど収益を得られないまでにする。

このように価格をほとんど損失を招くところまで下げて、彼らは自分たちの希望で安い定価をつけた書物の販売を増加するためにたいした興味を示さない。彼らは値下げの要求がいられ、その目的を果たすと、その印刷物を熱心に配布して真理の種をまき、印刷所へ送金して他の出版物を発行できるようにしなければならぬのであるのに、それとは反対にその重荷を感じなくなる。

地方で働いている牧師は、教会がこの問題に関して興味を持つように導くことをせず、その義務を怠っている。一度、書物の価格を値下げすれば、再び収支を償う価格に戻すことは非常に困難である。なぜなら、それが一個人の利益のためではなく、神の機関が資金不足のために運営不能となつてはならないことなどを認識しないで、投機的だと呼ぶような偏狭な人たちがいるからである。

書物を配布しようとする熱心な興味が示されないために、広く配布されるべき書物がおなしく私たちの印刷所のたなに積まれている。

印刷機には力がある。しかしその生産物を広く配布する計画を実行する人物が欠乏しているために、それがおなしくちに埋まっていては、この印刷機は用をなさない。将来書物やパンフレットをたくさん発行するのに必要な設備にもっと資金を投じなければならないと考えられていたが、これまで投じた資金を回収する計画が少しもされていなかった。印刷機の力とその与えるすべての便益とは彼らの手中にある。そして彼らはそれを最も有効に利用することができる。あるいは半ば眠り、不活動によって当然得たはずの利益も失うことがあり得る。また賢明な計算をして、書物、小冊子の販売によって光を広めることもできる。彼らはいま誤謬の暗黒の中にある幾千の家庭に配布することができる。——教会へのあかし・第四巻・三八八、三八九ページ（一八八〇年）

プレミアム（賞）に頼ってはいけない——真に謙遜で福音に現わされている真理によってその心が広くされている者は、力強い感化力をもっている。彼らは人の心と頭に深い印象を与え、多くの人々から——彼らの信仰に共鳴していない人からさえも——尊敬される。彼らは聖書の真理と教会出版の価値ある雑誌によって成功する。それは主が彼らの前に道を開かれるからである。しかしおまけやプレミアムによって私たちの雑誌を人々に勧めることは永久的な感化力を持たないからよいことではない。働き人は聖書の真理に信頼し、彼の心にキリストと人々を愛する愛をもって出て行くならば、賞を与えたり安い価格によるよりも、さらに長く継続する購読者を得ることに成功す

る。雑誌を紹介するのにこのような勧誘手段に重きをおくならば、雑誌そのものに真の価値がないかのような印象を与える。雑誌に重きをおき、賞のための金は無料文書配布のために保管しておくならば、もっとよい結果を得ることができ。プレミアムを提供すれば、これがなければ雑誌を購入しない人も、そのために購読することがあるが、ある人はそのためにかえって私たちをいいかげんな団体と思って購読しない。もし文書伝道者がプレミアムに頼らず雑誌の価値を説き、神に成功を祈り求めるならば、もっと効果のある結果を見るにちがいない。

——教会へのあかし・第五巻・四〇一ページ（一八八五年）

「各時代の大争闘」「創世時代と父祖の生活」「各時代の希望」「ダニエル、黙示録講解」その他同じ性質の書物に盛られているものの価値を認め、人々に真理に対する興味をもたせるために、自分のなすべき働きを認めている者をこれらの書物を販売する文書伝道者として募集しなければならぬ。このような文書伝道者には、人目を引くと思われるさし絵などよりもはるかにまさる特別な助けが与えられる。聖霊の働きによって生まれ変わった文書伝道者には天使たちが同伴する。そして天使たちは彼らに先立って人々の家に行き、彼らのために道を備える。

——原稿・第一三一号・一八九九年

礼儀と親切とによって門戸を開きなさい——最も簡単でしかも最も効果的な働きの方法の一つは文書伝道である。働き人は、礼儀正しい行ないと親切によって多くの家庭の戸を開くことができる。彼らは知らぬ人々から歓待されるとき、思いやり深さと手伝いなどをして有用さを示さなければならぬ。家庭の苦勞をせおっている人々に世話をやかし、その人々の重荷となってはならない。そ

の家に滞在している間に病人などある場合はできるだけの手伝いをしなさい。文書伝道者はときどき、彼の勧誘や聖書研究などに耳を傾ける暇がないという人に出会う。しかし、文書伝道者はそのような人の仕事を手伝うことによって、しばしば彼らの関心を捕えることができる。

——原稿・第二六号・一九〇五年

手伝いをして信頼を得なさい——人の家庭に滞在しているとき、その家の仕事を手伝いなさい。
：：疲れた主人の仕事を助けなさい。子供たちに興味を示しなさい。思いやりある人でありなさい。謙遜に働きなさい。そのとき、主はあなたとともに働かれる。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇二年十一月一日

あなたの訪問する所において病人や苦しんでいる人々に出会う。そのようなとき、少し時間がかかってその人々を助けることができれば助けなさい。病気を治療する簡単な方法があればそれは実物教訓になる。機会があれば、病人のために祈りなさい。神はその病人をいやしてくださるかもしれない。そしてその事が真理のために一つのあかしとなるのである。訪問する家庭の人々に健康を保つためにはどんなことをしなければならぬかを話しなさい。衛生改革に関する小冊子を持つていって、人々に与えなさい。このようにして真理の種をまくことができる。

——原稿・第一八号A・一九〇一年

簡単な治療法——文書伝道者は病気の治療に関して教えることができないといけない。このようにして、彼らは苦しむ人の魂と肉体とに奉仕して医事伝道者として働くことができるのである。

この種の働きは今日、世界の至る所において前進していなければならない。このようにして群衆は神のしもべの教えと祈りによって祝福されるのである。

——教会へのあかし・第六巻・三二四ページ

衛生的な生活の価値を示しなさい——文書伝道者は、医事伝道の働きのために熱心な努力をなすべきであることを決して忘れてはならない。衛生改革に関する出版物は今日非常に必要である。節制が人々を支配しようとしている。自己放縱は激増している。文書伝道者はその働きで、訪問する人々に衛生的生活の価値を示すために多くのことができる。旅館などに宿泊することなく、できれば個人の家庭に宿るようにすべきである。そして家庭の食卓にすわるとき、自分が売っている書物の教えを実行しなさい。そして機会があれば衛生的生活の価値について語りなさい。文書伝道者は、その言行において礼儀正しければ、彼らの言葉は良い印象を与えることができる。

——原稿・第一一三号・一九〇一年

健康に関する印刷物に注意をひくこと——病氣と病氣の予防に関する貴重な教訓を記した本が販売されていることを人々に知らせなさい。このことをよく研究するならば、医療費をずっと減少させることができることをも知らせなさい。ちよつと医者と相談したりするぐらいでは、得られない勧告がこうした本の中に書いてあることを知らせなさい。

「平和の福音の備えを足にはき」そのとき、あなたは戸ごとを訪問して人々に真理を伝える備え

ができるのである。この種の働きをするのに時々非常な困難が伴う。しかし、信仰によって前進するならば、主はあなたの前に行かれて、あなたが行く道を彼の光で照らしてくださる。そしてあなたが文書を売るか、与えるかで近所の家庭にはいるとき、また謙遜に彼らに真理を教えるとき、天来の光があなたに伴う。一番簡単な歌を習いなさい。これはあなたの戸別訪問の働きを助け、人々の心は聖霊の感化によって動かされる。：：私たちは神のみ使いたちとの交わりを楽しむことができるのである。彼らの姿を見ることができないかもしれないが、彼らが私たちとともにいることを信仰によって知ることができるのである。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇二年十一月一日

真の目的——文書伝道者の多くの者は正しい原則から離れている。世俗的な利益を得ようとする欲求で、彼らの心は働きの真の目的と精神から離れてしまった。だれも見せびらかしや誇示で人々に正しい印象を与えようと思つてはならない。このようなことで最も良い、恒久的な結果を得ることはできない。私たちの働きは、人々の心をこの時代に与えられた真理に向けさせることである。これらの書物に盛られている真理の精神が私たち自身の心にしみこんでいるとき、また私たちが謙遜に人々の注意をこれらの真理に向けさせるときだけ、私たちの努力に報いてほんとうの成功が伴うのである。それはそういうときにだけ、罪について、義について、審判について誤まっていたことを認めさせる聖霊が人々の心を感動させるため臨在されるからである。

——教会へのあかし・第六巻・三一八、三一九ページ（一九〇〇年）

第一四章 文書伝道者と経済

書籍代の支払いを早く――キリストに従っていると主張する者が、福音の原則に従わないために、み事業は停止状態にある。老若にかかわりなく、ある文書伝道者に見られるようなしまりのない働きぶり、彼らが重要な教訓を学ぶ必要があることを示している。私は多くの仕事がいいかげんに行なわれるのを示された。ある者は悪い習慣をもっていた。そしてこの欠陥をそのままで神の働きに携わった。文書伝道者が書籍部に対する負債を払わないために、書籍部は運営が困難におちいった。文書伝道者は出版所（書籍部）から書籍の代金を早く支払うことを請求されると、ひどい取り扱いをされたと思う。しかし、敏速な支払いを要求することは、事業を継続する唯一の道である。へ絶対正直へ 文書伝道者は借り越ししないで充分生活できるように計画しなければならない。この誘惑の戸は堅く閉じなければならない。文書伝道者がどれほど正直であっても、働いている間に彼にとって、はげしい誘惑となる事情が起こるものである。

怠惰、無精はクリスチャンの木になる実ではない。だれも神の物を取り扱うのにごまかしや不正直なことを行なうと、神のみに罪がないとされることはない。こんなことをする者はすべてキリ

ストを拒否しているのである。彼は神の律法を守り、教えると言っているが、その原則を守っていない。

へ不注意な金づかいをしてはならない。神の物は忠実に取り扱われなければならない。主は人間に生命と健康と理性の力をゆだねられた。主はまた人間に肉体的、知的能力を与えられたがそれは用いるためであつた。だから、これらの賜物を忠実に勤勉に名分の栄えのために用いるべきではないだろうか。兄弟がたは、これらすべて与えられた才能の精算をしなければならないことを考えたであろうか。彼らは主の物を賢明に取り引きしたであろうか、それとも不注意に主の物を用い、天の記録の書に不注意なしもべと記録されたであろうか。多くの人々は主の金銭を自分勝手な娯楽のために費やしている。彼らは自己犠牲の経験をしていない。かえって、虚栄のために金銭を浪費し、十字架を負ってイエスに従っていない。神のお与えになった尊い機会に恵まれながら多くの者は彼らの人生をおだにし、今、苦しみと欠乏とに直面している。

神は働きの各部門に決定的な改善が行なわれることを望んでおられる。神の働きと関連している取り引きは精密、正確さがその特長でなければならない。必要な改革をもたらすためしつかりした決定的な努力がされていない。

——教会へのあかし・第六卷・三三七、三三八ページ（一九〇〇年）

借金をしないように——すべての者は節約しなければならない。どの働き人も借金をしないよう

に仕事をしなければならぬ。もうける前に会計から借りる習慣は一つのわなである。これでは財源は窮屈になり、働き人の伝道活動をささえることができなくなる。だれでも自分からすすんで借金をするならば、サタンが魂を捕えようとして張りめぐらしたあみにかかるのである。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・六五ページ（一九〇二年）

援助を期待する文書伝道者——ある文書伝道者は、経済的困難に直面したとき、会計から金を借りることができると期待している。また、すぐ困っては援助を要求する。会計部で金銭の監理者として立てられている人は、このような支出によって資金がなくなってしまうように厳格に見張りをしなければならぬ。文書伝道をして、書籍部に払うべき金銭を全部払うことができれば、その人は直ちに働きをやめなければならない。彼らは書籍部にその金を送金できなければ、それを盗むことにならないよう、文書伝道をやめるべきである。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・六五ページ（一九〇二年）

真実、正直、忠実——文書伝道の働きは、いいかげんなやり方で行なわれてはならない。金銭を扱う働きに携わる者はたとえ、一円の収支といえども厳密に記帳しなければならない。このようにして身につけた正確な習慣は、彼らをより大きい働きに適した者にする。

文書伝道者が書物の注文を継続して、その働きの報告とともに売上げた金額の収支計算書を送らない場合には、働きの責任をもっている者は親切な優しい態度で、真の状態をたしかめるように努

力しなければならぬ。文書伝道者が借金を重ねて動けなくなるまで書物を供給することは、文書伝道者と彼を雇用している者に対して、不当なことをしていることになる。このようなだらしない不注意な働き方は失望と落胆のもとである。

文書伝道の働きで成功できないと思う者は、関係者のところに行つて、この分野の働きを続けることができないことを話すべきである。

すべての文書伝道者は、眞実で正直、また忠実でなければならない。私たちすべての働き人が磁針がその極をさすように、主義に対して忠実であるように訓練されたならば、どれだけの魂が誘惑から救われ、どれだけ悲しみをさけることができたであろうか。

——原稿・第二〇号・一九〇四年

不注意な経済的習慣の結果——ある文書伝道者はいいかげんな不注意な働き方をするので、神の働きを進めて行くために必要な資金が絶えず減少する。彼らは書物を販売し、この運動のために働いているかのような印象を与えた。しかし働きを進展させるために必要な資金（本代）を持ってこないばかりでなく、会計から相当な金額を引き出した。彼らの手にはいった金銭——彼らのものではないもの——を自分の費用、家族の生活費、または親族のために用いた。

文書伝道者は、神に属しているものを私用にあてることによって自分を困難におとし入れ、自分の魂を神から離れさせ、不安定な気持ちになり、ともに働いている者の信頼を失わせてしまう。そ

れと同時に彼らは同労者に対して、不当な行為をすることになる。最善を尽くして働いている人も疑いの目で見られるようになる、このようにして信頼できない人々の行為のために、彼らも巻きぞえをくうことになるのである。

神の働きが困難にまきこまれ、混乱させられる結果、重い重荷が重要な責任を負うように任命されている人々にかかってくる。このようなだらしのない働きを継続することが許されるならば、資金がなくなるばかりでなく、信徒からの献金も止まってしまふであろう。また資金の管理をゆだねられている本部の人々に対する信頼も失われ、多くの信徒は献金や寄付をやめてしまふ。

このような不注意な働き人の行為は指導的立場にある人々に重荷を負わせ、彼らの心を苦しめる。彼らはいかにして神の働きをあらゆる盗みから守り、その上、真の正直について誤った考えをもっている文書伝道者の魂を救うことができるかと当惑する。

何かの差し迫った必要のために借金して、それを返済する計画を立てないことが普通のようになっているとはいえ、いけないことである。主は真理を信ずるすべての者がこの自己欺瞞の習慣を悔い改めるように望んでおられる。彼らは不正直な行為をするよりも、むしろ欠乏で苦しむことを選ぶべきである。∴真理を知ってそのきよめの力に相当した変化が彼らの品性に起こらなければ、彼らは死より死に至るかおりとなる。そして彼らは真理を誤って伝え、真理を非難させ、真理であられるキリストを侮辱することになるのである。

考慮しなければならぬ問題は、どんな方法で働きを進めたらよいか、どうしたら文書伝道者が

不注意で利己的に働いて、神の働きに迷惑をかけ出版所に重荷を負わせるようなことがないようにできるかである。この問題は重大である。

——原稿・第一六八号・一八九八年

副業——ある者は文書販売の不手ぎわにより自分と家族の者を困難に陥れた。彼らは負債を作り、未信者から金を借りた。

ある者は教会の出版物を配布し、真理を伝える働きと自分の計画や売買とを混同した。これは悲しむべき組み合わせである。彼らは利益を得ようとして働き、安いものを買ってそれをその価値以上に売る。他人のことを考えずに自分の利益のみを考える者、それだから世の人々は彼らを詐欺師であると見なす。彼らは自分を愛すると同様にその隣人を愛さないもので、神の戒めを守っていない。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・六二ページ（一九〇二年）

経済的利益が第一のものではない——文書伝道者が経済的利益を得ようとする気持ちにとらわれ、人々が必要としている書物を売らないで、最も割のいい書物を販売しようとするならば、どうして彼らの働きが宣教であるといえるか、どこに伝道精神、自己犠牲の精神があるのかと私は尋ねたい。賢い、神をおそれる文書伝道者の働きは福音を伝える牧師の働きと同等のものであることが示された。だから牧師と同様に、文書伝道者も利己的動機から行動してはならないと考えるべきではないだろうか。文書伝道者は、多くの収入を得られるという理由で、人々により多くの光を与える書物の配布を怠り、最も安い、取り扱いに楽な書物ばかりを販売して、伝道の実原則に不忠実であってよい

であろうか。どの程度伝道精神が現われているか。彼の文書伝道はその本来の目的を失ったのではなからうか。このような状態を是正するための発言がないのはどうした訳であろうか。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・四七、四八ページ（一九〇二年）

しかし多くの者は、私たちの信仰を表明せず、買う者に光を与えない書物や絵を売るために販売の働きに引きつけられた。彼らは伝道者として支給されるものよりも、経済的に有望であるためにこの働きをするよう心が引かれたのである。このような人は教役者としての働きに必要な特別な資格を受けてはいない。また彼らはその働きに彼らを適応させる経験を得ていない。彼らは魂に対する重荷を負うことを学ばず、また人々を真理に導くのに成功する方法についての知識を得ていない。彼らは時と機会を失っている。

このような人々は、彼らのために生命を与えられた主に対してどれだけの負債があるかを忘れて、しばしば神の霊の訴えにそむき、品性に世的な性質を受ける。彼らは自分の利得のためにその能力を用い、主のぶどう園で働くことを拒むのである。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・四三ページ（一九〇二年）

並はずれて多い報酬を提供するべきでない——文書伝道者の多くは犠牲を払っていない。彼らは、全般的に他の教団に働いている人よりも伝道精神に欠けている。彼らのために道が備えられ、最高の収入を得ることができれば喜んで働きに従事しようとする。一般の書物を販売する人々には多くの報酬、給料が提供されるために、多くの者は現代の真理を取り扱っている書物配布のために少な

い給料で働くことを拒否する。だから他の出版者が提供する報酬に相当する程度に増額された。その結果として私たちの出版物の費用がかさみ、文書伝道者の多くの者は、楽に金もうけをしてそれを惜しげもなく浪費する。——教会へのあかし・第五巻・四〇三、四〇四ページ（一八八五年）

節約と自己否定——必要でもないのに旅館のために相当な額の金が消費される。神の働きのことを常に心に留めていた使命の開拓者たちは、一回わずか二十五セントであつても彼らはめったに旅館で食事をしなかった。しかし青年男女は一般に節約するように教育されていない。それで至る所に浪費がある。ある家庭では適度に節約すれば他の一つの家庭をささえるに足る充分なものが浪費されている。教会の青年が旅行したとき、使用した費用を正確に一つ一つ記録したならば、必ず使いきを発見するであろう。初代の働き人たちのように冷えたものを食べればよいとはいわないが、彼らのほんとうの必要を満たすに必要なと思うよりもはるかに少ない費用でやっていくことを学ぶべきである。神の働きのために資金を寄付するため自己犠牲を実行しよう。私たちの働き人のすべてがフルデンススの伝道者の歴史を研究し、彼らの自己犠牲と自己否定の範に従うならば益するところがある。

——教会へのあかし・第五巻・四〇〇ページ（一八八五年）

第一五章 他の働き人との協力

出版所の働きと牧師との協力——出版所は、真理を多くの国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために力ある説教者のエネルギーと結合するために神が制定なさった強力な手段である。

——ライフ・スケッチズ・二一七ページ（一九一五年）

「無言の使命者」の働き——私は、人々が生きた説教者から使命を聞くような場所にも牧師と協力して、文書伝道者がその働きを進めなければならないことを示された。それは牧師がどんなに忠実に使命を伝えたとしても、人々はそれらのすべてを記憶することができないからである。そのため、この時代に対する真理の重要性を彼らに自覚させるばかりでなく、真理に根ざして堅く立たせ、欺瞞に対してしっかりと立たせるために印刷物が必要である。雑誌、書物は現代に対する使命を人の前に絶えず示すための神の手段である。人々に真理を知らせ、それに根ざさせるためには、牧師の働きの届かないところを出版物がする。文書伝道者によって人々の家庭に配布された無言の使命者は、どの点にも牧師の働きを強める。それは聖霊が牧師の説教を聞く者の心を感動させると同

じように、人々が書物を読むとき、彼らの心を感動させるからである。牧師の働きに伴う同じ天使の奉仕が真理を盛っている書物にも伴うのである。

——教会へのあかし・第六巻・三一五、三一六ページ（一九〇〇年）

福音牧師と協力しなさい——現代の真理を多くの国民、部族、国語、民族に伝えるにあたって、福音牧師と協力する働きは実に欠くことのできないものである。それは私たちが、この上なく重要なものと思う崇高な真理と一致した方法で行なわれるべきである。文書伝道の働きによって、現在罪と誤謬とにとらわれている多くの人々の心がひらかれる。この働きによって、人々が近く迫ってきている神の重大な日に立つように準備されるであろう。

——レビュー・アンド・ヘラルド（一八九〇年五月二〇日）

医事伝道と直接伝道の一部——み言葉を宣べ伝えることは、全世界に警告の使命を伝えるために神が設けられた一つの方法である。聖書に忠実な教師は神の群れの牧者として示されている。彼は尊敬され、彼の働きはその真価が認められ、感謝されるべきである。真の医事伝道の働きは直接伝道と密接な関係を持ち、文書伝道の働きは医事伝道と直接伝道の一部を兼ね備えている。この働きに携わっている人々に、私はいいたい、あなたは人を訪問するとき、自分が伝道者であることとまた神を愛していることを人々に語りなさいと。

——教会へのあかし・第六巻・三二三ページ（一九〇〇年）

文書伝道者と聖書研究――

私は文書伝道者の義務に関する質問の手紙を受け取った。ある人は、人々を訪問して現代の真理を伝える好機会を与えられ、ほとんど聖書研究をしなければならないようになったということである。このような機会は良心的に見過ごしにすることはできない。一方において、文書伝道者は教理的な問題に関する聖書研究をするために自分の働きがあるそかになり、これらの研究によって偏見が起り、文書伝道者が配本することも困難になったという手紙がきた。ある者はこのような問題について勧告を求めている。

へ教理的な問題を長々と論じてはいけない。以上の二つともに真理があると思う。――すなわち文書伝道者は人々を聖書のよりよき理解へと導く好機会を見いだす。しかしこのような機会もとらえ方によっては偏見が起り、働きが妨げられる。文書伝道者がその働きに携わったとき、他に目をそらすことなく、理解をもって賢く勤勉にその働きを進めなければならない。また彼は文書伝道に忠実であると同時に、光を求め聖書の慰めを必要としている人々を助ける機会を見過ごしにしてはならない。彼はその働きをするときに善を行ない、ただ善だけを行なうために天来の知恵を祈り求めるならば、彼の接する人々の必要を即座に認めることができる。彼は教理的な問題を論ずることなく、神の愛と救いの計画における神の恵みとあわれみとを説いて、魂をキリストに導くために与えられた機会を最善に用いる。彼はキリストの精神で、疲れた人々に折にかなった言葉を語る備えができていであろう。

魂の大きな必要は、神とそのつかわれたイエス・キリストを知ることである。聖書は文書伝道者が安心して人々に話せる実際的な教訓に満ちている。彼はこの方法によって実際的な宗教の知識

を与えるならば、ちょうどそのような尊い食物を必要としている人々を養っているのである。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・三五、三六ページ（一九〇二年）

聖書を学ぶ者であるように——私たちは主のためになすべき大きな働き——誤謬の暗黒の中にある人々に、神のみ言葉を開く働きをもっている。青年の皆さん、あなたがたは聖なる恵みを受けた者として行動しなさい。あなたは聖書研究家であり、あなたの心のうちにある望みについて説明を求める者に答えられるよう常に備えていなければならない。あなたの真のクリスチャン品性によってあなたが真理を持っていることを知っていて、人々がそれを聞くことが彼らの利益であるという証拠を示しなさい。この真理が魂のうちに織り込まれるならば、それは顔色に、行為に、け高く落ちついた態度でクリスチャンだけが持っている平和のうちに現われる。

——教会へのあかし・第五巻・四〇一ページ（一八八五年）

聖書研究会を開きなさい——文書伝道者は人々をその家庭に訪問するとき、聖書を読むか、真理を教えている書物から読んで聞かせる機会がしばしば与えられる。彼は真理を求めている人を発見するとき、彼らとともに研究会をもつことができる。人々はこのような聖書研究を必要としている。滅びようとしている魂に対してこのように深い興味を示す者を神はその奉仕のためにお用いになる。神は彼らによって、教えを受けようとしている人々に光をお与えになる。

——教会へのあかし・第六巻・三二四ページ（一九〇〇年）

第四部 神と結んで

第一十六章 神の霊に導かれて

聖霊の支配のもとに——文書伝道の働きは決して衰えてはならない。この働きのために活動を開始した者は、常に神の聖霊の支配のもとにある必要がある。——書簡・第八二号・一八九九年

人は自分のうちに神のみかたちを回復し、神の働きをなすことができるようになるためには、自分以外の、そして自分以上の力が必要である。だからといって、人間の力が不要だということにはならない。人性は神の力をとらえ、信仰によって、キリストが心のうちにお住みになる。こうして神との協力によって、人の力は善をなすのに効果的となる。

ガリラヤの漁師をお召しになったイエスは、いまもなお人々をご自分の奉仕に召しておられる。しかもイエスは、最初の弟子たちを通して力をあらわされたのと同じに、われわれを通してよろこんで力をあらわされる。——各時代の希望・第一巻・三八四ページ（一八九八年）

聖霊を祈り求めなさい——私たちは弟子たちがペンテコステの日に祈ったように、聖霊の降下を熱心に祈り求めなければならない。あとき弟子たちに聖霊が必要であつたとすれば、今日の私たちはなおさらである。道徳的暗黒が葬式の黒い布のように全地をおおっている。ありとあらゆる偽りの教義、背教、サタンの欺瞞が人々の心を迷わせている。だから神のみたまと力なしでは真理を

伝えるために働くことはむなしいことである。

——教会へのあかし・第五巻・一五八ページ（一八八二年）

青年たちが試練の中でも魂に対して心から重荷を感じ、同胞を救おうという燃えるような熱望をもっていることを示すとき、彼らは魂が悔い改めるのを見るであろう。彼らの働きによって、主のために収穫が刈り取られる。彼らは現代の真理の盛られている書物配布の働きをするために、真の伝道者として出て行かなければならない。家を出るとき、折にかなったことばが語れるように、もっと多くの光と聖霊のご指導を神に祈り求めなさい。親切な行為をする機会を捕えなければならぬ。このようにして彼らは主のためにご用を果たしていることを覚えなければならない。

——原稿・第七五号・一九〇〇年

神の助けは保証されている——神は私たちの前にある働きを私たちだけの力でするように求めておられない。神は私たちの力の及ばない非常の場合のために、神よりの助けを備えておられる。神はあらゆる困窮に際して助けを与え、私たちの希望と確信とを強め、私たちの心を照らし、きよめるために聖霊をお与えになる。

——教会へのあかし・第八巻・一九ページ（一九〇四年）

神の召しに従順に応じる謙遜で有能な働き人は、神からの助けを受けることは確実である。責任の重大さと神聖なことを感じることでそれ自体が品性を高めるものである。それは最高の知的活動を要求し、そしてそれらを継続的に活動させることは心と頭脳を強め、それをきよめる。そして他の人々の生活とともに、その人の生活自体に及ぼす感化ははかることのできないものである。

——教会へのあかし・第六巻・三四〇ページ（一九〇〇年）

聖霊は生活を改変する——神のみたまが心を占領されるとき、それは生活を生まれ変わらせる。罪の思いはしりぞけられ、悪い行為は放棄され、愛と謙遜と平安が怒りとねたみと争いに入れ代わる。よろこびが悲しみに入れ代わり、顔には天の光が反映する。

——各時代の希望・第一巻・二〇三ページ（一八九八年）

成功の秘けつ——ヨシユアは、神がイスラエルの敵を滅ぼすという約束を彼に与えられたが、勝利はただイスラエルの力だけにかかっているかのようにあらゆる努力を傾注した。彼は人間の力の及ぶ限りのことをした、成功の秘けつは神の力と人間の努力の結合である。最大の成果をあげる人は全能者のみ手に無条件にすぎる人である。

——創世時代と父祖の生活・英文・五〇九ページ（一八九〇年）

力を把握しなさい——文書伝道者は聖霊に支配されるために、自分を完全に捨てなければならぬ。彼らは生きた信仰をもって神により頼み、忍耐強い祈りによって神から来る力を把握すべきである。神の大きな力ある感化は、すべての真に忠実な働き人に伴うものである。

神は、牧師や伝道師が人々に真理を伝える熱心な働きを祝福されると同じに、忠実な文書伝道者を祝福される。

——教会へのあかし・第六巻・三四〇ページ（一九〇〇年）

青年も老人も神に献身して働きに従事し、聖霊の支配のもとに謙遜に働いて前進すべきである。

——教会へのあかし・第六巻・三三一ページ（一九〇〇年）

聖霊のご臨在を仰がなければならぬことを常に覚えなさい。聖霊はあなたの力ではできない働きをされるからである。

—— 教役者に対するあかし・三一〇ページ（一九二三年）

聖霊の道具となりなさい—— 私たちの教会の文書は、聖霊がご自分の道具としてお用いになれる献身した働き人が扱わなければならない。キリストは私たちの力であられる。そして私たちは真理のもついのちの香りをはなたせて、謙遜で単純な態度でそれを伝えるべきである。

—— 教会へのあかし・第六巻・三一九ページ（一九〇〇年）

聖霊は語るべき言葉をお与えになる—— 人の心は贖いの物語によって感動しないはずはない。あなたがキリストの柔和と謙遜とを学ぶとき、人々に何を語るかを知ることができる。それは聖霊があなたに語るべき言葉をお与えになるからである。心を聖霊の支配のもとに置く必要を感じる者は、永遠の生命に芽ばえる種をまく能力を与えられる。これこそは文書伝道者の働きである。

—— 教会へのあかし・第六巻・三二五ページ（一九〇〇年）

聖霊は心を感動させる—— 文書伝道者のそばに立たれ彼らとともに歩まれる主イエスは、働き人の指導者であられる。キリストが私たちとともにおられて、道をお備えくださるお方であると認めるならば、聖霊は私たちの側にあられて、ちょうど必要な場合において感動をお与えになる。

—— マヌアル・フォア・キャンバサー・四〇ページ（一九〇二年）

聖霊が成功させてくださる—— 私たちはただキリストのみ力によるときだけ、人々に光を与えることができる。文書伝道者は自分の魂を神との生きた関係に保っておかなければならない。彼らは

神が彼らのために道を開き、神のお送りになった使命を受け入れるように、人々の心を備えてくださるように祈りながら働かなければならない。真の成功をもたらすものは働き人や機関の力ではなく、人々の心に働かれる神の霊である。

——原稿・第三一号・一八九〇年

必要なとき助けるため近くおられる——神のみちびきのみ手を求めて手をさしのべているすべての者にとって、最も落胆しているときが、神の助けが一番近いときである。彼らは自分たちの道の一番暗かったところを感謝をもってふりかえるであろう。……誘惑のたびに、試みのたびに、主はそこから彼らを、もっと固い信仰、もっと豊かな経験をもってみちびき出される。

——各時代の希望・第二巻・三四三ページ（一八九八年）

「すべての力」を利用することができる——誤謬と暗黒のうちにいる人々もキリストの尊い血であがなわれたものである。彼らはキリストの苦難の実であるから私たちの働きの対象である。文書伝道者はキリストのみ国の進展のために働いていることを知らなければならぬ。彼らは、神が彼らにお与えになった働き——間もなく来る審判について世を警告する働き——に出て行くとき聖霊が彼らをお教えるになる。説得力と祈りの力、神の愛の力が伴うとき、文書伝道者の働きは実を結ばないことがなく、また実を結ばないではないのである。この働きに対していदैておられる父と子との関心を考えてごらんなさい。父がみ子を愛されるようにみ子もまた彼のもの——失われていく魂を救うためにみ子が働かれたと同じように働く者を愛される。だれも自分が無力であると考えすることはない。なぜならばキリストは「わたしは、天においても地においても、いっさいの権威を授けられた」といわれたからである。キリストはご自分の働き人にこの力を与えると約束なさった。

キリストの力は彼らの力となるはずである。彼らは自分の魂を神に結びつけなければならない。キリストはすべてのものが測り知ることのできない彼の恵みの富を受け取るように望んでおられる。それは無限であり、無尽蔵である。もし私たちが神とともに働く者であれば、それは永遠の契約によって私たちのものである。もし私たちが多くのおすこ、娘を神のみもとに導くためにキリストに協力するならば、それは私たちのものである。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇三年六月二日
神の働きにまったく献身しなさい。神はあなたの力であり、あなたの右側におられて、神の恵みの計画を遂行するために助けてくださる。

——教会へのあかし・第九巻・四一ページ（一九〇九年）
神は真心こめた奉仕を受け入れ、自らその不足を補われる。

——ミニストリー・オブ・ヒーリング・一二三ページ（一九〇五年）

測り知れない結果が可能である——何物をも残しておかず、無条件に自分を主のご奉仕のためにささげるすべての者に、測り知れない成果をもたらす力が与えられる。

——教会へのあかし・第七巻・三〇ページ（一九〇二年）

第一十七章 天使に伴われて

聖天使の奉仕——私たちは天使の働きについて今までよりもっと理解しなければならぬ。神の眞の子供たちがみな、天使の協力を得られるということを知るのはよいことである。光と力と目に見えない軍勢が、神のみ約束を信じ、それを求める柔和で謙遜なものに付き添っている。すぐれた力をもつケルビムとセラピムと天使たちは神の右に立っている。「御使たちはすべて仕える霊であって、救いを受け継ぐべき人々に奉仕するため、つかわされたものではないか」（ヘブル書一ノ一四）。

——使徒の働き・一五四ページ（一九一一年）

無数の天使——あなたがたは滅びつつある魂を救う働きによって天使たちと交わりを持つ。千々万々の天使たちは、神が豊かにお与えになった光を伝達する働きで教会信徒に協力しようと待っている。それはキリストのご再臨のために一つの民を備えるためである。

——教会へのあかし・第九巻・一二九ページ（一九〇九年）

天使は常に近くにいる——他の人々のために働いている者は、天のみ使いたちと協力して働いているのである。彼らは天使たちの絶えざる交わりと奉仕とにあずかる。光と力の天使が常に近くいて守り、慰め、いやし、教え、感動を与えるのである。この世界において人類に可能な最高の教育、

真の教養と最も高められた奉仕は彼らのものである。

——教会へのあかし・第六卷・三〇七、三〇八ページ（一九〇〇年）

天使は私たちを助けるためにあぐられた——自分の無価値を認め、救い主のいさおしに完全にやり頼む魂は、どれほど無力に見えても、これほど強力なものはほかにない。神はこのような魂が敗北することをお許しにならず、彼を助けるために天のすべての天使をつかわされる。

——教会へのあかし・第七卷・一七ページ（一九〇二年）

私たちの文書伝道者は著しい成功を収めている。彼らが成功しないわけではない。神のみ使いたちは彼らとともに働いているからである。もし真理を信じる多くの者が謙遜になるならば、天使たちの交わりに入り、よい働きをすることができる。神は、み前に心を低くし、大教師イエスの模範に従い、私たちと同じ信仰をまだ持っていない人々に光を与える言葉を語り、信仰と謙遜のうちに自分自身をきよめる者を用いられるのである。私たちは、主のしもべとして他の人々にみ言葉を開き、忍耐強く、公平に働かなければならない。

——書簡・第一〇二号・一九一〇年

天使たちは語るべきことばを与える——大切な責任が文書伝道者に負わされている。彼は聖書を説明できるように準備して働きに携わらなければならない。彼らはあちらこちらと旅行するとき、主に信頼するならば、神のみ使いが彼のそばにいて、多くの魂に光と希望と勇気とをもたらす言葉を与える。

——教会へのあかし・第六卷・三一四ページ（一九〇〇年）

天使は人の心を和らげるためにくる——神は真理に向かって心を開いている者、導きを求めている

る者に感動をお与えになる。神は働き人に対して「この人、あの人にイエスの愛を語れ」とお語りになる。イエスのきよいみ名が愛と柔和をもって語られると、神の聖天使は近寄って人の心を和らげ、服従させる。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・三七ページ（一九〇二年）

天使は教える——すべての文書伝道者には常に天使の絶え間のない奉仕が絶対に必要である。なぜなら彼らは重大な働き——彼ら自身の力では到底不可能な働きに携わっているからである。生まれ変わりの経験をもち、自分ができることをキリストがなさった方法で行ない、喜んで聖霊に導かれようとする者、また宇宙の住民が彼らを見守っているのをまのあたりに見ているかのように働く者には、聖天使たちが伴って、彼らを教える。天使たちは彼らに先だって、人々の家に行き、彼らのために道を備える。このような助けは、どんな高価な装飾によって得られるよりも力が与えられる。

へ天使たちは成功を与える」働き人がこの時代がどんな時代であるかを認めるならば、彼らは神のみにいるかのように働くに相違ない。文書伝道者も、魂に光と力とをもたらす文書を取り扱うに相違ない。彼ら自身がその文書の精神を体得して、それらを人々に紹介する働きに全心全霊を傾注するであろう。彼らの精力、勇気また成功は彼らが扱っている真理がどれだけ完全に彼ら自身の経験に織り込まれ、彼らの品性のうちにどれだけ発達しているかにかかっているのである。彼らの生活がこのように形づくられるとき、扱っている真理を代表して人々のところにおもむくことができる。彼は神のみたまに満たされ、深い豊かな経験をもつことができる。そして天使たちは彼らの働きに成功を与える。

——教会へのあかし・第六巻・三一九、三二〇ページ（一九〇〇年）

イエスと聖天使たちは、魂を救うためにその能力のおよぶ限りを尽くす賢明な、神をおそれる人の働きに成功をお与えになる。あふれるばかりの愛に心が満たされ、静かに慎重に人々を真理研究へと導き、できれば聖書研究をした方がよい。そのようにして彼らは真理の種を水のほとりにまき、彼らを暗黒のうちから神の驚くべき光へとお召しになった神に賛美をささげることができるのである。正しい動機からこの働きに携わっている者は奉仕の重要な働きをしているのである。彼らは弱々しい、優柔不断の性質を表わすことがなくなる。そしてさらに彼らの心は広くされ、態度はいつそう洗練される。彼らは自分の進歩発達に限界を置いたりせず、よい働きをするために毎日いつそうよい備えをしなければならない。

——教会へのあかし・第五卷・四〇三ページ（一八八五年）

第一八章 あらゆる困難のときの助け

数多くの方法——天の父はわたしたちが想像さえできない多くの道を備えられている。神の働きを最も高いものとする法則を受け入れる者は、いろいろな困難が消滅し、平らかな道が開けてゆくのを発見する。

——ミニストリー・オブ・ヒーリング・四六五ページ（一九〇五年）

結果は表面的な成功では計れない——私たちは与えられた義務を忠実に果たし、つねに私たちの初めであり、これを完成なさるイエスをながめて、誠実、熱心なクリスチャンであるべきである。私たちの報酬はうわべの成功ではなく、負わされた働きを果たす精神によるのである。文書伝道者、伝道師として、あなたは祈ったとおりの成功が与えられないかもしれないが、あなたの忠実な努力の結果は、自分ではとても知ることにも計ることもしできないほどだということを覚えなさい。

——原稿・第二〇号・一九〇五年

落胆する必要はない——神を常に信頼し絶えず自己否定をしているとき、働き人は落胆したり、憂えたりする必要はない。彼らは、主が求めておられる魂、またサタンが罪の奴れいとしてつなぎ、神の律法を無視させようと求めている魂が至る所にいることを思い起こす。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・二二、二三ページ（一九〇二年）

勝利が与えられる——文書伝道者は働いているときに困難に直面するようになって、失望落胆することは無い。信仰をもって働きなさい。勝利が必ず与えられる。「わたしたちの戦いは、血肉に対するものではなく、もろもろの支配と、権威と、やみの世の主権者、また天上にいる悪の霊に対する戦いである」(エペソ六ノ一二)。誤謬をあらわす書物が人々に示されるとすぐに、サタンがその人のそばで、その書物を受け入れてはならない理由を力説する。しかしそれと同時に、神のみ使いも人々の心を光に同意させるために働いているのである。奉仕の天使たちは、力をもってサタンの力に対抗する。そして聖霊の働きによって真理が心に受け入れられるとき、それには品性を改変する力がある。

——原稿・第三一号・一八九〇年

信仰をもって天を見上げなさい——キリストのみ言葉をあなたの確かなよりどころとして受け入れなさい。キリストは、みもとにあなたをお招きになったのではないか。絶望的、落胆的なことを決して語ってはならない。もしそのようなことをすれば、あなたは多くのものを失うであろう。ただ外見を見たり、困難や圧力がのぞむときつぶやいたりするならば、自分の信仰の弱い証拠を示すだけである。あなたの信仰はあたかも無敵のものであるかのように語り、また行動しなさい。主は豊富な資源をお持ちになり、この世界の所有者であられる。信仰をもって天を見上げなさい。光と力とを持っておられる主をながめなさい。

——自然と宗教・英文・一四六、一四七ページ(一九〇〇年)

神のみ約束を信じなさい——神のために働く者は落胆することがある。しかし、「見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである」とのみ約束は彼らのものである(マタイ二八ノ二〇)。神は、「私はあなたのみことばを信じます。また失敗や落胆をしたりしません」と

いう者に最もすばらしい経験を与えてくださる。

——教会へのあかし・第六巻・三三五、三三六ページ（一九〇〇年）

救い主は助けをお送りになる——尊い救い主は、私たちが助けを必要とするちょうどそのとき、それをお送りになる。天国への道はキリストのみ足跡によって聖別されている。私たちの足を傷つけるすべてのいばらは、キリストのみ足を痛めたのである。私たちに要求されているすべての十字架を彼はすでに負ってくださった。主は魂を平和のために備えようとして、いろいろな闘争をお許しになる。

——各時代の斗争闘・英文・六三三ページ（一八八八年）

彼は苦しんでいる者を力づけられる——ため息が出るたびに、苦痛を感じるたびに、魂が悲しみに刺されるたびに、その心のうずきは天父の心に伝わるのである。∴神は、しいたげられている者の叫びを聞くために、み座から身をかがめておられる。真心からの祈りのひとつひとつに対して、「わたしはここにいます」と、神はお答えになる。神は苦しんでいる人々やしいたげられている人々を起こしてくださる。われわれのすべての苦しみ、神が苦しんでくださる。誘惑されるたびに、試みられるたびに、神のみ前にある天使が、救い出すために近くにいますのである。

——各時代の希望・第二巻・九〇、九一ページ・（一八九八年）

ためらいと疑惑の危険——預言者（ヨナ）がこの命令を遂行するのに困難を感じ、見たところ不可能に思ったとき、彼はこの命令が果たして最善のものかどうかと疑うように誘惑を受けた。彼が疑い、ちゅうちよしているうちに、サタンは彼を落胆させ、圧倒してしまった。∴ヨナは神の命令によって重い責任を負わされた。しかし彼に行くように命じられた神は、ご自分のしもべをささえ、彼に成功をお与えになることができた。

——預言者と王たち・二六六ページ（一九一六年）

勇気を失ってはならない——決して勇気を失ってはならない。形勢が不利であるからといって、決して不信仰を表わしてはいけない。あなたが主のために働くとき、資金が欠乏することもある。しかし主はあなたの祈りをお聞きになり、それに答えられる。「しかし主なる神はわたしを助ける。それゆえ、わたしは恥じることがなかった。それゆえ、わたしは顔を火打石のようにした。わたしは決してはずかしめられないことを知る」(イザヤ書五〇ノ七)。これをあなたの言葉に下さい。

——教会へのあかし・第七卷・二四四ページ(一九〇二年)

希望をもち勇敢でありなさい。神のご奉仕において失望落胆は罪であり、また道理に合わないものである。神は私たちすべてのものの必要を知っておられる。またすべての力をお持ちである。神はそのしもべたちに必要な力を豊かに与えられる。

——教会へのあかし・第八卷・三八ページ(一九〇四年)

強くあって、希望を語りなさい。障害をのり越えて、あなたの道を押し進みなさい。あなたはキリストと霊的な意味で結婚状態にあるのである。み言葉はあなたの保証で、生きた信仰の強い確信をもって救い主に近づく、彼のみ手を握りなさい。キリストのお示しになる道に進みなさい。キリストがあなたにお語りになることは、何でもしなさい。彼は他の人をお教えになると同じようにあなたをも喜んで教えてくださる。——教会へのあかし・第六卷・四六二ページ(一九〇〇年)

カレブの信仰を働かせなさい——カレブに勇気を与えたのはカレブの神に対する信仰であった。その信仰は彼に人を恐れないようにし、アナクの子孫である巨人をも恐れないようにし、また正義を擁護するため大胆に立たせたのである。この同じ泉——天使の力強い指揮官——からすべての真

の十字架の兵士は、とうていあたることができないと思うような障害にも打ち勝つ力と勇氣とを受けなければならぬ。：：私たちには今日、多くのカレブが必要である。彼らは勇氣に満ちた言葉をもって、即時行動に移らなければならないとの力強い報告をするであらう。

——教会へのあかし・第五卷・三七八―三八三ページ（一八八五年）

決意をもって働きなさい——神のご奉仕に携わる者は救霊の働きをするとき、活発と決意をもって働かなければならない。私たちは神の働き人として失望落胆しないように決意をもって働かなければ、滅びる人が多くいることを覚えなければならない。恵みの座は私たちの絶えないよりどころである。

——教会へのあかし・第六卷・四一八ページ（一九〇〇年）

困難に対して勇敢に立ち向かいなさい——私たちの信仰と忍耐を試みる困難が起こってくる。それに勇敢にあたりなさい。物事の明るい面を見なさい。働きが妨げられても、それはあなたの過失ではないから、主にあって喜びつつ前進なさい。

——教会へのあかし・第七卷・二四四ページ（一九〇二年）

試練は益になる——しかし悩みが来るとき、ヤコブのようになる人が何と多いことであろう。わたしたちはそれを敵の手と思うのである。そして暗やみの中で力が尽きるまで盲滅法に戦うのである。そして慰めも救いも見いだせない。：：私たちはまた試練は益をもたらすことを学び、主のこらしめを軽んじることなく、主に責められるとき、気落ちしないように学ぶ必要がある。

——祝福の山・一四ページ（一八九六年）

主イエスはわたしたちの力——キリストの働き人はその働きにおいて、決して失敗を予想したり

話したりしてはならない。主イエスはすべてのことにおいて私たちの力となってください。キリストのみたまは私たちを感動させる。そして私たちが光の通路となるために自分をキリストのみにゆだねるとき、善を行なうために必要な方法は決して尽きることはない。キリストの豊富な資源から無限の恵みを受けることができる。

——福音宣伝者・英文・一九ページ（一九一五年）

大きい事を期待しなさい——あなたに成功を与えるものは、あなたが現在もっているもの、または将来もつかもしれない才能ではない。それは主があなたのためになされることである。私たちは人間にできることに信頼を置くことをひかえ、すべての魂のために神がおできになることにもっと多く信頼する必要がある。神は信仰をもつてみもとに来るよう私たちに望んでおられる。神は私たちに霊的事物におけると同様に、物質的な面でも理解力を与えようと望んでおられる。神は私たちの知能を鋭くすることも、また機知と熟練とをお与えになることもできる。あなたの才能を働かせて神に知恵を求めなさい。必ず与えられる。

——自然と宗教・英文・一四六ページ（一九〇〇年）

すべての困難が除去される——もし日ごとに主を求めて悔い改め、みずから進んで神にある自由と喜びの経験を味わい、神の恵み深い招きに喜んで応じ、キリストの服従と奉仕のくびきをになうなら、つぶやきはすべてなくなり、困難はすべて取り除かれ、現在直面している複雑な問題もことごとく解決される。

——祝福の山・一二六ページ（一八九六年）

神のみ摂理の実に驚くべき働きによって、困難の山は移されて海の深みに投げ入れられる。

——教会へのあかし・第九巻・九六ページ（一九〇九年）

第五部 真理に満ちている私たちの文書

第十九章 使命を伝える書物

第三天使の使命を伝えなさい——神は、現代の真理の光が盛られている書物が配布されるために文書伝道の働きに携わる人を召しておられる。世の人々は時のしるしが成就していることを知る必要がある。彼らに光を与える書物を持て出て行きなさい。……

何年も長い間真理のうちにいる者は眠っている。彼らは聖霊にきよめられる必要がある。第三天使の使命が大きな声でのべ伝えられなければならない。恐ろしいことが私たちに臨もうとしている。私たちには失ってよい時間はない。神は私たちが世に伝えなければならない光を、重要でないことがらのために暗くしてしまうことをお許しにならない。

警告の使命を世界の隅々にまで伝えなければならない。私たちの書物を多くの異なった国語で出版しなければならない。これらの書物を持て、謙遜な忠実な人々が文書伝道者として出て行き、この方法によらなければ決して光が与えられない多くの人々に真理を伝えなければならない。

——原稿・第七六号・一九〇一年

明確な働き——私は救い主を待ち望んでいると告白する人々がこの時代のための特別な真理が少

しも盛られていない書物——物語の本、伝記、人の学説や推測の盛られた本——配布のためほとんど彼らの時間と才能を費やしているのを見ると心が痛む。世にはそのような書物が満ちている。それらはどこでも自由に手にすることができる。しかし、神の真理に対する緊急な必要が至る所にある現在、キリストに従う者が、どうしてそのような通俗的な働きに携わっていてよいであろうか。このような書物を配布することは私たちの働きではない。そのような働きをする人はほかにくらでもいる。彼らはまだほかの良いことについて十分な知識をもっていないのである。私たちは明確な働きをもっている。そのため、他のいかなることに目もをそらしてはならない。現代の真理に何の関係もない書物を配布するために人材や資金を用いてはならない。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・五一ページ（一九〇二年）

注意しないと市場は低級な書物の洪水となり、人々は主の道を備えるために必要な光や真理を受けることができなくなってしまう。

——書簡・第四三号・一八九九年

魂に光をもたらす書物を取り扱いなさい——文書伝道者は、魂に光をもたらす書物を取り扱うべきである。彼らはまた、その書物の精神を吸収して、自分のものにしなければならぬ。そしてこれらの書物を人々に示す働きに全霊を傾注すべきである。彼らが神の霊に満たされるならば、天使は彼らの働きに成功を与え、彼らは深い豊かな経験をもつことができる。

——書簡・第七五号・一九〇〇年

私たちの信仰の証拠を教えなさい——私たち働き人は信仰の証拠を扱っている書物——聖書教理を教え、臨もうとしている試みのときにしっかりと立てる一つの民を備える書物に、まず第一の注

意を払うように奨励されなければならない。祈りのうちに聖書を教え、また教会の書物をじょうずに利用することによって人々を真理に導いたとき、私たちは彼らを教えてみ言葉を伝える働き人に仕立てなければならない。そして聖書の問題を扱っている書物——すなわち一つの民を備える教えに満たされている書物——を配布するように彼らを奨励すべきである。

——教会へのあかし・第九巻・六ページ（一九〇九年）

現代の真理がのっている——物語の本ではなくて、この時代に必要な真理をのせた本を世界に紹介するこの仕事に従事するように、文書伝道者を奨励しなければならない。

——教会へのあかし・第六巻・三一五ページ（一九〇〇年）

試みる真理を与えなさい——大きい書物には、この時代のための真理——世界至る所にのべ伝えるべき使命——が盛られている。文書伝道者は「神の戒めと、イエスを信じる信仰」とを記した旗を高くかかげて、試みのときに永遠の真理の教えに堅く立つ一つの民を備えることを明示した書物を配布すべきである。

私は文書伝道の働きが復興しなければならないという教えを受けた。私たちの小さい書物は、パソフレットや雑誌とともに大きい書物と組にして用いることができ、またそうしなければならない。

——原稿・第一三六号・一九〇三年

第二十章 使命を伝える大きい書物

サタンの背教を明らかにする書物——天におけるサタンの背教に関して神がお与えになった光をのせた重要な書物^{*}が、今広く配布されなければならないことが私に示された。それは、これらの書物によって真理が多くの人々の心に達することができるからである。今日「創世時代と父祖の生活」「ダニエル・黙示録講解」および「各時代の大争闘」などはかつてなかったほど必要なものとなっている。これらの書物を広く配布しなければならない。それはこれらの書物に強調されている教えが多く、多くの者の目を開くからである。……私たちの教会の多くの者は、最も必要なこれらの書物の重要性に対して盲目であった。これらの書物販売のために、そのとき、機知と熟練とを示していたならば、日曜休業令運動は今日のような勢力とはならなかったはずである。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇五年二月一六日

「各時代の希望」「創世時代と父祖の生活」「各時代の争闘」および「ダニエル・黙示録講解」などの中には貴重な教えが含まれている。そしてこれらの人々に紹介するためにはあらゆる努力を払わなければならない。

——書簡・第二二九号・一九〇三年

「ダニエル・黙示録講解」「各時代の争闘」「創世時代と父祖の生活」は困難を排して前進し

^{*}このような記事が書かれたあとで、使命を満載した書物が多く出版され、文書伝道者に利用されるようになったことを、読者諸氏は、お忘れにならないようにお願いします。

て成功するとの光が与えられた。これらには人々が知らなければならぬ使命、神が民にお与えになった特別の光が含まれている。神のみ使いたちはこれらの書物のために人々の心の中に道を備えようとして働く。

—— 著作権使用料に関する特別のあかし・七ページ（一八九九年）

預言のみたまの書物——わたしは、兄弟姉妹がたが「自然と宗教」の販売に示した興味に対して天父に感謝する。この書物の販売によって大きな善事がなし遂げられた。この働きは継続しなければならぬ。かといって教会員はこの書物ばかりに集中してはならない。主のみ働きは一つの面だけの奉仕に限られていない。「自然と宗教」は続けなければならぬし、その定められた働きをすることはである。しかし、神の民らのいっさいの思いと努力とをその配布だけに傾注してはならない。「創世時代と父祖の生活」「各時代の競争闘」および「各時代の希望」などの大書物を至る所で販売しなければならぬ。これらの書物にはこの時代に対する真理——全世界の至る所に宣伝しなければならぬ真理——が含まれている。何もこれらの販売を妨げるものがあってはならない。

「自然と宗教」を配布する努力は文書伝道者の分野でどんなことができるかを証明した。この努力は成功するためには祈りと信頼を持ち、どのように文書伝道をしたらよいかという点で決して忘れてはならない教訓である。

教会員が、もしこれらの書物に含まれている真理の重大性に目ざめ、それを配布する彼らの責任を認めていたならば、これらの大書物はもっと多く売れたはずである。兄弟姉妹がた、今あなたがたはこれらの書物配布のために努力なさらないだろうか。あなたがたが「自然と宗教」を販売するために現わしたと同じ熱心を、これらの書物配布のために示さないだろうか。多くの者はこの書物

を販売することによって、どんなにして大書物を扱うかを学ぶことができた。彼らはまた、文書伝道の働きのために自分を備える経験を得ることができた。

へこれらの書物の感化へ ホワイト夫人（三人称で書いている）はこれらの書物の創作者ではない。これらの書物には、神が彼女の働きの期間を通してお与えになった教えが含まれている。これらには神が世の人々にお与えになる目的で、そのしもべに豊かにお与えになった尊い慰めの光が盛られている。これらの各ページから人々の心に光がさしこみ、彼らを救い主に導くのである。主はこれらの書物を全世界至る所にまき散らすようにとお命じになった。これらの書物には、受け入れる者にとっていのちよりのちに至るかおりとなる真理がある。これらは神のために無言の証人である。過去においてこれらは神のみ手のうちにあって多くの魂に罪を意識させ、悔い改めさせたものであった。多くの者は大きい期待をもってそれを読んだ。そして彼らはキリストの贖罪の力を認めるようになった。その力に信頼するようにと導かれていった。彼らは自分の魂を創造主にゆだね、永遠の家郷に愛する者を連れ帰るために再びおいでになる救い主を待ち望んだ。これらの書物は将来、他の人にも福音をいっそう鮮明に示し彼らに救いの道を示すはずである。

——レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇三年一月二〇日

光を伝える書物を販売しなさい——神はその民に教訓に教訓を加え、規則に規則を加え、ここにも少し、そこにも少しと多くの教えをお送りになった。しかし彼らは聖書に心を留めなかった。そこで神は人々を大きい光へ導くために小さい光をお与えになった。実に、この光が含まれているこれらの書物が、そこに書かれている原則を実行しようとする決意をもって読まれたならば、どれだ

けの多くの利益をうけることができたであろう。そこには今よりも何千倍かの注意深さと自己否定と徹底的な努力とが見られるはずである。そして今日さらに多くの魂が現代の真理の光の中で喜んでいであろう。

兄弟姉妹がた、これらの書物を配布するために熱心に働きなさい。この働きに注意を注ぎなさい。神の祝福が必ずあなたに伴う。人々が光を受け入れるように神が彼らの心を備えてくださるよう祈りながら、信仰をもつて前進しなさい。人に対しては気持ちよく、親切でありなさい。矛盾のない生活によってあなたがたが真のクリスチャンであることを示しなさい。天の光の中を歩み、また働きなさい。そうすればあなたがたの道は正しい者の道のように、さらに輝きを増して真昼のようになる。

——レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇三年一月二〇日

真理は「主はこう言われる」によって守られた——幾人の者が「創世時代と父祖の生活」「各時代の大争闘」また「各時代の希望」を注意深く読んだであろうか。私は神がお与えになった光に対する私の信頼はしっかりとゆるがないことをすべての人に理解していただきたい。それは聖霊の力が真理を拡大し、「これは道だ、これに歩め」と言われて、それを尊ばれたことを私が知っているからである。そして神の律法は今契約の箱の中にあるが、すべての悪と偽りの父によって創始された欺瞞の科学に神が判決をくだされる大いなる日にそこから出されるのである。神が律法を自分の指で石の板に消すことのできないように書かれたと同様に、聖霊はこれらの真理を私の心にお記しになった。

——書簡・第九〇号・一九〇六年

神は「各時代の希望」をすべての家庭でごらんになるのを喜びになる。この本には神がみ言葉の中にお与えになった光が含まれている。私は文書伝道者の方々に、キリストのご生涯を読んであ

なたがたの心が和らげられて出かせなさいと申し上げたい。救いの水がなたがたの中で生きた泉となり、滅びようとしている魂をうるおすために流れ出るほど、それを深く飲みなさい。

——書簡・第七五号・一九〇〇年

「各時代の大争闘」は金銀以上のもの——「各時代の大争闘」は広範囲に配布しなければならぬ。それには過去、現在、未来のこととがらが含まれている。この地上歴史の終わりの光景についての略述で、真理のために力強いあかしが立てられている。私は私が書いた他のどの書物よりもこの書物が広く配布されることを熱望する。なぜならば、「各時代の大争闘」には世界に対する最終の警告使命が、私の書いたどの本よりもはるかに明確に示されているからである。

——書簡・第二八一号・一九〇五年

私は文書伝道の働きに携わっている方々にお尋ねする。あなたがたは「各時代の大争闘」をお読みになったであろうか。「各時代の大争闘」にはどんなことが含まれているか知っているだろうか。あなたがたはその扱っている問題に対する正しい判断をもっているだろうか。あなたがたはそこに与えられている光を人々が必要としていることを認めないであろうか。皆さんがもしまだ読んでいないなら、私は皆さんに、これらの厳粛な警告と訴えとを注意深くお読みになるようにおすすめる。神は、近づいて来る危険について警告しなければならぬ魂のいるところはどこにでも、この書物が配布されることを望んでおられると私は確信している。——書簡・第一号・一八九〇年

私はこの書物を書くように聖霊に感動され、それを書いている間、私は大きな重荷を感じた。私は時の短いこと、私たちに臨もうとしている事件が、「主の日は盗人が夜くるように来る」と聖書に示されているように最後に突然急速に来ることを知っている。

主は私に、現代に対してさし迫って重要な、そして将来にまで及ぶことがらを提示なさった。私に対して命令の言葉が語られた。「あなたの見た事聞いた事を書き、それをすべての人々の前に表わしなさい。それは歴史が繰り返される時が迫っているからである」と、私は午前一時、二時、あるいは三時にめざめさせられ、あることがらは、あたかも神のみ声で語られたかのように、私の頭に強く印象づけられた。……

私は「各時代の大争闘」に重要なことがらを書くために献身しなければならないことを……示された。そして警告は生きている、使命者の行けない所に伝えられなければならないこと、そしてこの警告はこの世界歴史の終わりのときに起こる重大な事件に、多くの人々の注意を呼び起こすことが示された。

——書簡・第一号・一八九〇年

私はこの書物、「各時代の大争闘」を金銀以上に評価する。そしてこれが人々に配布されることを切望する。「各時代の大争闘」の原稿を書いているとき、私はしばしば神のみ使いがそばにいるを意識した。私は書いていた光景が何回となく夜のまぼろしの中に繰り返して示された。それでそれらのことからは私の頭に新鮮な生き生きしたものであった。

——書簡・第五六号・一九一一年

最大の結果は将来に——この書物「各時代の大争闘」の配布の結果は今の状態で判断すべきではない。ある者はそれを読んで、目をさまし、直ちに神の戒めを守る者の群れに加わる勇氣があるであらう。しかし、さらに多くの人々はそれを読んでも、その中に預言されている事件そのものが起こるのを見るまでは彼らの立場を明らかにしない。ある預言の成就が他の預言も成就するとの信仰

をふるい起こし、最終の働きで、地が神の栄光で照り輝かされるとき、この大争闘の働きの結果として多くの魂が神の戒めの側に立つに至る。

——原稿・第三一号・一八九〇年

すばらしい感化力をもつ書物——神は私に「各時代の大争闘」と「創世時代と父祖の生活」の中に含まれている光をお与えになった。この光は、いまに臨もうとしている神の重大な日のために人々を目ざめさせ、備えさせるために必要である。これらの書物には人々に対する神からの直接の訴えが含まれている。このように神は感動的な言葉によって人々に語り、キリスト再臨のために備えをするよう促しておられる。神がこれらの書物の中にお与えになった光を隠してはならない。……私は、これらの書物は売れないと言われたことが真実ではないことを知っている。私はよく知っている。それは人間の考えがそれらの販売の道を妨げたために、このようなことが言われたことを主が私に示してくださったからである。これらの著書がいかなる人間の頭脳の産物でもないことは否定できない。これらは神の民に語っておられる神のみ声であり、他の書物のもっていない感化を人々に及ぼすのである。

——原稿・第二三号・一八九〇年

多くの者は信仰から離れ、偽りの霊に心を留めるであろう。「創世時代と父祖の生活」と「各時代の争闘」は新しく信仰にはいった人々のために特に適した書物であって、それによって彼らは真理にしっかりと立つようにされるのである。教会がさけなければならぬ危険が指摘されている。これらの書物にある教えを完全に知っている者は彼らの前にある危険を認めることができ、彼らのために指示された平らなまっすぐな道を見分けることができる。これらの書物は、足の悪い者が道

に迷うことのないように平らな歩きよい道を備える。

——書簡・第二二九号・一九〇三年

誤謬から守る——これらの書物の販売に対する興味をよび起こさなければならぬ。これらの販売は絶対必要である。なぜならばこれらには神からのときになつた教えが含まれているからである。これらは人々が現在特に必要としている光をもたらす書物として認められなければならない。だからこれらの書物は広く配布されなければならない。これらに含まれている教えを注意深く学び、それを神からのものとして受け入れるものは、世にひろまっている多くの誤謬から守られる。これらの書物に含まれている真理を受け入れる者は、偽りの道に導き入れられるようなことはない。

第二十一章 衛生図書

衛生図書の配布——私たちの衛生図書の配布は最も大切な働きの一つである。これは、この時代に対する特別な真理を信じるすべての者が、新たな興味をもたなければならない働きである。神は今日、人々の心がかつてなかったほど深く感動させられて、重要な節制問題と真の衛生改革の根本原則を研究するように望んでおられる。……

へ宗教と健康へ 真の宗教と健康の法則とは手を取り合って進むのである。健康をそこない、魂を墮落させ、神の真理を心に印象づけることを妨げる悪習慣から離れることの必要を説かないでは、人々の救いのために何一つ働くことはできない。

——レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇一年一月二〇日

衛生改革は道を開くさびである——健康に関する福音は有能な唱道者をもっているが、あまりにも多くの牧師、部会の責任者や他の指導者の地位にある人がこの衛生改革の問題に対して適切な配慮をしなかったために、彼らの働きは非常に困難なものになっている。彼ら指導者たちはこの衛生改革が福音宣伝の働きに対して、ちょうどからだの右腕のような関係にあることを認めていなかった。多くの人々、また牧師のある者も、この部門に対してあまり関心を示さなかったが、主はこの部門に豊かな繁栄をお与えになってこの部門に対するご自身の関心をお示しになった。健康に関

する働きが正しく行なわれるとき、それはくさびとしての働きを果たし、他の真理が人々の心にはいる道を開くのである。第三天使の使命が完全に受け入れられるとき、衛生改革の問題は部会の会議において、あるいは家庭や食卓において、また家庭のすべてのことにおいての重要な立場が認められる。そのときはじめて右の手が働くことができ、身体を保護するのである。

——教会へのあかし・第六巻・三二七ページ（一九〇〇年）

衛生図書は福音の助け手である——私たちの衛生図書は真理が心にはいり、多くの魂を救いに導くために道を開く福音の助け手である。私は、この図書ほどすみやかに人の心を開き、それが読まれ実行されるとき、真理をよりよく理解するために魂を聖書研究へと導くものはほかにないと思う。文書伝道者は彼らが訪問する人々に衛生図書を示し、それが病気の治療にどんなに役立つものであるかを話さなければならない。

——原稿・第一一三号二九〇一年

人々の注意を引きなさい——衛生改革に関する出版物は、どんな聖書の重要な諸問題に関しての書物も見ようともしない多くの人々を動かすことができる。衛生改革に関する真理を、人々に伝えなければならぬ。これは人々の注意を聖書の真理に引きつけるために絶対必要なものである。神は民がすべてのことに節制であることを要求しておられる。彼らは節制を実践しなければ、真理によってきよめられないし、またきよめられることはできない。それにとどまらず、彼らの思想と意志そのものが下劣になる。絶望的な墮落状態にあると思われる多くの者でも、彼らの非衛生的な生活を正すように教えるならば、真理に注意を払うようになる。そして彼らは向上し、高尚にされ、きよめられて主に用いられる器になる。そのような魂に対し、キリストの愛に満たされ、

適当な読み物を多く携えて出て行き、彼らに接しなさい。……

へ偏見を取り去る」 私はこの部門の働きに関心をもつことによって多くの人々の心からかなりの偏見を取りのけることを示された。この偏見は彼らが真理を受け入れる道をふさぎ、私たちの信じている真理を伝える出版物を読まないように妨げているのである。この問題は不必要なものとしてみすごしにしてはならない。というのは、ほとんどすべての家庭がこの問題に目をさまし、また彼らが食欲を押えて神のみ言葉を実行する者となるためには、彼らの良心がめざめる必要があるからである。あなたがたが人々に衛生改革問題に関する知識を与えるとき、この終末時代のために与えられた現代の真理に彼らが注意を払う道を備えたことになるのである。「教育せよ、教育せよ、教育せよ」と、私の案内者は言った。人の心は啓発される必要がある。なぜならサタンの望むとおり、人にの理解力がにぶくなっているからである。サタンはゆがめられた食欲を手がかりにして、魂を墮落させることができるからである。……

私は「真理を信じそれを宣伝するすべての者が衛生改革を実行するだけでなく、それを熱心に他の人々にも教えなければならぬ」ことを示された。これは、もし私たちが衛生的な食物と生活に關して正しい知識をもてば、聖書教理の諸問題についても健全になることを信じない者によく考えさせる強力な手段である。

神は文書伝道の働きに従事する働き人を求めておいでになる。神はまた、衛生改革に関する書物が広く配布されることを望んでおいでになる。多くのことがこの衛生改革問題にかかっている。

——原稿・第一号・一八七五年

——原稿・第一七四号・一八九九年

青年男女は衛生的生活に関する私たちの文書を携えて人々のもとに出て行き、衛生改革の働きを進展させるために彼らの全精力を傾注すべきである。世にはこれらの原則についてもっと知りたいと切望している者が多い。

——書簡・第一五四号A・一九〇〇年

この光は大いに必要である——人々は私たちの衛生および禁酒・禁煙雑誌にあふれている光を大いに必要としている。神は人々の注意をひき、第三天使の使命の警告に耳を傾けさせるために、光を放つ手段としてこれらの雑誌を用いようとしておいでになる。

牧師は衛生に関する雑誌の配布を奨励するために多くのことができるし、またしなければならぬ。教会信徒全員は教会のほかの雑誌と同じように、これらの雑誌の間にあつれきがあつてはならない。……

衛生雑誌を配布する働きは、間もなくおいでになる人の子のために、人々を備えさせる特別な真理を受け入れるように彼らを備える力強い働きである。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇一年十一月一二日

これらの文書の永久的な部分——衛生改革は、他の方法では接することのできない階級の人々に真理を伝えることができたし、また今後もできる。今日、衛生講話や健康に関する出版物によって人々——信者および未信者——を助ける働きがぜひ必要である。人間的な偏見は衛生に関する書物、雑誌が他の出版物と同じように永久的な地位を占めることに対して反対しているけれども、私は反対する正当な理由を見いだすことができない。

——書簡・第二五号A・一八八九年

第二二章 適当なバランスを保って

衛生及び宗教の書物——世界を光でみちあふれさす書物を取り扱う働き人の間には、完全な一致がなければならぬ。私たちの教会の人々に文書伝道の働きが可能な所ではどこでも、衛生図書と宗教図書のどちらも同一の働きの一部であることを教えなければならぬ。宗教書物と衛生書物の関係は、ちょうど美しい模様を織っていく縦系と横系の関係であることが私に示された。

へひとしく重要である。過去において衛生書物は、その重要性に値するほど興味をもって取り扱われなかった。それは多くの人々にかなり喜ばれたけれども、他のもっと多くの人々はそれらを世に送り出す必要を認めなかった。しかし再臨のために人々を備えるのに絶対に必要な他の真理を受け入れさせるためには、彼らがこの時代の罪惡を認め、自己放縱と非衛生的な習慣を改革しようとするように仕向けること以外によい準備があるとは思えない。世人は衛生改革問題に目をさます必要に迫られていないであろうか。人々はこれらの書物に盛られている真理を必要としていないであろうか。文書伝道者の多くの者は、彼らが衛生の働きに関して今まで抱いていたものと異なった考えを持たなければならない。

文書伝道者や主任の間に意見の相違や党派的精神があつてはならない。すべてのものは宗教書物の販売と同じように、衛生問題を扱っている書物の販売にも興味をもたなければならぬ。どの書物だけが文書伝道者の注意を引くべきであるなどと一線を引くようなことをしてはならない。働きのすべての部門の完全な一致と均整のとれた調和のある発達が必要ではない。

へ分離させられてはならない。健康に関する書物が多くの人々から受けた差別待遇は神を侮辱するものである。働きの組織から衛生の働きを分離することは神のみ旨ではない。現代の真理は福音の働きの他の部門に依存しているのと同じように、衛生の働きにも依存しているのである。どの部門でも他の部門から分離されるとき完全なものとはいえないのである。

——教会へのあかし・第六巻・三二六、三二七ページ（一九〇〇年）

どの部門にもかたよつてはならない——私たちの働きにおいては他の部門が放任されていて、ある部門にばかりかたよるようなことのないように注意しなければならない。衛生雑誌の配布には、それに示さなければならぬほどの興味が示されなかった。これらの雑誌の配布を怠つてはならない。さもないと人々は多大な損失を招くであろう。

——レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇一年一月一二日

それぞれ固有の立場をもっている——衛生の働きは第三天使の宣伝においてある位置を占めているが、その唱道者はそれをどうしても使命にとつて代わるものにしようとしてはならない。衛生書物はその固有の立場を占めなければならないが、これらの配布は果たさなければならぬ大きな働き

の多くの部門のただ一つにしか過ぎない。衛生書物に関して時々文書伝道者が受ける強い印象は、世人に紹介しなければならない他の重要な書物をのぞくことになってはならない。文書伝道の働きを指導している人々は、全体に対する働きの各部門の関係を理解し得る人々でなければならぬ。彼らは衛生図書の配布に当然払うべき注意を払わなければならぬ。しかし他の重要な働きから働き人を引き抜いて、世に対して特別な真理の使命を伝える書物を除くほどに目立ったものにしてはならない。

健康と節制の問題を扱っている書物の取り扱いと同様に、宗教書の取り扱いにも同じぐらいの教育が必要である。健康に関する書物を扱う働き人を養成するためになされ、また言われる同じことが霊的のかてが盛られている書物を販売する働きに関しても言われ、同じ努力を第三天使の使命の盛られている書物の配布のために働き人を奨励し教育するために払わなければならぬ。

へたがいに補い合う。これらの二種類の書物のいずれもつねにゆずり合う。二つとも必要であり、二つとも同時に販売されるべきものである。たがいに補い合うのであって、どんなことがあっても他の代わりにはならない。二つとも最高の価値のある問題を扱っており、いずれもこの最終時代のために神の民を備える働きにその分を尽くさなければならぬ。二つとも人々を啓発し、目覚めさせ、罪を自覚させるための現代の真理でなければならぬ。神のみ子が力とすばらしい栄光のうちにおいてになるのを待ち望んでいる諸教会をきよめ、聖別する働きにおいて一つとならなければならぬ。

出版所と出版部主任とは、すでに働いている文書伝道者を奨励するために熱心に働き、新しい働

き人を募集し、訓練しなければならぬ。各自ができるだけ他の働きを弱めないで、その働きを強め盛り立てて行かなければならぬ。すべてのことが利己的でなく、兄弟愛のうちにこなわれなければならない。

——教会へのあかし・第六巻・三二七、三二八ページ（一九〇〇年）

バランスのとれた発達のために働きなさい——衛生改革は、腕と身体との関係のように第三天使の使命に対して密接な関係をもっている。両腕は身体の代わりをすることができない。第三天使の使命——神の戒めとイエスのあかし——の宣伝は私たちの責任である。使命は高らかに大きく宣伝され、全世界に伝えなければならない。健康の原則はこの使命といっしょに伝えるべきものであつて、どんな場合でもそれから離れたら、その代わりとなつてはならない。……働きのすべての部門においてよくバランスのとれた発達がなければならない。私は衛生に関する書物はその立場を占めることを望んでいるが、それはなすべき大きな働きの多くの部門の一つに過ぎない。神は終わりの時代に対する真理の盛られている書物を通して世の人々に使命をお送りになる。

文書伝道者は、他のすべての書物の販売をおこたつて、一つあるいは一種類の書物だけを販売してはならない。働き人の中にはつねにどんな方向にでも動かされる人がある。文書伝道の働きを指導する人々は、よく均衡のとれた常識のある人、働き全体に対する各部門の関係を理解できる人でなければならない。彼らは衛生図書の配布に当然注意を払わなければならないが、他の重要な働きから働き人を引き抜くほどに重大なものとしてはならない。

——書簡・第五七号・一八九六年

衛生雑誌や書物の販売は、決して第三天使の使命の他の面を扱っている出版物の販売を妨げてはならない。これらすべてのものは、すばらしい栄光と力とをもって天の雲に乗っておいでになる主イエスのために道を備えるのである。

—— 原稿・第一一三号・一九〇一年

すべての者が一つの書物だけのために働くのではない——文書伝道者の分野において、一時にたった一種類の本を売ること——すなわちすべての文書伝道者が同じ書物売るようになる——が最もよい方法であると主張されたことがあった。もしこのようなことが実行されたならば、それは賢明でもなければ、得策でもない。どんな本でも、あたかもそれがこの時代のすべての要求に応じられるかのように、それだけを世人にすすめてはならない。もし神がその民のため光を持っておられ、それを異なった方法でいろいろな書物に表わされたとすれば、その光が全世界にゆきわたることをだれがあえて妨げてよいだろうか。神のお与えくださった光が出版所のたなにさらされることなく、それを受けるすべての者を啓発するため輝かせる方法を考えることを神は望んでおいでになる。

—— マヌアル・フォア・キャンバサー・四七ページ（一九〇二年）

あらゆる階級のための文書

—— 文書伝道者は、自分の扱っている本をこの時代のための真理をの

せた他の書物よりも高くかかげてはならない。もし文書伝道者がただ一冊の書物を選び、彼の精力をそれにだけに集中するならば、働きは神のご計画に従って運ばれないことになる。人は十人十色である。だからある人を引きつける食物は他の人には興味がないこともある。この時代の特別な問題がいろいろ変わった方法で扱われている書物を販売しなければならない。文書伝道は賢明な選択

をしなければならない。神の働きに携わっているものはだれも偏狭で近視眼的であってはならない。神はいろいろな方法によって働いておられる。一種の書物が他のどれよりも称揚されるとき、人々に光を与えるのに最も適した書物が押しのけられる危険がある。異なった書物を比較しどれが最もよい働きをするかと決めることは意味がない。どの声もどのペンもそれぞれに神のために語るように靈感を与えられているのである。ある人には私たちのむずかしい書物を理解することは困難である。真理をもっと簡単に書き表わした書物の方が容易に彼らに理解される。指導的な働き人は弱い働き人を励まさなければならない。彼らは、主の日のために民を備えるために働きを開始したすべての書物、雑誌に同程度の興味を示さなければならない。ある人は書物からよりも雑誌やトラクトからより多くの利益を受ける。だから聖書の教えを扱っている雑誌、トラクト、小冊子などはすべて文書伝道で用いなければならない。それはこれらのものが大きい書物のために道を開くさびとなるからである。

—— マヌアル・フォア・キャンバサー・四八、四九ページ（一九〇二年）

トラクトと小冊子——文書伝道者は買えない人々に与えるために、トラクト、小冊子または小さい本を携えて行くべきである。このようにして真理が多くの家庭に紹介される。

——教会へのあかし・第六巻・三三八ページ（一九〇〇年）

宗教書物のためにもっと徹底的な努力を——文書伝道は重要なものであり、最も有利な伝道の働きである。衛生に関する書物の販売についていろいろ語り、またこれらの書物は広く配布されなければならぬが、重要な宗教書物を人々に紹介するためにもっと徹底的な努力をしなければならない。

私たちの出版物は伝道集会を開くことのできない所にも行くことができる。そのような場所においては忠実な文書伝道者は生きた説教者の代わりをつとめるのである。

——書簡・第一四号・一九〇七年

書物の出版に関する私たちの働きは現在の段階においてはその取り扱いを注意深くしなければならぬ。私は才能のある男女を文書伝道者としなければならないことを示された。これまで医学の書物販売に当てられた努力の大部分は、この時代の真理が盛られている書物を扱うために当てられなければならない。そのようにして私たちの信仰の理由と、世界が直面しようとしている問題が人に知られるのである。……

私たちは、普通一般の働きでなく、光と真理すなわち聖書の真理を世に与える働きに携わるために、神から召しを受けようと望むすべての人を働きに携わらせるべきである。

——書簡・第七二号・一九〇七年

小冊子対大書物——私は大書物の販売を怠って小さい書物の販売に努力を集中することは正しいとは信じていない。神が人々の手に渡そうと啓示された大書物をたなにねかして置き、小冊子売るために活発に働くことは正しいことではない。

——原稿・第一二三号・一九〇二年

ありふれた物売るときではない——人々に必要な使命が盛られていない種類の書物を人々に紹介するには、あまりにもこの世界の歴史の終結は近づいている。彼らの注意を実際的な信仰と敬虔

を扱っている書物に引きつけなさい。天幕の中をきれいにしてきよめなければならない。世に光を与える書物は豊富にある。

なぜ私たちの雑誌にこの時代に必要でない書物の広告を載せるのか私は理解できない。このような書物はどの書店でも求めることができる。なぜ人々の心を永遠の生命の言葉に関した問題に引きつけないのか。なぜ世界至る所にいる私たちの働き人から単純で真実な便りを得ようと努力を払わないのか。神はこのような種類の読み物を求めておられる。私たちには普通ありふれたことのために当てる時間や、ただ興味本位の書物のために浪費する時間はない。

——著述者、編集者への勧告・一四七、一四八ページ（一八九九年）

書物となった凡俗な物語は私たちの幸福、健康のために必要でないことが示された。世界にはこのような本がはらんしている。このような本が多く売られるということは、それがほんとうに読まなければならない本だという証拠にはならない。物語を人々が熱望するために、わらや木のよきな無価値な書物が無数に出版されている。これらの本は架空的な作りごとにふけるように教育された人々によって書かれている。すべて想像的な頭で考えられる事が書物に織りこまれ、知能のかであるが世に紹介されている。しかしそれらはかてとしての価値はない。「わらと麦とをくらべることができようか。」私たちには小説は必要でない。私たちは、人生のあまりにもきびしい現実を扱っているからである。

——著述者、編集者への勧告・一四七ページ（一八九九年）

無益で刺激的な書物を避けなさい——この世界には、配布されるよりもむしろ焼きつくされた方

がよい書物がはらんしている。金もうけ主義で出版され、配布されているインディアン戦争やそれに類似する書物は読まない方がよい。これらの書物には悪魔的な魅力がある。罪悪と凶暴についての心の沈むような物語は多くの青少年を魅惑する力をもち、彼らの心に、極悪な行為をしてまでも、自分を人々の目にとまらせたいとの欲望を起こさせる。全く歴史的な書物で割に良い感化のものも多くある。これらの書物に描写されている凶行、残虐行為およびみだらな行為は、多くの人々の心にパン種のような働きをして彼らを同じ行為に導くのである。人間によって行なわれる悪魔的行為を描写した書物は、悪の働きを宣伝しているのである。罪悪と悲惨なことの恐ろしいほどの詳述は再現される必要はない。この時代に対する真理を信じている者はだれもこれらの記憶を永続させようとする働きに組してはならない。

恋愛物語や軽々しい刺激的な物語は、すべての読者にのろいとなる部類の書物である。これらの書物の著者はよい教訓を盛り全体に宗教的情緒を織り込むかもしれないが、多くの場合はサタンが天使の衣をつけたにすぎないのであって、それはもっとも効果的に人々を欺瞞し、誘惑するのである。人の考えは大部分、その食するものによって影響される。つまりない刺激的な書物を読む人は、彼らの前におかれている義務に対して不適当な者となってしまう。彼らは架空の世界に住み、有益な働きに対する欲望を失い、聖書をさがし求めて天来のマナを食べようとする欲求が失われる。そのような人の頭脳は弱くなり、義務と運命との大問題を考える能力が失われる。

私は青少年少女が不適当な読書からくる大きな危険にさらされていることを示された。サタンは、青少年少女やおとなが無価値な物語によって魅惑されるように絶えず導いている。今日出版されて

いる大部分の書物が焼き尽くされたならば、人々の頭脳を弱め、人々の心を腐敗させる恐ろしい働きをしている疫病をくい止めることができる。だれ一人として誘惑には安全であるというほど、正しい原則にしっかりと立っていない。これら有害無益な読み物は徹底的に捨てさるべきである。

神は私たちがこのような書物を出版したり、販売したりすることをお許しになっていない。なぜなら、それらは多くの魂を破滅に導く手段だからである。この問題が私に示されたので、私は何を書いているかをよくわきまえている。真理を信じている者は金もうけをしようと思って、このような働きに携わってはならない。このようにして得た収入の上に神はのろいを下される。神は彼らが集めるよりも多くのものをお散らしになる。

——マヌアル・フォア・キャンバサー・五一—五三ページ（一九〇二年）

光を広めるために働きなさい——この時代は取るに足らないものが称賛され、誇張される時代である。大きな騒ぎをまきおこし、売れ行きのよいものが、どんなものでも歓迎される。価値のある書物は売れず、また読まれていない。ところがそれに反して国々は金もうけのために書かれた、全く無価値な出版物の洪水に見舞われている。収入が多いからといってこのようなセンセーショナルな書物を販売する人は、社会のためによいことをすることができると尊い機会を失っているのである。人々の注意を引き、聖書を根拠にした真に価値のある書物に興味をもたせるために戦わなければならない。やはり大きな働きは、光を広める目的でこのような書物を販売しようとして文書伝道の分野にはいる良心的な、神をうやまう働き人を見いだすことである。

——教会へのあかし・第五卷・四〇一、四〇二ページ（一八八五年）

第二三章 私たちの雑誌の奉仕

私たちの教会の定期刊行物によって真理を伝える——人の魂を救う尊い聖書の真理が私たちの雑誌にのせられている。教会には雑誌販売の働きを助けることのできる信者がたくさんいる。

——教会へのあかし・第九巻・六三ページ（一九〇九年）

私たちは、よく準備された文書の配布によって達成される働きについて目ざめていなかった。今、私たちはキリストがパトモス島でヨハネにお与えになった使命を世の人々に理解させるために、雑誌や書物を賢明に用いて、断固とした態度で力を集中してみ言葉を伝えなければならない。キリストのみ名を告白するすべての者は、すべてのものの終わりが近くなった、あなたがたの神に会う備えをしなさいと、あかししなければならない。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇八年七月三〇日

第三天使の使命を伝えなさい——今日、今までになかったほどに福音の最終使命の重大な、驚ろくべき働きが行なわれなければならない。世の人々は私たちの書物による伝道の働きによって真理の光を受けなければならない。私は、私たちの出版所に対して標準を高く高く掲げなさいと言うように命じられた。第三天使の使命を全世界の人々に宣べ伝えなさい。「ここに、神の戒めを守り、イ

エスを信じる信仰を持ちつづける聖徒の忍耐がある」ことをはっきり示しなさい。私たちの文書は全世界に証人として使命を伝えなければならない。

——レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇八年七月三〇日

定期刊行物の購読——正しく勧誘すればもっと長期の購読が得られるのに、ただ数週間の購読で満足するのはまちがいである。数多くの短期間の購読よりも一つの一年購読の方がもっと価値がある。雑誌の購読の場合、二、三か月の期間にすぎないときには、しばしば興味はその短期購読で終わって、わずかな人だけが長期間の再購読に切り替えるにとどまる。もう少し機知を働かせ、忍耐すれば一か年購読が得られるところを、時間を多くかけるわりに少しの結果しか得られない。兄弟姉妹、あなたがたの目標はあまりにも低過ぎる。また計画の目当てもあまり狭過ぎる。あなたがたは働くときその働きに当然用いなければならない機知と忍耐とに欠けている。他の働きよりも多くの困難がこの働きにある。しかしこの働きにおいて学ぶ教訓と得られる機知と訓練は、あとに魂のために他の働き場で働くのにあなたがたを適した者にするのである。教訓を学ぶことのできなかった者、他人に接するのに不注意、無作法である者は、直接伝道に携わっても同じ欠陥をもち機知と熟練の欠乏を表わすのである。

へ短期間の購読は誤りへ ある働き人は短期間の購読をとっている間、長期の購読を獲得するために必要な努力をしない。文書伝道者はその働き場で不注意、無関心な態度で働いてはならない。彼らは自分が神の働き人であることを自覚し、魂に対する愛のあまり、人々が真理について啓発さ

れるようあらゆる努力をしなければならない。神の摂理と恵み、手段と目的とは密接な関係を持ち、働き人が彼らのできる限りを尽くすならば、神は彼らのできないことをしてくださる。だれもひとりで、自分の努力だけで成功しようと思えることはない。彼らの活動と神に対する確固とした信頼とが一つにならなければならない。

神の働きのあらゆる部門で節約が必要である。現代における青少年の自然の傾向は節約を怠り、卑しき、それをけちや偏狭と混同することである。しかし節約は、最も広く自由な見解および感情と少しも矛盾するようなことはない。節約の行なわれないところに真の気前のよさはない。だれも節約と残り物を取り扱う最もよい方法を学ぶことは価値のないことだと思ってはならない。キリストはあの有名な奇跡を行なわれてのち、「少しでもおだにならないように、パンくずのあまりを集めなさい」と仰せになった。

——教会へのかし・第五巻・三九九、四〇〇ページ（一八八五年）

第二十四章 私たちの出版物の遠大な感化

ペンの力——ペンは、真理が自分の心の祭壇の上で燃えるのを感じる人、また神に対して知性のある熱心と健全な判断力との平均のとれた人の手中にあるとき一つの力である。純粹で清らかな真理の泉にひたしたペンは、地の暗黒のすみずみにまで光を送ることができ、そしてその光を反映して新しい力をさらに加え、至る所に発散させるためにいよいよ光が増し加わるのである。

——ライフ・スケッチズ・二一四ページ（一九一五年）

印刷所は神の手段——印刷物は人々の思いと心を動かす強力な手段である。……印刷物はあらゆる国民、部族、国語、民族に真理を伝えるために、生きた説教者の力と協力するために神が聖別された力強い道具である。多くの人々は他の方法では接することができないのである。

——クリスチャン経験・二二五—二二七ページ（一九二二年）

私たちの運動における出版部は私たちの力と密接な関係がある。私はこの出版部が、神がそれによって達成なさろうと計画されたすべての事を成し遂げるように望むものである。もし私たちの文書伝道者が彼らの分を忠実に果たすならば、現代の真理に関する知識が二倍にも三倍にもなることを、神がお与えくださった光によって私は知っている。

——ライフ・スケッチズ・四四六、四四七ページ（一九一五年）

私たちの出版物の感化——私たちの出版物はどんな犠牲を払っても各種の国語で印刷され、あらゆる文明国に送られなければならないことを私は示された。この時代に魂の価値と比較すれば、金銭の価値はものの数ではない。……

私は印刷物が善悪両面に力強く作用するものであることを示された。これは他のどんな方法でも接することができない公衆に接し、感化をおよぼすことができる。印刷物は神に聖別された人々によって支配されるならば、人々を真理の知識に導く良い働きの真の力である。……

へ他の国々において、私は出版物がすでに他の国々においても、偏見と迷信の壁を打破する働きをしていることを示された。私は男も女も非常な興味をもって、現代の真理に関する雑誌やトラクトのページを研究しているのを見せられた。彼らは、自分たちに理解できなかった真理の諸問題、特に第四条の安息日に関する光が明らかにされたとき、彼らにとっては素晴らしいまた新しい証拠をよるこんで読み、深い新しい興味をいだいて聖書を開いた。そして彼らがこれらのことからは真実であるかどうかを知るために聖書をさがし求めたとき、天使は彼らの頭上にいて、彼らが読んでいる出版物の中に盛られている真理で彼らの心を感動させたので、新しい光が彼らのさとりを開いた。

へ祈りと涙をもってさがし求める、私は彼らが涙を流し、片手に雑誌とトラクトを持ち、片手に聖書をもっているのを見た。彼らはすべての真理に導かれたいと望んで神のみ前にひざまずき、熱心に謙遜な祈りをささげていた。しかしこのことは彼らが求める以前神がすでになさっていたことであつた。そして真理が彼らの心に受け入れられたとき、彼らは真理の調和した関係を認め、聖書

は彼らにとって新しい書物になった。彼らは大きな喜びに満たされ、それをひしと胸に抱きしめた。そのとき彼らの顔は幸福と聖なる喜びとで輝いた。

これらの人々は真理の光をただ自分たちだけで楽しんで満足していなかった。彼らは直ちに他の人々のために働きを開始した。そしてある者は、真理のためにまた暗黒の中にある同胞を助けるために多大な犠牲を払った。このようにして他の国語でトラクトや雑誌を配布する一大運動の道が備えられている。

——ライフ・スケッチズ・二一四、二一五ページ（一九一五年）

本を書だなから取って——ある人は書物を買っても書だなに積んでおくか、客間のテーブルの上におくかしてめったに読まない。これは事実である。しかし神は、ご自分の真理を愛し、それを守りになる。これらの書物がさがし求められて、読まれるときがくる。その家庭に病氣や不幸が訪れることがある。そのとき神はこれらの書物に盛られている真理によって悩む心に平和と希望と休息とお送りになる。神の愛が彼らに示され、彼らは罪を許されることの尊さを理解させられる。このようにして神は自分を犠牲にして働く働き人に協力されるのである。

——教会へのあかし・第六巻・三一三、三一四ページ（一九〇〇年）

魂はキリストに導かれる——私たちの出版物はいま福音の種をまいている。そして説教によるみ言葉と同じように、魂をキリストに導く手段となっている。文書伝道の結果として教会が組織された例は少なくない。

——レビュー・アンド・ヘラルド・一八八〇年六月一日

一片でさえも貴重なもの——私たちは現代の真理が盛られている印刷物の一行一行を聖なる宝のように扱わなければならない。小冊子、雑誌のページでも価値あるものと考えなければならない。いったいだれが第三天使の使命の真理が盛られているページの破片が、真理を求めている者の心におよぼす感化を評価することができであろうか。私たちは私たちが提供できる書物、雑誌全部を読む人のあることを覚えなければならない。すべてのページは小さきまな道を照らして、真理の道に光を放つための天からの光のひらめきである。

数個のパンと小魚とで群衆を養われた奇跡のとき、食物がキリストのみ手から人々に渡されたとき、それは大いに増加した。そして弟子たちがキリストのご指示によって、残りのものを一片も失わないように集めたように、私たちもこの時代に対する真理が盛られている文書の一片でも大切に扱わなければならない。

——レビユー・アンド・ヘラルド・一九〇三年八月二七日

一日に千人——もし私たちが神のみ足もとに謙遜にひざまずき信じるならば、神は私たちのために偉大なことをしてくださる。∴間もなく一日に千人以上も悔い改めるときがくる。そして彼の大部分が最初に心を打たれたのは私たちの出版物を読んだときなのである。

——レビユー・アンド・ヘラルド・一八八五年十一月一日

最後の警告が発せられるとき——無数の声によって全世界に警告が発せられる。神のしもべたちによって奇跡が行なわれ、病人はいやされ多くのしるしや不思議な事が行なわれる。サタンもまた

偽りの奇跡を行ない、人々の眼前で天から火を降らせることをする。このようにして地の住民はその態度を決めなければならないように迫られる。

使命は言葉の論証によるよりも神のみたまの深い感動によって伝えられる。言葉による論証はすでに示された。種はまかれた。今はそれが芽ばえ、生長して実を結ぶのである。伝道者によって配布された出版物はその感化をおよぼしてきたが、感動を受けた人々でさえもなお充分に真理を理解し、それに服従することを妨げられてきた。けれども今は光は各地に浸透して真理は明瞭になり、……大多数の者が主の側に立つのである。

——各時代の大争闘・英文・六一二ページ（一八八八年）

使命を宣べ伝える神のご計画

——神は私たちに一つの民として大きな光をお与えになった。そして、これは私たちが世に与えなければならない。神は暗黒にいる人々に対して、その光を輝かすように私たちに求めておられる。私たちの同胞が真理のうちに喜ぶことができるように、私たちが与えられた光を用いて、さらに他の光をつくり出していくように命じられている。私たちはこの命令を軽視してはならない。もし太陽がその光を放つことを拒むならば、どんな恐ろしい暗黒と混乱とが起こるであろうか。私たちにとって光を輝かすことを拒むことは罪を招くことであり、その大きさは測り知れないものである。私たちの働きによって、光であり力である生きた真理がこの世界に伝えられなければならない。……

「御霊も花嫁も共に言った、『きたりませ』。また、聞く者も『きたりませ』と言いなさい。かわいている者はここに来るがよい。いのちの水がほしい者は、価なしにそれを受けるがよい。」

これらの言葉は、神の福音宣伝計画のアウトラインである。神の器は、天的のものであれ、人的のものであれ、失われた者を救うために一つになって働かなければならない。これらの魂は、罪の束縛から救われなければならない。神は、神の命令に従うために神の名をとなえている人々をお召しになる。すべての者は、神の働きの中で何かをするように召されている。……

へ真理の改変力へ 真理の言葉の力があらわされるのは、神の恵みの改変力が人間の心に働くことによつてである。使命がまだ伝えられていない地方で宣言される使命は、人々の心に感銘を与える。使命はその働きをよく知っている人々の間で宣伝されるよりは、大きな品性改変力を持っているように思われる。自分の利益のために、真理に反して歩み、真理の原則に反した道を行く者の心に、真理は何の力もあらわさない。こうした人々は、神の言葉を信じると公言する。しかし、それによつてきよめられた証拠を示さない。

真理は、今までそれを聞いたことのない人々の意志をとらえなければならない。彼らは、罪の憎むべきものであることを悟つて、徹底的に真心から悔い改める。これまでに何の訴えもなされず、これまで罪の恐るべきことが感じられなかった心に、主はお働きになる。

罪に対して勝利を収めた唯一の敵対者はキリストである。キリストの生涯の光を全部、暗黒の中にいる人々の魂に注ぎこもう。福音の直接の力によつて一日のうちに幾千の人が悔い改めた。

ただキリストによつてのみ永遠の生命が与えられることを罪びとが悟り、神の言葉に従うことが神の国にはいる条件であることを自覚し、そして、キリストが罪の贖いの供え物であることを知る

ときに、彼は謙遜に罪を悔いて、罪を告白して許しを求める。彼の心は、神の威光と栄光に感銘を受ける。祝福に満ちた永遠の命の平和と喜びときよらかさに強く心を打たれて、全的に服従するに至る。

心に光がさし込むならば、見たところ全く罪に沈んだと思える人も、以前の自分と同じような罪びとの間で働いて大成功を収める働き人になることができるということを、おしらせするようにと、私は示された。

へ文書伝道者のために書かれたへ これは、文書伝道に従事し戸ごと訪問をする人のためである。というのは、一見粗野でとりつきにくい人々に文書伝道者は会っけれども、一度彼らが真理を信じると、忠実で堅実な信者になるからである。真理の霊は、どの教会においても実に価値あるものである。主がお用いになる人は、必ずしも外面のみがかれた人ではないが、しかし、彼らが高潔な品性をもっていれば、主は、彼らを尊ばれるのである。

へ神の働きは、終わりが近づくにつれて増大するへ 終末が近づくにつれて、神の働きは、その力、純潔さ、聖さが充分に増大する。働き人は、神に対する愛と同胞に対する愛に満たされる。彼らは、最も厳密な廉潔の原則をいかなければならない。真の基調が打ち出されるとき、神は、ご自分を愛とあわれみの神としてあらわしになる。天使たちは地上の教会の会員のそば近くに来て、彼らの助けを要するときに援助する。私たちは神と共に働いていることを忘れないようにしよう。この天来の一致の中に、私たちは、歌と喜びをもって、神の業を完全に押しすすめる。すべての魂の中

にきよい熱心の火がともることであろう。団体が次々と敵の暗黒の旗印を去って、主を助けるためにやってくる。力ある者に対抗するために主を助けるためにやってくる。

へ働き人は深い経験を得なければならない。神の働き人はもっと深い経験を得なければならない。もし彼らがすべてを主にささげるならば、主は彼らのために大いなる働きをしてくださる。今までサタンに占領されていたとりに真理の旗をかかげ、勝利の叫びをあげて、そこを占領する。彼らは戦いの傷を負ったが、主が彼らを勝利から勝利へと導いてくださるという慰めの言葉が彼らに与えられる。

神のしもべたちが、心から献身して熱心に、天使たちと協力するならば、この世界の物事の状態は変えられて、間もなく、地は喜んで地の王を受け入れることであろう。そのとき、「賢い者は、大空の輝きのように輝き、また多くの人を義に導く者は、星のようになって永遠にいたるでしょう。」

—— レビュー・アンド・ヘラルド・一九〇三年九月一七日

聖 索
句
索
引 引

テモテへの	
第一の手紙	
4 : 1	129
4 : 16	58

テモテへの	
第二の手紙	
2 : 3	54
4 : 2	9

ヘブル人への手紙	
1 : 14	110

(ヘブル人への手紙)	
12 : 2	54, 114
12 : 5	118
12 : 13	130
12 : 27	9, 12

ヤコブの手紙	
5 : 3	17

ペテロの第一の手紙	
2 : 9	113
3 : 8	72

(ペテロの第一の手紙)	
3 : 15	22, 43, 103
4 : 7	17, 145

黙示録

3 : 2	46
12 : 12	9
13 : 13	152
14 : 12	122, 145
18 : 1	4
22 : 17	10, 18, 156

聖句索引

創世記
32 : 24—26 118

レビ記
10 : 1—3 72

申命記
32 : 2 73

詩篇
17 : 5 51
46 : 2 119

箴言
4 : 18 126
15 : 1 62

雅歌
5 : 10, 16 75
6 : 10 7

イザヤ書
6 59
6 : 5—8 59
6 : 8 13, 14, 43
8 : 16 13
30 : 21 126
32 : 20 4, 10, 113
50 : 4 73
50 : 7 117
59 : 14 9
60 : 1 17
62 : 1 38

エレミヤ書
23 : 28 142

エゼキエル書
3 : 17 10

ダニエル書
5 : 27 51

(ダニエル書)
12 : 3 154

アモス書
4 : 12 145

マタイによる福音書
3 : 2 4, 40
5 : 15 69
5 : 16 3
7 : 23 52
10 : 5—8 83
10 : 23 11
11 : 28 40, 47
11 : 28—30 35
13 : 8 152
21 : 44 49
22 : 2, 3 24
24 : 24 10
25 : 14—30 93
28 : 18 108
28 : 20 38, 83, 115

マルコによる福音書
11 : 13 56
16 : 20 20

ルカによる福音書
14 : 23 24, 39
16 : 8 84

ヨハネによる福音書
6 : 12 147, 151
7 : 17 42
14 : 6 50

使徒行伝
8 : 4 58
9 : 6 41
20 : 18—21 45

ローマ人への手紙
8 : 17 37
12 : 11 77

コリント人への
第一の手紙

1 : 30 49
2 : 2 43
3 : 9 54, 154
3 : 19 35
6 : 11 36
6 : 19, 20 19
13 : 7 62

コリント人への
第二の手紙

3 : 18 48
5 : 10 41
12 : 9 50

エペソ人への手紙
4 : 29 73
5 : 8 36
5 : 16 47
6 : 11 32, 82
6 : 12 115
6 : 14 122
6 : 15 90

ピリピ人への手紙
2 : 8 76
3 : 14 68
4 : 7 80

コロサイ人への手紙
3 : 3 9
4 : 5 47
4 : 6 73

テサロニケ人への
第一の手紙
5 : 2 127

テサロニケ人への
第二の手紙
2 : 10 9

預言のみたまの配布 124-130

その価値を認める者が従事 88

その感化 125

ホワイト夫人は創作者でない 125

神の直接の訴えが含まれる 129

新しい信者に適する 129

その中の光を隠してはならぬ 129

人間の頭脳の産物でない 129

誤謬から守られる 130

販売に対する興味を喚起せよ 130

ヨセフのような貞節 64

ヨナのためらいと神のささえ 116

奉仕の喜び 46

ラ 行

神にあって**落胆**はない 114

最大の困難に最大の天の助け 108

多くの男女は文伝によってりっぱな働きができる 18,24

旅館より個人の家庭に宿る 90

礼儀はキリスト教の力強い主張 73

欠けている 65

クリスチャンのかおり 66

聖霊の徳の一つ 72

礼儀と親切は門戸を開く 88

靈的奉仕の神聖さの自覚 77

論争点は避けなさい 43

議論ではなく 42

ワ 行

わらや木のような書物の害 142

ワルデンシスの模範 99

かれらの福音伝道法 68

さばきの日に準備させる 101
 医事伝道と直接伝道の一部分 101
 聖書を学ぶ者であれ 103
 聖霊の支配のもとに 104, 106
 神との生きた関係を保て 107
 み国進展のため 108
 「すべての力」を与える約束 108
 天使の奉仕が必要 112
 天の住民の見守りを見るごとく 112
 天使が成功させる 112
 結果は計ることができない 114
 キリストの生涯を研究せよ 126
 衛生図書を提供 132
 同一の本だけに働くな 136, 139, 140
 バランス 138
 光を広めるため 144
 下層階級の人々にも 154
 報 い 155

 ペンは真理のための一つの力 148
 ペンテコステの日のように祈れ 104
 偏見—戸ごと訪問によって破る 82, 83
 教理研究によっておこる偏見 102
 衛生改革についての偏見を取り去る 133
 出版物が壁を打破する 149

 牧師との協力 100-103
 文伝の働きとの関係 44
 牧師は文書販売に興味を示せ 86
 衛生に関する雑誌配布を奨励せよ 134
 神の群れの牧者 101
 励ましとなる経験を報告せよ 79
 新教団体が法王権と結合すると 11
 文伝者の報酬 26-28
 過大の報酬を提供すべきでない 98, 99

方法一本道を離れず臨機応変に 42
 保養地や歓光地の中心に文伝者を 40
 ホワイト夫人—創作者ではない 125
 心に記された真理 126
 「各時代の大争闘」執筆中に天使がそばにいた 128

マ 行

マサチューセッツ州ドーチェスターのまぼろし 1
 キリストの学校で学ぶもの 35
 「印刷所を始めなさい」のまぼろし 1
 祈りと涙でさがす 149
 私たちの出版物の価値 2
 神のおりから迷い出た羊 25

 見せびらかしは正しい印象を与えない 91
 見張りの者と使者たち 10

報 い 114, 155

迷信を打破する働き 149
 キリストから無限の恵みを 119

 モーセのように柔和で 64
 キリストの模範 73
 衛生改革の 66
 礼儀と親切で門戸は開く 88
 キリストの愛の物語で 36
 問題は解決される 119

ヤ 行

ヤコブ—熱心に求める祈りの範例 81
 試練は益になる 118

 勇気を失ってはならない 117
 誘惑のたびに固い信仰が 108
 耐えて品性建設の助けに 67
 抵抗しキリストの恵みを表わす 67

プレミアム（賞）の使用 63,87,88

文書伝道—最高の伝道事業 6

神の制定 6

重要性 6-15,26,59

これ以外の方法で伝えることので
きない人に真理を伝える方法
6,8,20,39,61,120

牧師と同等 8,45,97

衰えてはならない 8,104

見張りの者と使者 10

高尚な働き 12,61

元の働きに呼びもどす 13

悔い改めを見る 11,105

責任ある働き 14,37

伝道的な働き 15

真理を求める家庭へ導かれる 16

なおざりにできない 16

多くの男女によって 18

復興さるべき働き 7,17,122

召し 16-25,120,133

多くの者が 20,84

主の助け手、主の器 20

一般の人々から 21

キリストは語るべきことをお教え
になる 22

天使が同伴する 22,32,38,54,88
91,110-113

大都市には行って行け 23

あらゆる場所へ 24

ひとりの所に百人が必要 25

真の伝道精神 27

特権を感じることに 27

適応させることについて 27

うぬぼれてはならない 28

軽視されてはならない 28

選択 26-29,141

資格について 28,29,47-80

汚れを離れず悔い改めない者は働
けない 29

経験を積む最もよい方法 29

神聖な働き 29,58

学生文伝者 30-35

青年たちへの神のご計画 30

教育の一方法 31

最大の価値ある経験 33

牧師職のりっぱな準備 34

教育家であり学生である文伝者 36

キリストの愛を語れ 36

魂をキリストへ 36-45,38

神の使者たち 37

キリストをあらわす 37

恵みを祈り求めよ 37

二人ずつ 38,58

真理を語る 37

辺びな所にも 39

不節制な者を励ませ 40

祈りをもって出て行け 41

病人や落胆者のために祈れ 41,82

有用性を倍加できる 42

論争を起こすものをさけよ 43

答えのできる準備を 43

牧師は文伝者のように 44

ある人は説教するよりも 45

人間性の高い評価 48

罪のまま携わるな 53

方法と練習 55

取り扱う書物に精通せよ 55

種々の階級の人々に出会う 61

日ごとの生活はあかりのよう 69

心を扱う最大の仕事 72

早起き・勤勉に 77

組織される 84

効果的な働き 88

簡単な治療法を教えよ 89

人の家庭に滞在しているときは
89

充分生活できるように計画 92

資金がなくならないように 94

経済的利益が第一でない 97

牧師と協力 100-103

その結果、教会が組織された 150
パウロの働いたように 43
謙遜に戸ごとを訪問した 44
バプテスマのヨハネと同じ働き 3
働らき—神の働らき 10
恩恵期間の続く限り 11
神のみかたちの反映 48
至るところで 58
恥であるかのようにするな 62
正確と精励 78
愛に満ち静かに慎重に 113
兄弟愛のうちに 138
バランスのとれた 138
終わりが近づくほど増大 154
歌と喜びで進め 154
働き人—大いに必要 21
神のご指導を求める自由をもて
27
手仕事しにばられてはならない
28
中心地で集会をもて 40
神の原則を身につけよ 48
精力を集中せよ 56
未経験者を助けよ 57
ワルデンシスの模範 99
指導者は弱い働き人を助けよ 140
さらに深い経験を 155
迫害が激しくなると使命は散る 11
バビロンの酒を提供しているのではない 48
火—燃える火のように前進する真理
38
光—全世界をおおう光の流れ 1
全世界を照らす光 5,7,152
光の通路になれ 7,84
光を求める多くの者がいる 85
主の光は行く道を照らす 91
天の光が顔に反映 106
聖書へ導く小さい光 125

光が出版所のたなにさらされること
となく 139
日ごとの悔い改め 119
人—財産家や有力な人々も招こう 24
世界が最も必要としている人 54
深いクリスチャン的経験のある人
が必要 57
ひとりある所に百人の文伝者が必要
25
一つ—キリストと一つである文伝者
37
標準—出版所の標示を高く 145
病人や落胆している者のために祈る
41,89
品性—天の聖所のはかりではかられる
51
積極的な特質の必要 62
純金の輪が欠けている 62
ヨセフ、モーセ、ダニエルのような 64
品性は力 68
キリストの品性をあらわす義務がある 68,69
キリストを否定する性質 69
小さい行為と努力によって築かれる 78
均斉のとれた品性を築く 78
真理を現わす 103
責任の重大さを感じることは品性を高める 105
聖霊の改変力 115
服装の影響 65
不節制な生活 66
不平不満はなくなる 46
言わないこと 68
つぶやきは信仰の弱さを示すだけ
115
ぶらぶらする要素は文伝者に禁物 28
ふるわれる時代に生存している 12

たとき力を経験する 49
単純な言葉は力を持ち人を信服させる 69
聖霊の力が力強い神より 81
ペンは真理を与える力 148
福音の力により幾千の人が悔い改めた 153

つぶやきはなくなる 119
罪をもてあそぶな 52
失望落胆は罪 117
光が心にさしこむとき罪人も大成功する 154
親切な言葉は露のよう 73
出版物は信仰の一つ一つを強める 3

定期刊行物 145-147
低俗な行ないに注意せよ 66
敵でさえもあなたを尊敬する 69
主は働きに対する適性を授けられる 14
適応性 27
天使—すべての天使をつかわされる 111
文伝者と共に 22, 32, 38, 88, 100-113
本のために道を備える 22, 124
献身しない者には同伴しない 29
言葉に耳をかたむける 50
交わるにふさわしい者とされる 60
交わりの中での多くの働き 91, 111
サタンの力に対抗する 115
天使の奉仕が書物にも伴う 101
神のみ前にいる天使が近くにいる 116
イエスのみ名が語られると天使は近よる 112
成功を与える 121

「各時代の大争闘」の執筆中にそばにいた 128
読者の心を感動させる 149
助けを要するときに援助する 154
道徳的暗黒が葬式の黒布のように全地を 104
時は迫っている 38, 127
ぐずぐずする暇はない 8, 14, 15, 120
不適當な読書は青年にとって危険 143
すべての無益なものは捨てよ 144
都市で働く文伝者の必要 23
現代の真理を町々に 10
トラクトや小冊子などは大書物への道を開くくさび 140

ナ 行

怠け者には働き場はない 76, 77
怠惰、無精はクリスチャンの木になる実ではない 92

自分の無価値の認識 111
文伝において忍耐を学ぶ 33

知識に基づかない熱心 42

ハ 行

背教—多くの人々が飽きる 85
配布のためもっと祈れ 80
配布が需要を増す 85
教会員による販売 7, 21, 29
預言のみたまの 123-130
衛生改革雑誌の配布は逆を開くくさび 131
真理への道を備える 134
衛生に関する本の配布を奨励せよ 134
これらの配布を怠ってはならない 136

ただ聖霊が成功させてくださる
 108
 主がなされるもの 119
聖書—神のみ言葉を心にたくわえるべ
 きだ 55
 心を留めなかった 68,125
 聖書研究はサタンに勝つ 82
 聖書研究を見過ごすな 102
 研究会を開け 103,113
 衛生改革と聖書教理とに関係 133
青年—文伝への召し 19
 節約と経済を学ぶ 99
精力と熱心の必要 62
聖霊を受ける度合で用いられる 48
 聖霊による徳を育成 67
 力をいただく 81
 心に訴えられる 91,108
 光と導きに対する祈り 104,105
 文伝者を導かれる 104,106,107
 品性と生活の改変 106,115
 助 け 105
 成功を与えられる 108
 語るべき言葉を与えられる 107
世界—眠っている 10
 私たちの出版物から真理と光をう
 ける 5
 人を必要としている 54
責任を知ること 9
 怠慢の責任を問われる 13
 指導者の責任 56
 重大さを感じ品性を高める 105
世俗的安価を排せ 72
 生きた**説教者**は百人いるべき所に一人
 しかいない 84
節制問題は人の心を感動させる 131
 実践を要求されている 132
節約と自己否定を学ぶこと 99
 時を償いなさい 47
 働き人の**選択**に注意すべきこと 26-29

総理および責任者は各部の働きに一樣
 に注意せよ 57

夕 行

第三天使の使命の一部である衛生改革
 132
 その宣伝 4,120,145
 大部分は出版物によって最初の関心を
 151
霊的怠慢 13
 その余地がない 76
 失敗のときの最も近い助け 108
 文伝者は人を助ける神の手
 20,22,23
 手伝いをして信頼を得よ 89
ダニエルのような節制 64
「ダニエル・黙示録講解」の重要性
 123,124
 価値を認める文伝者の募集 88
種まき—言葉を正しく用いて真理の種
 まきを 70
 衛生改革の文書は真理の 89
 聖霊に支配されて生命に芽ばえる
 種をまく 107
 出版物は福音の種まき 150
 生長して実を結ぶ 152
 無力に見えても強力な魂 111
ためらいと疑惑の危険 116
単純に語ることは心を開く力 39
 謙遜で単純な態度で伝えよ 107
注意—行ないに 66
 総理および責任者は各部の働きに
 一樣に注意せよ 57
 不注意な働きの危険 62
 経済について 92-95,99
 不注意な経済的習慣の結果 95,96
 金銭の厳密な管理 94
義務への忠実 78
力—岩なるキリストの上に落ちて砕け

真理—明瞭に 1

誤った教えを伝える人々へ 3
燃える火のように前進 38
あらゆる階級へ 38
キリストにあるがままの真理 43
バビロンの酒ではなく 48
イエスを持つことにより 50
品性の一部分 51
清潔な服装のよい印象からも拡大される 65
品性を高尚にする力を生活で示せ 67
不完全な伝達で傷つけられてはならない 71
現われる 103
謙遜で単純な態度で伝えよ 107
「主はこう言われる」によって守られた 126
ホワイト夫人の心に記された 126
変化ある方法で 139
終末時代の真理の書物を通して 138
小冊子で多くの家庭へ 140
定期刊行物によって伝える 145
神は真理を守られる 150
配布されることによって増大 151
改変力 152

書籍部は、なぜ負債があるか 92

書物—秋の木の葉のように 5,25
キリストの富を紹介する 16
出版所にさらしてはならない 23,86
大路へ 39
他の方法で接することのできない所に 39
気転をきかして提供 63
配布が需要を増す 85
価格について 86
書籍代の支払い 92
無言の使命者 100

天使が伴う書物 101

しっかり立つ民を備える 101,121,122

配布する青年伝道者 105

サタンが受け入れることを拒ませる 115

真理の盛られている書物を配布するための召し 120

多くの国語で 120

現代の真理に無関係の書物 121

聖書教理を教えている書物 121

低級な書物の出まわりは真理を人から奪う 121,141

小書物は大きいものと組にして 122

サタンの背教を明らかにする 123

大書物を至る所で 124

教会員が重要性に目ざめればもっと売れる大書物 124

天使が道を備える書物 124

衛生および宗教の書物 135-137

衛生改革の書物配布 133

紹介する徹底的努力を 140

大書物の販売を怠ること 141

悪魔的魅力のある書物 143

書だなから取って読め 150

働きに必要な正確さ 78

純潔な生活 51

敬虔な生活のあかし 68

照らすあかりのように輝く 69

聖霊が改変する 106

生活によってクリスチャンであることを示せ 126

成功の秘けつ 106

骨折りは報われる 14

文伝は成功が保証されている 25

必要とされる資格 65

才能よりも精力と自発性 76

謙遜が真の成功をもたらす 91

世界のすみずみにまで 120
宣伝する神のご計画 152, 153
書籍代の支払いは敏速に 92
借金—サタンのあみ 51, 94
 しないように 96, 97
 不注意に借金すること 96, 97
出版所—起源 1
 その働きは光の流れのように 1
 黙示録18ノ1の天使の働きは大部分出版所を通して完遂 4
 出版物がたなで眠ってはならない 23
 目立った繁栄をすべき 85
 光（書物）をたなにさらすな 139
 標準を高く 145
 私たちの力と密接に 148
出版物—光を輝かすために 5
 霊的基礎をきずく 1
 神を高める目的 2
 使命 1-5
 配布に払われていない努力 2
 神に会うため民を備える 3
 利潤の用途 4
 説教者の行かない所へ 4, 6
 すべての国語に 5, 149
 秋の木の葉のように 5, 25
 いたる所へ 4, 17
 光を世に 7
 集会のできない所に 8
 山間僻地の人々へ 20
 神の働き 21
 すべての信者が配布 21
 教会員が配布を 7, 21, 29
 牧師によって配布 44
 取り扱うものに精通せよ 55
 紹介する義務を感じない教会員 65
 価値を高めよ 85
 価格 86
 暗黒の中の幾千の家庭に 87

衛生改革に関する 90, 132
真理に堅く立たせる 100
真理を示す 100
真理の盛られたものの重要性 120-127
衛生図書の配布 131-134
適当なバランスを 135-144
終末を示す 145
広範囲の感化 148-154
偏見を打破する 149
魂をキリストに導く 150
伝えられると倍增する真理 151
すべてのページから天の光が 151
終末の事件を示せ 128
 突然急速に来る事件 127
純潔は生活の一部に 51
準備の必要性 55-60
宗教と健康の法則 131
 イエスの宗教はおだやか 73
障害をのり越えて 117
食欲に対する勝利を示せ 67
 サタンはゆがめられた食欲を手がかりにする 133
婚宴への招待 24
複雑な商業にかかわりあってはならない 23
すべてのことに必要な**正直** 50, 63, 94
 絶対正直 92
節約と自己否定の**初代**の働き人 99
人々は**時のしるし**の成就を知る必要がある 120
信仰に生きるとき 69
 試みによって強められる 108
 神を見あげること 115
 語り行動しなさい 115
 カレブのような 117
 信仰をもって前進 126
文伝により**親切**を学ぶ 33
神のしもべの信任状 48
神の審判の日に準備させる働き 101

低い階級に接する 154
 多人々の心に紹介する書物 16
 神のみ言葉で満たせ 55
試みる真理を与える書物の配布を 122
言葉をきよめてみ栄えのために 9
 貴重な才能 33
 書物を提供するため 63
 明瞭で印象的な 66
 単純な言葉が人を信服させる 69
 言葉の賜物 70
 明瞭に語れ 70-75
 精選された言葉 72
 キリストを人々に示すために 75
子供たちに興味を示せ 89
誤謬にさまよう人々 72
困難は祈りへの呼びかけ 82
 文伝に伴う多くの困難 34, 146
 最も恐ろしい……改心の欠如 49
 困難のときの助け 114-119
 勇敢に立ち向かえ 118
 困難な山を平らに 119

サ 行

最後の警告は無数の声によって 151
 大多数の者を主に導く 152
才能—最大限に活用させてくださる
 68
 精算される 93
 忠実に 93
 成功の秘けつではない 119
再臨—神に会うために民を備える出版
 物 3, 4
サタン—熱心に活躍している 2
 不義のまどわしを行なう大いなる
 力 9
 選択をあやまらず働き 10
 自己称揚はサタンの勢力圏内に自
 分をおくこと 12
 最も必要な働きを軽視させる 38
 神に結ぶ鎖を切ろうとする 50

網を張られる人 51
 陰險なわな 52
 根気よく働くサタン 54
 祈りによって奸策にかつ 81
 祈りと聖書研究を怠らせる 82
 借金にサタンのあみ 94
 人の心を迷わせる 104
 罪のどれいにし律法を無視さす
 114
 書物を受け入れぬようにする 115
 対抗する天使 115
 ヨナを落胆させ圧倒した 116
 背教を明らかにする書物 123
 ゆがめられた食欲で墮落させる
 133
 サタンが天使の衣をつけたにすぎ
 ない書物 143
 サタンのとりでに真理の旗をかか
 げる経験 155
雑誌は書物やパンフレットと組に 122
 私たちの雑誌による伝道奉仕
 145-147
 気持ちのよい作法 65
自己犠牲—真理の証明 3
 その精神をもて 59, 97, 98
 原則に従うことにより示そう 67
 実行しよう 99
 書物が読まれるならさらに自己否
 定が見られる 126
自己放従が激増 90
開拓者たちの**自己否定** 99
 文伝者の持つべき精神 59, 97, 98
 ワルデンシスの範例 99
 多くの信者は**時代**を認識する必要 24
磁石の針のように真実な 54, 69
「自然と宗教」の販売 124
指導者の重大な責任と必要性 56, 57
失敗を考えたり話さないこと 118
使命—権威をもって 2

キリストの生涯を学べ 126
節約の模範 147
罪への唯一の敵対者キリスト 153
救霊の働きである文伝 35-46
営利的企業で妨げるな 38
忠実な研究者であれ 56
機会をとらえて 79
決意をもって働け 118
文伝は最善の**教育**を提供する 32
教理を長々と論じない 102
教理を扱っている本を配布すること 121
教会は花園のようなもの 27
霊的暗黒 2
信徒たちが文書配布に参加 7,21
もっと文書配布の義務を 7,29,65
法王権と結合する教会 11
なぜもっと目ざめないか 17
ひとりびとりに負わされた責任 18
大群衆に伝えよう 20
望みの理由を答えられるように 22,43
他人を助けることより確信が 22
救霊事業の必要性 65
天使たちは協力しようと待っている 110
長い間真理の中にいる者は眠っている 120
大書物はもっと売れる 124
衛生雑誌の配布 134
文伝の結果 150
金銭—もっと文書発行に用いよ 4
まちがった募金法 85
自分勝手な娯楽に費やすな 93
誘惑の戸を閉させ 92
不注意な使い方 96,97
勤勉に働け 78

信頼のくさり 56

生きた証人は次々に出て行き 18
クリスチャンは絶えず改善 59
キリストの学校で教育 59

福音宣伝の計画—ワルデンシスの範例 68
よく組織された計画を実行 29
出版物配布の計画 86
全世界に 145
経験—試みのたびに強くなる 108
経済と節約 93,147
経済上注意すべきこと 92-95,99
不注意の結果 95,96
副業に費やすべきでない 97
決意をもって働く 118
測り知れない結果 109
最大の成果は神にすぎること 106
表面的成功では計れない 114
献身—第一に重要なもの 47
神のお求めになるもの 23
救霊者となるために日々の献身が必要 35
神の働きにまったく献身せよ 109
原則—いわおのように堅固に 72
磁針が極をさすように 95
謙遜ですなおに 48
成功を与えられる 91
青年も老人も謙遜に働いて 106
現代の真理を町々に伝えよ 10
大通りに伝えよ 40
福音牧師と協力 101
現代の真理がのっている本を販売せよ 122

短期購読よりも一年購読の価値 146
真の「**高等教育**」32,33
戸ごと訪問は偏見をとる 82
若い牧師は戸ごと文伝を 44
パウロは戸ごと訪問をした 45
簡単な歌は戸ごと文伝を助ける91

家庭が必要としている 87
 読めば多くの利益をうける 125,
 126
 無数の声により最後の警告が全世界に 151
 一日に千人以上も 151,153
 行ないに威厳をもて 61
 注意せよ 66
 終わりが近い 5,7,17,25,145
 の時代に対する真理を盛られた書物 138
 近づくにつれ働きが増大 154

カ行

あらゆる階級のための文書 139
 集会に出られない階級の人々に接することができる 38
 出版物から最初の改心 151
 だれでも改善できる 56
 進歩発達には限界がない 113
 キリスト者的礼儀のかおりを 66
 価格は運営上適正に 86
 「各時代の大争闘」は金銀以上 128
 広範囲に配布せよ 127
 注意ぶかく読め 127
 警告の使命 127
 最大の結果は将来に 128
 執筆中み使いの臨在を意識 128
 学生文伝一節約と経済を学ぶ 30
 その教育的価値 31,32
 評価できないほどの有用性 33
 学生と文伝 30-34
 神は忠実な文伝者を尊ばれる 45
 神の力と人間の努力との結合
 106,153
 天父は多くの道を備えられる 114
 すべての力を持っておられる 117
 文伝者ができないことをしてくだ
 ざる 147
 ご自分の真理を愛し守られる 150

カレブの勇氣ある信仰 117
 多くのカレブが必要 118
 個人的雰囲気之感化 67
 簡単な治療法を教えよ 89
 忠実で勤勉な管理 96
 機会—恩恵期間の続く限り 11
 純粹な福音のききん 24
 神の働きには規則正しさが要求される
 77
 もう少し機知と忍耐を 146
 心を迷わせる欺瞞 104
 キリストはすべての十字架を負われた
 116
 神の力を与える約束 5
 一般の人々の中からキリストのため
 に働くにふさわしい者を
 21
 語るべきことを教えられる 22
 信仰と希望の中心 42
 愛と恵みは深い印象を与える 42
 高く掲げよ 43
 キリストのいのちのかおりを 44
 一人一人がキリストを着よ 49
 中心とせよ 49
 結びつける信頼のくさり 56
 弱い品性はキリストを否定する
 69
 イエスの宗教 73
 み声とみ言葉 74
 私どもの模範 73-75
 信仰により心に住まれる 104
 キリストの奉仕へ召される 104
 わたしたちの力 107,118
 ともにおられ感動をお与えになる
 107
 キリストのみ国進展のために 108
 私どもの力と助け 109
 苦しむ者しいたげられた者を起こ
 す 116

索

引

ア 行

愛は議論で不可能なことを達成 73
魂の方向を与える 17
心に宿るイエスの愛の力 55
おまけや賞をつけるより購読者を
継続させる 85
愛煙家を悪習慣から救え 40
悪友を避けよ 52

医事伝道は世界各所で前進 90
この働きに努力すべき文伝 90
その一部である文伝 101
聖霊を祈り求めよ 104, 105
祈りと歌により心をとらえよ 38,
83
病人や落胆者のために 41
日常生活において 80-82
働き人の完全な一致 136
一般の人々からふさわしい者を 21
他人を慰める泉 61
人々は偽わりの募金にあいている 85
偽わりの教理は人を惑わす 104
印刷所は活動をやめるな 2
生産をおこたれば力を失う 87
強力な手段 87, 100, 148, 149
牧師と協力 100, 101
現代の真理のために 148
印刷物の一片も貴重なもの 151
飲酒家を救うこと 40
印するメッセージ宣伝の光景 1
異端は人の心を惑わす 104

歌—興味を持ちはじめた人と歌い祈れ
38
祈りと歌により多くの人に接する
83
歌と喜びで働きを進めよう 155

うぬぼれをにおわせる言葉に注意 43

影響力—力強い行為 53

衣服の 65

真理の 67

衛生改革の模範 66, 67

敬虔な生活 68

礼儀の不足による損失 73

文伝者報告 79

預言のみたま 125-130

私たちの出版物 148, 154

ページの破片 151

衛生に関する雑誌の配布 136

模範 66

注意をひけ 90

非常に必要 90

小冊子を 89

小冊子を書籍や月刊誌と共に 122

信者の研究と実行 90, 133

指導者の正しい指導 131

福音宣伝の右腕として 131, 132

健康に関する本 131-134

くさびとしての働き 132

注意をひく印刷物 132

偏見を取り去る 133

広範囲の配布 133

他の方法ではできない 134

衛生と宗教書のバランス 135-138

営利主義の危険性 9

多くの信者は時代を認識する必要 24

多くの男女は文伝によってりっぱな働
きができる 18, 24

健康や娯楽を求める多くの人に必
要な使命 40

出版所の存在すら知らない多くの
人 85

文 書 伝 道

1993 年 9 月 1 日 発行

非売品

著 者 エレン・G・ホワイト

発行者 横浜市旭区上川井町 846

広 田 実

発行所 横浜市旭区上川井町 846

三 育 協 会

電話 045(921)1121

(版權福音社所有) 転載・複製を禁ず